光市総合計画策定に関する

ー アンケート調査結果報告書 ー

平成 17 年 12 月

光　　市

－ 目　次 －

Ⅰ．アンケート調査の概要

１．調査対象 1
２．調査方法 1
３．調査期間 1
４．配布回収状況 1
５．調査項目 2
６．属性別の集計について 2
７．人口分布と回答者分布について 3

Ⅱ．市民アンケートの結果

（ⅰ）**市民アンケート①（まちづくりへの参加意識、個別課題の把握など）**
１．回答者の属性 4
２．共創・協働のまちづくりについて 6
３．市政への市民参加について 16
４．個別の課題・計画について 19
（ⅱ）**市民アンケート②（市政の評価や今後の居住意向の把握など）**
１．回答者の属性 30
２．市政に対する評価と今後への期待 32
３．今後の居住意向について 48
４．情報提供について 59
５．日常生活における意識 62
（ⅲ）**まちづくりについての提言** 69

Ⅲ．出身者アンケートの結果

１．回答者の属性 77
２．今後の居住意向について 79
３．情報提供について 86
４．光市のイメージについて 87
５．まちづくりの提言について 91
６．光市民への自由意見 93

Ⅳ．アンケート調査票

１．市民アンケート①調査票 95
２．市民アンケート②調査票 103
３．出身者アンケート調査票 113

Ⅰ．アンケート調査の概要

１．調査対象 1
２．調査方法 1
３．調査期間 1
４．配布回収状況 1
５．調査項目 2
６．属性別の集計について 2
７．人口分布と回答者分布について ... 3

Ⅰ．アンケート調査の概要

１．調査対象

（１）市民アンケート

光市に住む 18 歳以上の市民から 6,000 人を抽出

（まちづくりへの参加意識と個別課題を把握するアンケート**「以下、市民アンケート①」**を 3,000 人に配布、市政の評価や今後の居住意向を把握するアンケート**「以下、市民アンケート②」**を 3,000 人に配布）

（２）出身者アンケート

過去に光市に住み、転出した方から 258 人を抽出

２．調査方法

（１）市民アンケート

郵送配布・郵送回収

（２）出身者アンケート

郵送配布・郵送回収

３．調査期間

（１）市民アンケート

平成 17 年 8 月 11 日～平成 17 年 8 月 23 日

（２）出身者アンケート

平成 17 年 8 月 11 日～平成 17 年 8 月 30 日

４．配布回収状況

	配布数	有効配布数 A	回収数 B	回収率 B/A
市民アンケート①	3,000	2,993	1,146	38.3%
市民アンケート②	3,000	2,984	1,090	36.5%
出身者アンケート	258	255	117	45.9%

５．調査項目

（１）市民アンケート①

１．回答者の属性
２．共創・協働のまちづくりについて
３．市政への市民参加について
４．個別の課題・計画について

（２）市民アンケート②

１．回答者の属性
２．市政に対する評価と今後への期待
３．今後の居住意向について
４．情報提供について
５．日常生活における意識

（３）出身者アンケート

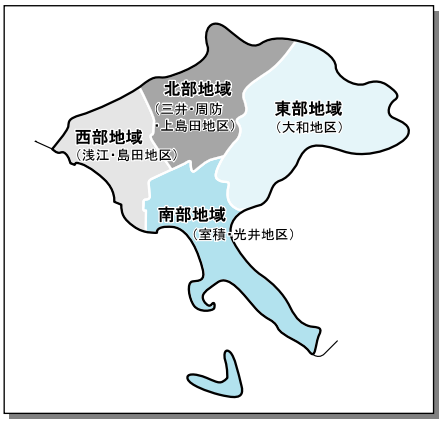
１．回答者の属性
２．今後の居住意向について
３．情報提供について
４．光市のイメージ

６．属性別の集計について

（１）地域別について

市内を東部・西部・南部・北部の 4 地域に分けて集計する。内訳は以下のとおりです。

◇ **東部…塩田・三輪・岩田・束荷**
◇ **西部…島田・浅江**
◇ **南部…牛島・室積・光井**
◇ **北部…上島田・立野・小周防・三井**



（２）年齢別について

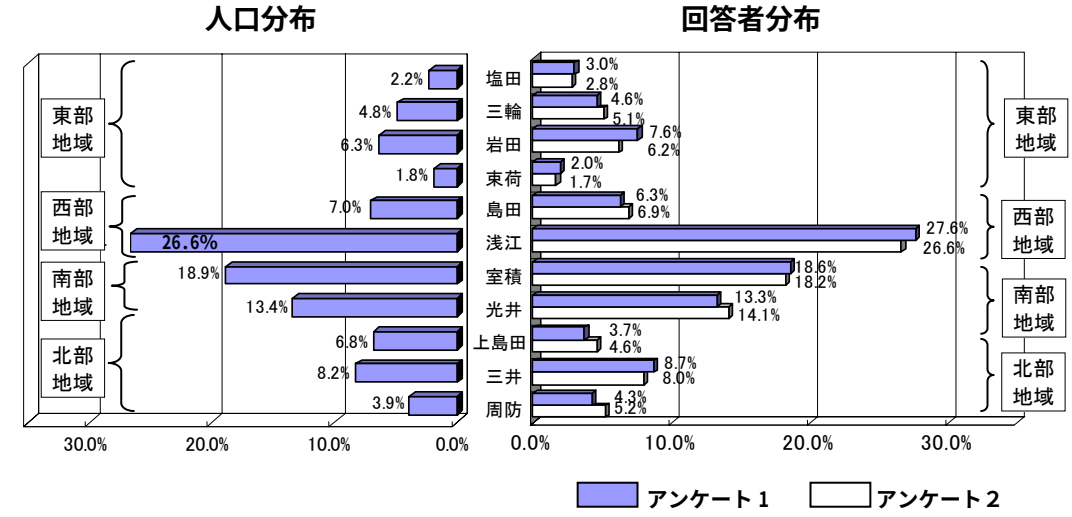
10 歳代は回答数が少なかったため、20 歳代と合わせて集計します。

７．人口分布と回答者分布について

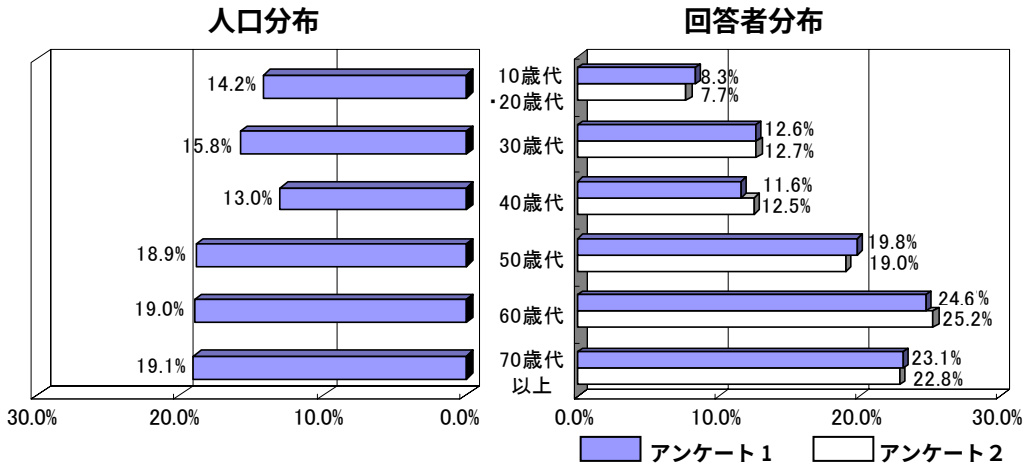
平成 17 年８月１日現在の 18 歳以上の人口と回答者の構成割合は、次のグラフのようになり、地区別、年代別で比較すると、特に 20 歳代以下の年齢層において、その分布状況に若干の差異がみられます。

しかし、調査結果の傾向を判断する上では、特に問題は生じません。

（１）地区別の状況



（２）年代別の状況



Ⅱ．市民アンケートの結果

(ⅰ) 市民アンケート①（まちづくりへの参加意識、個別課題の把握など）

１．回答者の属性 4

２．共創・協働のまちづくりについて 6

３．市政への市民参加について 16

４．個別の課題・計画について 19

(ⅱ) 市民アンケート②（市政の評価や今後の居住意向の把握など）

１．回答者の属性 30

２．市政に対する評価と今後への期待 32

３．今後の居住意向について 48

４．情報提供について 59

５．日常生活における意識 62

(ⅲ) まちづくりについての提言 69

Ⅱ．市民アンケートの結果

（ｉ）市民アンケート①（まちづくりへの参加意識、個別課題の把握など）

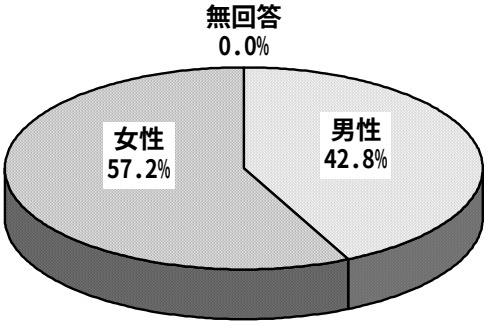
１．回答者の属性

男性が 42.8%、女性が 57.2%の回答となっており、実人口比とほぼ同じ割合になっています。

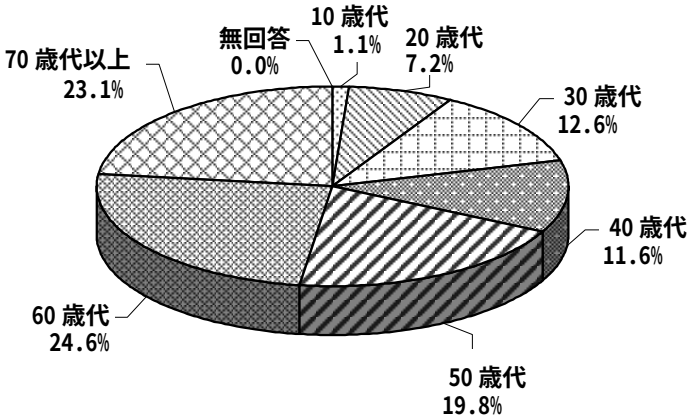
年齢については、高齢者の回答が多く、60 歳代以上の回答が全体の約半数を占めています。

居住年数としては、20 年以上が 78.9%となっています。

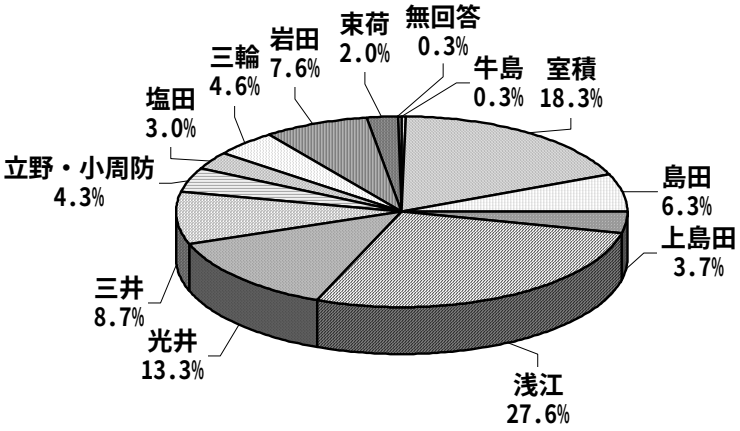
①回答者の性別



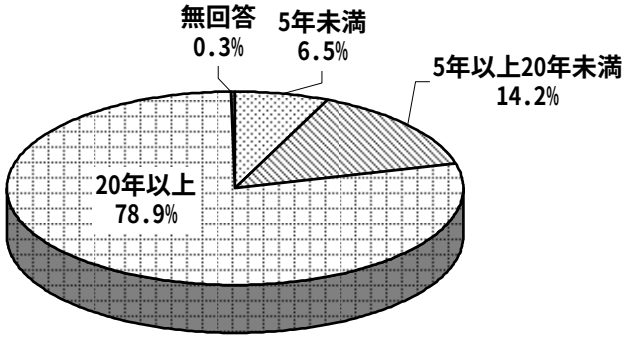
②回答者の年齢



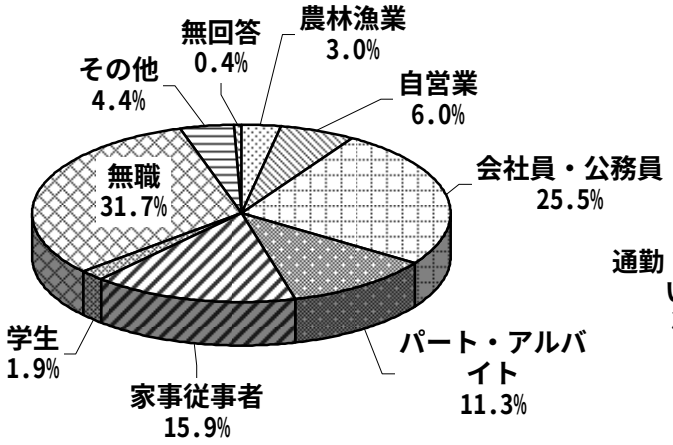
③回答者の居住地区



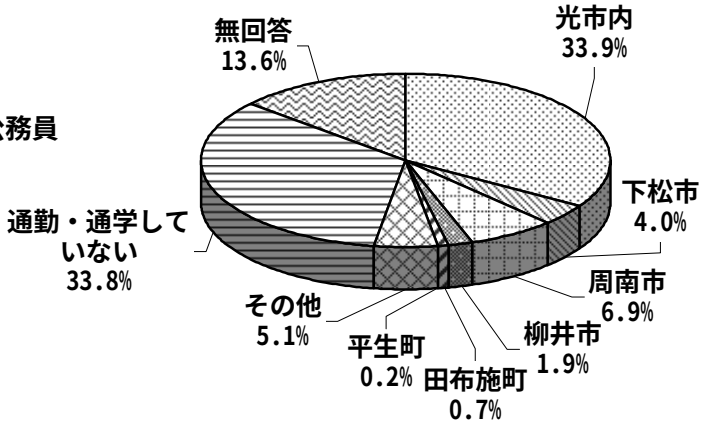
④居住年数



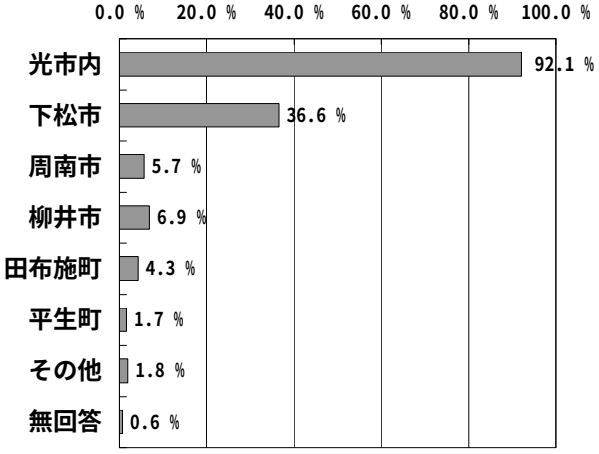
⑤職業



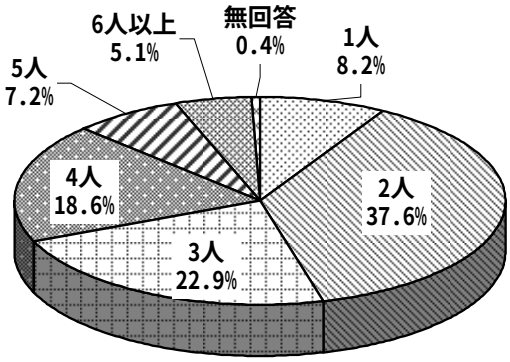
⑥通勤・通学先



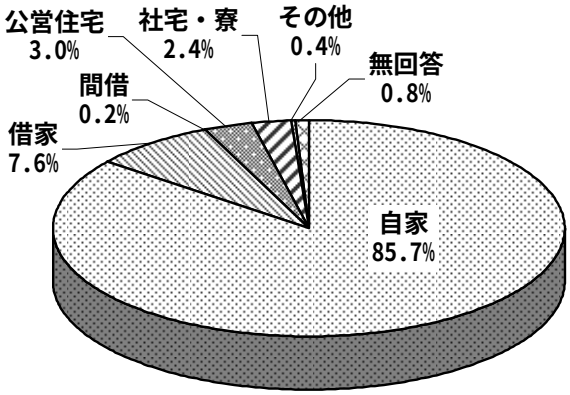
⑦日常的な買物先



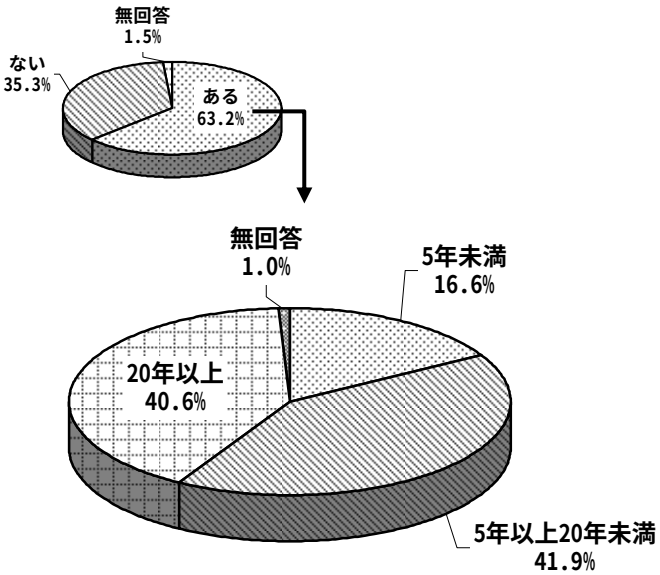
⑧世帯人数



⑨住居の種類



⑩市外で暮らした経験



２．共創・協働のまちづくりについて

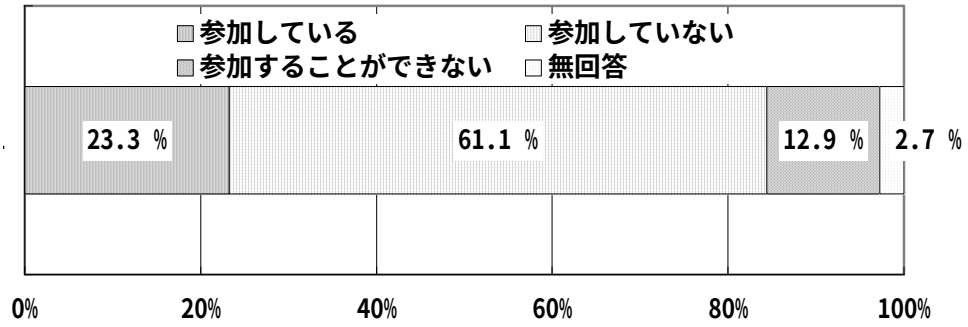
（１）現在のまちづくり活動への参加状況

現在、まちづくり等の活動へ参加している方は、全体の 23.3%となっています。

男性の参加が 25.8%、女性の参加が 21.4%と、女性より男性の参加が多くなっています。

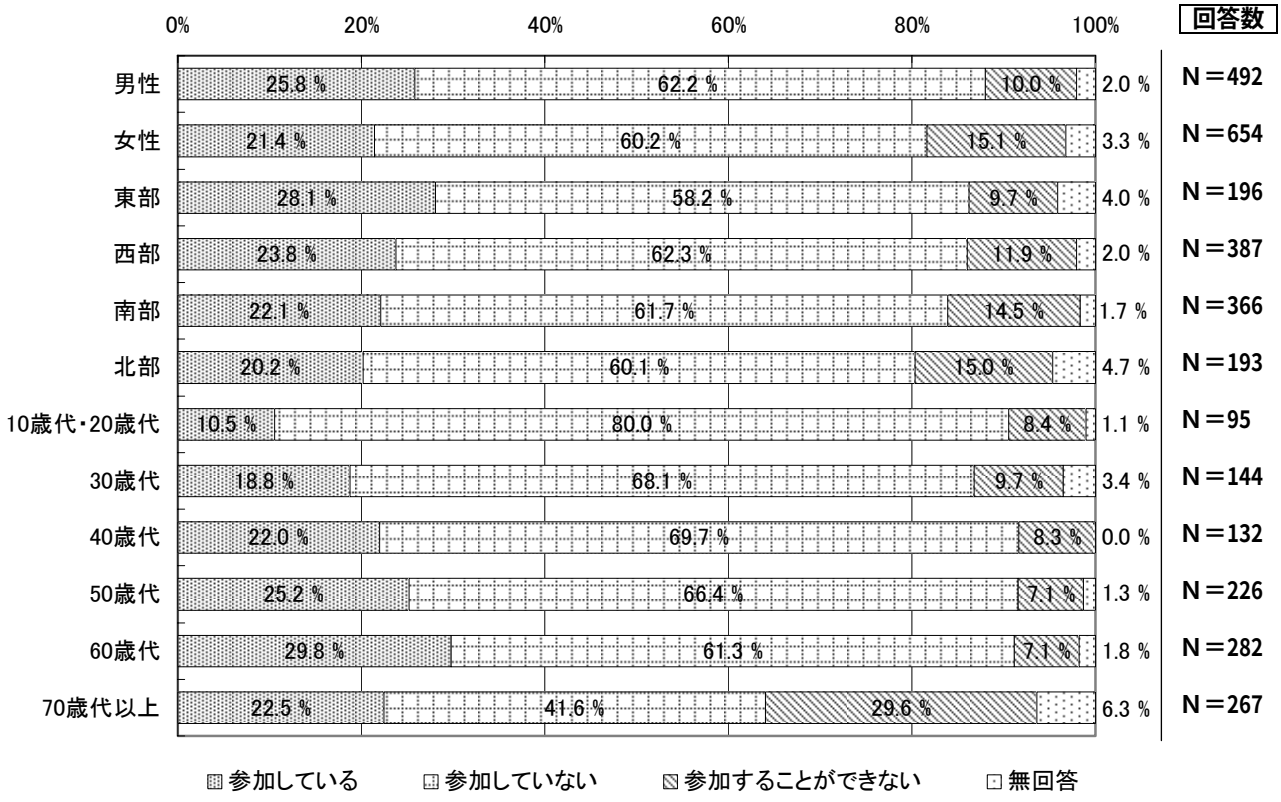
年齢別にみると、10 歳代・20 歳代で参加していないという回答が 80%と多く、70 歳代以上では参加することができないという回答が約 30%と、他の年代に比べて多くなっています。

①全体



合計	参加している	参加していない	参加することができない	無回答
1,146	267	700	148	31
100.0 %	23.3 %	61.1 %	12.9 %	2.7 %

②属性別

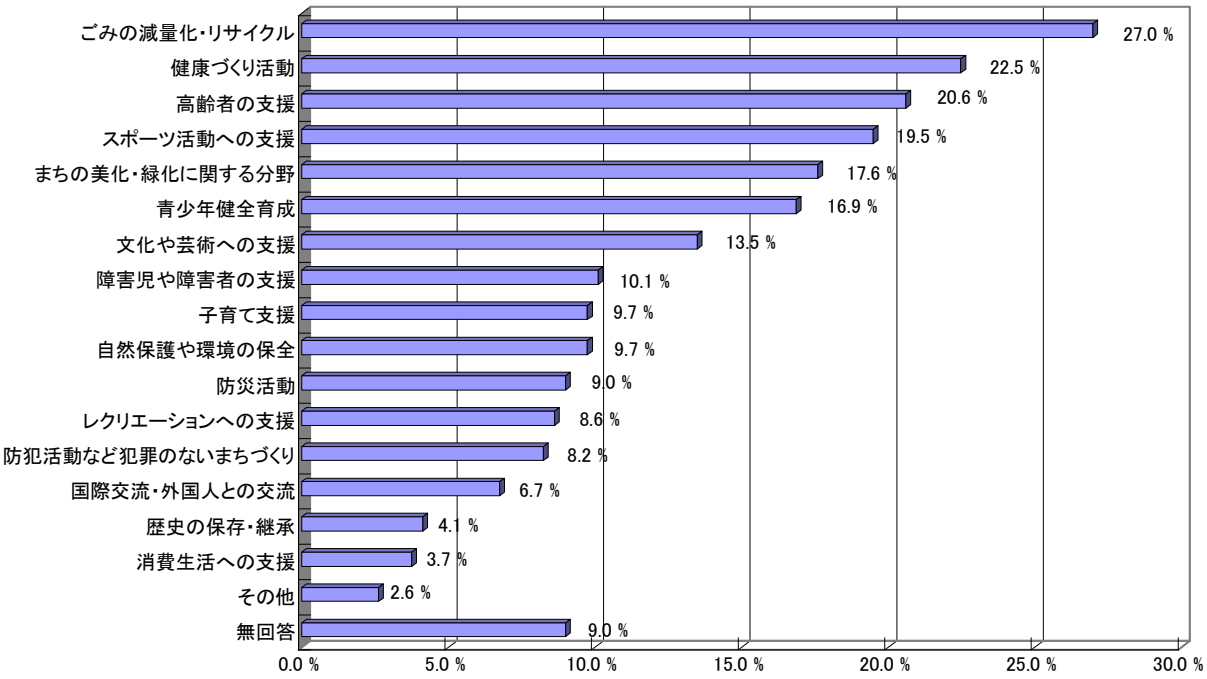


（2）参加している活動分野（※（1）で「参加している」と回答した方のみ回答）

活動へ参加している方のうち、「ごみの減量化・リサイクル（27.0%）」への参加が最も多く、「健康づくり活動（22.5%）」「高齢者への支援（20.6%）」などが多くなっています。

年齢別にみると、「ごみの減量化・リサイクル」「スポーツ活動への支援」は、ほとんどの年代で参加が多く、「健康づくり活動」「高齢者への支援」は、60 歳代以上での参加が多くなっています。

①全体



合計	ごみの減量化･リサイクル	健康づくり活動	高齢者の支援	スポーツ活動への支援	まちの美化･緑化に関する分野	青少年健全育成
267	72	60	55	52	47	45
100.0 %	27.0 %	22.5 %	20.6 %	19.5 %	17.6 %	16.9 %

	文化や芸術への支援	障害児や障害者の支援	子育て支援	自然保護や環境の保全	防災活動	レクリエーションへの支援
	36	27	26	26	24	23
	13.5 %	10.1 %	9.7 %	9.7 %	9.0 %	8.6 %

	防犯活動など犯罪のないまちづくり	国際交流･外国人との交流	消費生活への支援	歴史の保存･継承	その他	無回答
	22	18	10	11	7	24
	8.2 %	6.7 %	3.7 %	4.1 %	2.6 %	9.0 %

※複数回答

②属性別

	合計	ごみの減量化・リサイクル	健康づくり活動	高齢者の支援	スポーツ活動への支援	まちの美化・緑化に関する分野	青少年健全育成	文化や芸術への支援	障害児や障害者の支援	子育て支援
男性	127	31	19	24	36	27	31	12	10	7
	100.0 %	24.4 %	15.0 %	18.9 %	28.3 %	21.3 %	24.4 %	9.4 %	7.9 %	5.5 %
女性	140	41	41	31	16	20	14	24	17	19
	100.0 %	29.3 %	29.3 %	22.1 %	11.4 %	14.3 %	10.0 %	17.1 %	12.1 %	13.6 %
東部	55	16	10	13	11	13	19	6	6	5
	100.0 %	29.1 %	18.2 %	23.6 %	20.0 %	23.6 %	34.5 %	10.9 %	10.9 %	9.1 %
西部	92	27	23	22	13	9	14	18	12	7
	100.0 %	29.3 %	25.0 %	23.9 %	14.1 %	9.8 %	15.2 %	19.6 %	13.0 %	7.6 %
南部	81	24	19	13	15	17	7	8	5	10
	100.0 %	29.6 %	23.5 %	16.0 %	18.5 %	21.0 %	8.6 %	9.9 %	6.2 %	12.3 %
北部	39	5	8	7	13	8	5	4	4	4
	100.0 %	12.8 %	20.5 %	17.9 %	33.3 %	20.5 %	12.8 %	10.3 %	10.3 %	10.3 %
10歳代20歳代	10	5	1	1	3	1	0	1	1	1
	100.0 %	50.0 %	10.0 %	10.0 %	30.0 %	10.0 %	0.0 %	10.0 %	10.0 %	10.0 %
30歳代	27	11	2	1	6	4	5	2	3	7
	100.0 %	40.7 %	7.4 %	3.7 %	22.2 %	14.8 %	18.5 %	7.4 %	11.1 %	25.9 %
40歳代	29	2	6	4	9	5	6	0	2	2
	100.0 %	6.9 %	20.7 %	13.8 %	31.0 %	17.2 %	20.7 %	0.0 %	6.9 %	6.9 %
50歳代	57	16	9	7	14	9	12	7	6	4
	100.0 %	28.1 %	15.8 %	12.3 %	24.6 %	15.8 %	21.1 %	12.3 %	10.5 %	7.0 %
60歳代	84	17	26	22	17	11	14	11	11	9
	100.0 %	20.2 %	31.0 %	26.2 %	20.2 %	13.1 %	16.7 %	13.1 %	13.1 %	10.7 %
70歳代以上	60	21	16	20	3	17	8	15	4	3
	100.0 %	35.0 %	26.7 %	33.3 %	5.0 %	28.3 %	13.3 %	25.0 %	6.7 %	5.0 %

	自然保護や環境の保全	防災活動	レクリエーションへの支援	防犯活動など犯罪のないまちづくり	国際交流・外国人との交流	消費生活への支援	歴史の保存・継承	その他	無回答
男性	15	22	15	17	8	3	10	4	9
	11.8 %	17.3 %	11.8 %	13.4 %	6.3 %	2.4 %	7.9 %	3.1 %	7.1 %
女性	11	2	8	5	10	7	1	3	15
	7.9 %	1.4 %	5.7 %	3.6 %	7.1 %	5.0 %	0.7 %	2.1 %	10.7 %
東部	8	8	5	7	4	3	6	2	5
	14.5 %	14.5 %	9.1 %	12.7 %	7.3 %	5.5 %	10.9 %	3.6 %	9.1 %
西部	10	7	5	8	8	2	0	3	8
	10.9 %	7.6 %	5.4 %	8.7 %	8.7 %	2.2 %	0.0 %	3.3 %	8.7 %
南部	3	8	6	6	4	2	4	2	9
	3.7 %	9.9 %	7.4 %	7.4 %	4.9 %	2.5 %	4.9 %	2.5 %	11.1 %
北部	5	1	7	1	2	3	1	0	2
	12.8 %	2.6 %	17.9 %	2.6 %	5.1 %	7.7 %	2.6 %	0.0 %	5.1 %
10歳代20歳代	0	1	1	0	2	0	0	1	0
	0.0 %	10.0 %	10.0 %	0.0 %	20.0 %	0.0 %	0.0 %	10.0 %	0.0 %
30歳代	1	2	2	1	0	0	0	0	1
	3.7 %	7.4 %	7.4 %	3.7 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	3.7 %
40歳代	0	4	2	4	1	1	0	0	3
	0.0 %	13.8 %	6.9 %	13.8 %	3.4 %	3.4 %	0.0 %	0.0 %	10.3 %
50歳代	5	10	3	5	3	1	0	1	0
	8.8 %	17.5 %	5.3 %	8.8 %	5.3 %	1.8 %	0.0 %	1.8 %	0.0 %
60歳代	10	4	9	8	6	5	5	3	10
	11.9 %	4.8 %	10.7 %	9.5 %	7.1 %	6.0 %	6.0 %	3.6 %	11.9 %
70歳代以上	10	3	6	4	6	3	6	2	10
	16.7 %	5.0 %	10.0 %	6.7 %	10.0 %	5.0 %	10.0 %	3.3 %	16.7 %

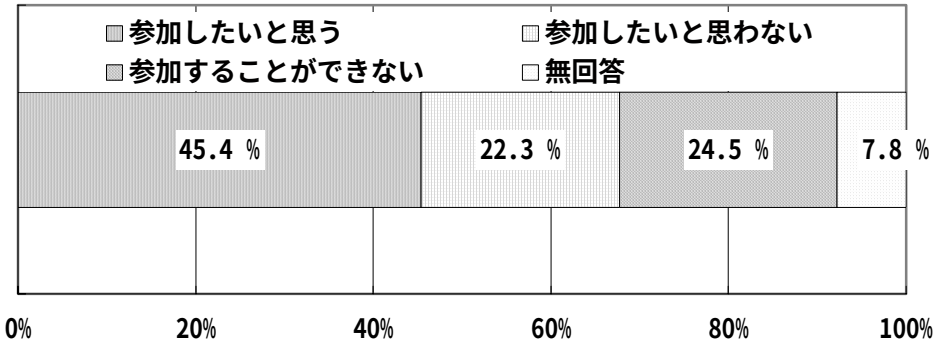
※複数回答

（3）これからのまちづくり活動への参加意向

これからのまちづくり活動への参加について、全体の 45.4%が「参加したいと思う」と回答しています。

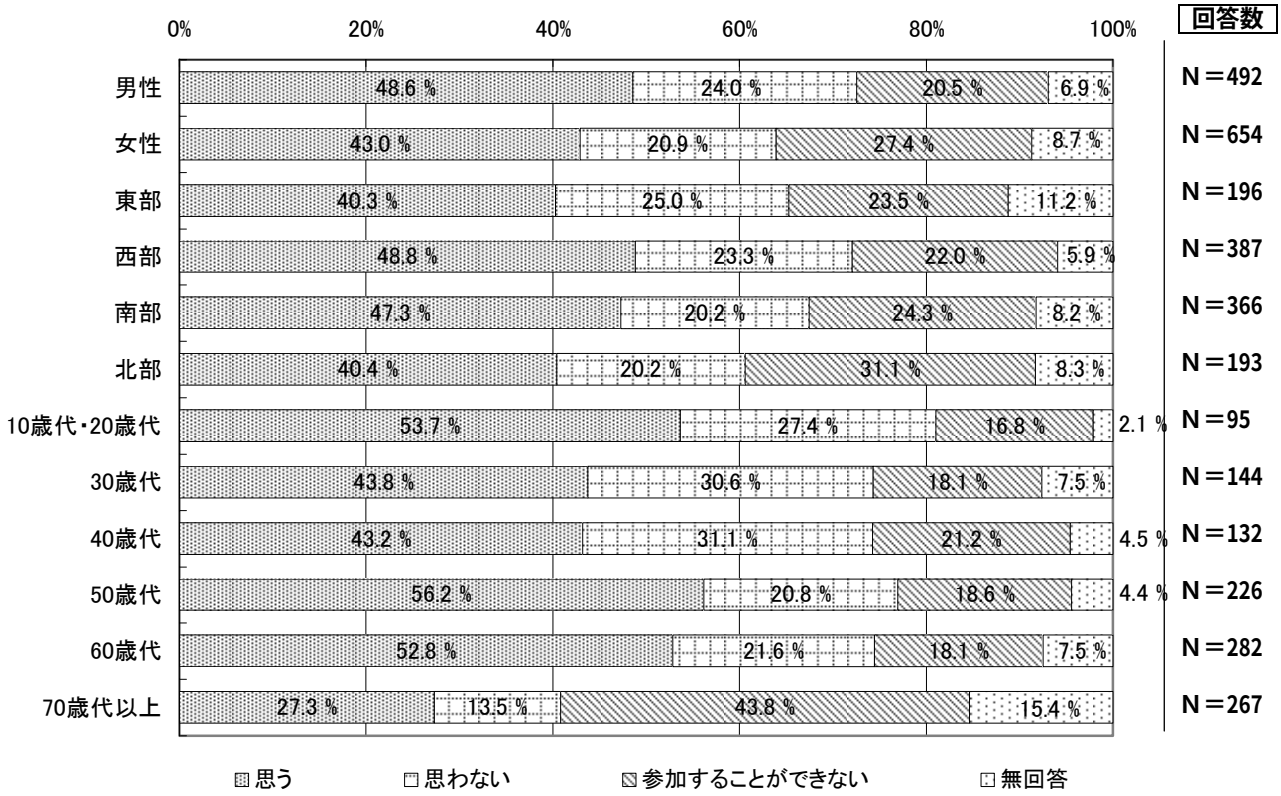
年齢別にみると、10 歳代・20 歳代、50 歳代及び 60 歳代では、50%以上が参加の意向を示しています。70 歳代以上の高齢者では、「参加することができない」と回答した方が、約 40%となっています。

①全体



合計	思う	思わない	参加することができない	無回答
1,146	520	255	280	91
100.0 %	45.4 %	22.3 %	24.5 %	7.8 %

②属性別



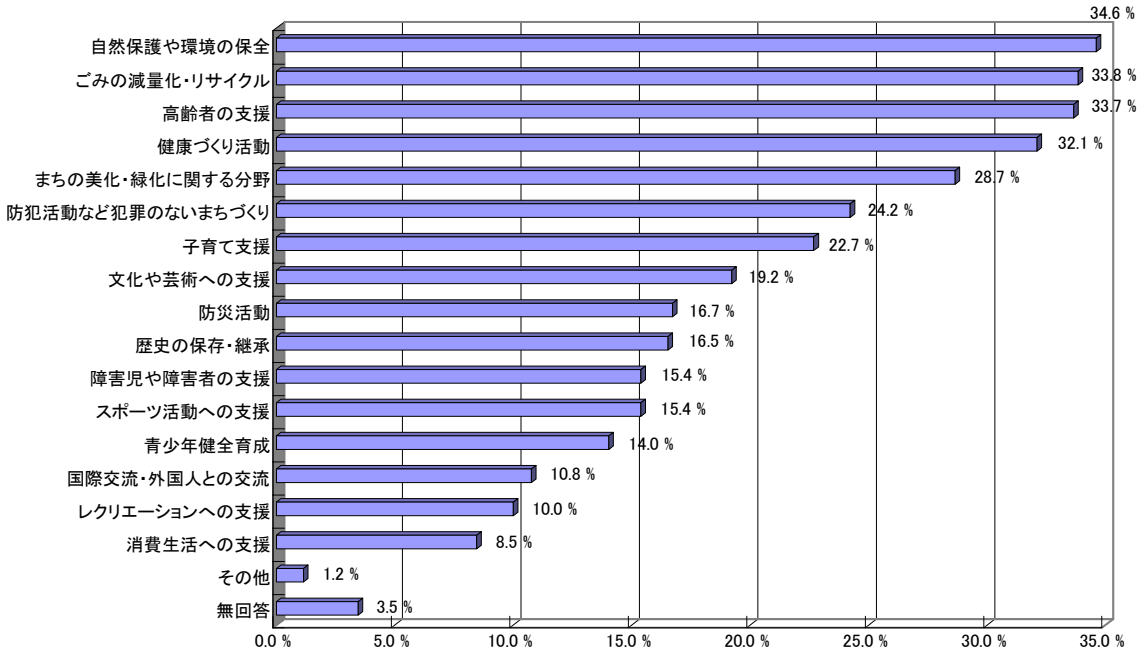
（4）参加したい活動分野（※（3）で「参加したいと思う」と回答した方のみ回答）

参加したい活動分野としては、「自然保護や環境の保全（34.6%）」「ごみの減量化・リサイクル（33.8%）」「高齢者の支援（33.7%）」「健康づくり活動（32.1%）」が多く、環境問題や健康・福祉分野への参加意欲の高さがうかがえます。

年齢別にみると、「自然保護や環境の保全」「ごみの減量化・リサイクル」は、多くの年代で回答の上位を占めています。

また、「子育て支援」は、30 歳代での回答が 44.4%と多くなっているのに対し、「高齢者の支援」「健康づくり活動」「まちの美化・緑化に関する分野」は、50 歳代以上での参加意欲が高くなっています。

①全体



合計	自然保護や環境の保全	ごみの減量化・リサイクル	高齢者の支援	健康づくり活動	まちの美化・緑化に関する分野	防犯活動など犯罪のないまちづくり
520	180	176	175	167	149	126
100.0 %	34.6 %	33.8 %	33.7 %	32.1 %	28.7 %	24.2 %

子育て支援	文化や芸術への支援	防災活動	歴史の保存・継承	障害児や障害者の支援	スポーツ活動への支援
118	100	87	86	80	80
22.7 %	19.2 %	16.7 %	16.5 %	15.4 %	15.4 %

青少年健全育成	国際交流・外国人との交流	レクリエーションへの支援	消費生活への支援	その他	無回答
73	56	52	44	6	18
14.0 %	10.8 %	10.0 %	8.5 %	1.2 %	3.5 %

※複数回答

②属性別

	合計	自然保護や環境の保全	ごみの減量化・リサイクル	高齢者の支援	健康づくり活動	まちの美化・緑化に関する分野	防犯活動など犯罪のないまちづくり	子育て支援	文化や芸術への支援	防災活動
男性	239	93	73	73	66	79	73	31	38	61
	100.0 %	38.9 %	30.5 %	30.5 %	27.6 %	33.1 %	30.5 %	13.0 %	15.9 %	25.5 %
女性	281	87	103	102	101	70	53	87	62	26
	100.0 %	31.0 %	36.7 %	36.3 %	35.9 %	24.9 %	18.9 %	31.0 %	22.1 %	9.3 %
東部	79	24	21	25	27	20	21	18	18	16
	100.0 %	30.4 %	26.6 %	31.6 %	34.2 %	25.3 %	26.6 %	22.8 %	22.8 %	20.3 %
西部	189	73	70	69	66	51	35	43	42	27
	100.0 %	38.6 %	37.0 %	36.5 %	34.9 %	27.0 %	18.5 %	22.8 %	22.2 %	14.3 %
南部	173	54	56	46	49	58	53	40	33	31
	100.0 %	31.2 %	32.4 %	26.6 %	28.3 %	33.5 %	30.6 %	23.1 %	19.1 %	17.9 %
北部	78	28	28	35	25	20	17	16	7	13
	100.0 %	35.9 %	35.9 %	44.9 %	32.1 %	25.6 %	21.8 %	20.5 %	9.0 %	16.7 %
10歳代 20歳代	51	16	16	12	5	10	9	15	7	9
	100.0 %	31.4 %	31.4 %	23.5 %	9.8 %	19.6 %	17.6 %	29.4 %	13.7 %	17.6 %
30歳代	63	11	14	14	15	12	17	28	9	10
	100.0 %	17.5 %	22.2 %	22.2 %	23.8 %	19.0 %	27.0 %	44.4 %	14.3 %	15.9 %
40歳代	57	26	23	16	13	13	9	13	14	10
	100.0 %	45.6 %	40.4 %	28.1 %	22.8 %	22.8 %	15.8 %	22.8 %	24.6 %	17.5 %
50歳代	127	53	43	54	54	45	37	25	22	20
	100.0 %	41.7 %	33.9 %	42.5 %	42.5 %	35.4 %	29.1 %	19.7 %	17.3 %	15.7 %
60歳代	149	53	53	54	59	42	34	25	33	24
	100.0 %	35.6 %	35.6 %	36.2 %	39.6 %	28.2 %	22.8 %	16.8 %	22.1 %	16.1 %
70歳代 以上	73	21	27	25	21	27	20	12	15	14
	100.0 %	28.8 %	37.0 %	34.2 %	28.8 %	37.0 %	27.4 %	16.4 %	20.5 %	19.2 %

	歴史の保存・継承	障害児や障害者の支援	スポーツ活動への支援	青少年健全育成	国際交流・外国人との交流	レクリエーションへの支援	消費生活への支援	その他	無回答
男性	52	36	46	47	24	26	19	3	10
	21.8 %	15.1 %	19.2 %	19.7 %	10.0 %	10.9 %	7.9 %	1.3 %	4.2 %
女性	34	44	34	26	32	26	25	3	8
	12.1 %	15.7 %	12.1 %	9.3 %	11.4 %	9.3 %	8.9 %	1.1 %	2.8 %
東部	9	13	17	19	12	11	10	2	5
	11.4 %	16.5 %	21.5 %	24.1 %	15.2 %	13.9 %	12.7 %	2.5 %	6.3 %
西部	34	28	31	24	19	17	10	2	4
	18.0 %	14.8 %	16.4 %	12.7 %	10.1 %	9.0 %	5.3 %	1.1 %	2.1 %
南部	30	20	23	20	19	19	19	1	7
	17.3 %	11.6 %	13.3 %	11.6 %	11.0 %	11.0 %	11.0 %	0.6 %	4.0 %
北部	13	18	9	10	6	5	5	1	2
	16.7 %	23.1 %	11.5 %	12.8 %	7.7 %	6.4 %	6.4 %	1.3 %	2.6 %
10歳代 20歳代	7	9	19	3	16	8	1	0	0
	13.7 %	17.6 %	37.3 %	5.9 %	31.4 %	15.7 %	2.0 %	0.0 %	0.0 %
30歳代	9	11	14	10	8	4	7	0	0
	14.3 %	17.5 %	22.2 %	15.9 %	12.7 %	6.3 %	11.1 %	0.0 %	0.0 %
40歳代	8	15	10	9	11	4	7	1	1
	14.0 %	26.3 %	17.5 %	15.8 %	19.3 %	7.0 %	12.3 %	1.8 %	1.8 %
50歳代	20	21	15	9	7	9	11	1	1
	15.7 %	16.5 %	11.8 %	7.1 %	5.5 %	7.1 %	8.7 %	0.8 %	0.8 %
60歳代	30	17	18	24	9	20	12	3	9
	20.1 %	11.4 %	12.1 %	16.1 %	6.0 %	13.4 %	8.1 %	2.0 %	6.0 %
70歳代 以上	12	7	4	18	5	7	6	1	7
	16.4 %	9.6 %	5.5 %	24.7 %	6.8 %	9.6 %	8.2 %	1.4 %	9.6 %

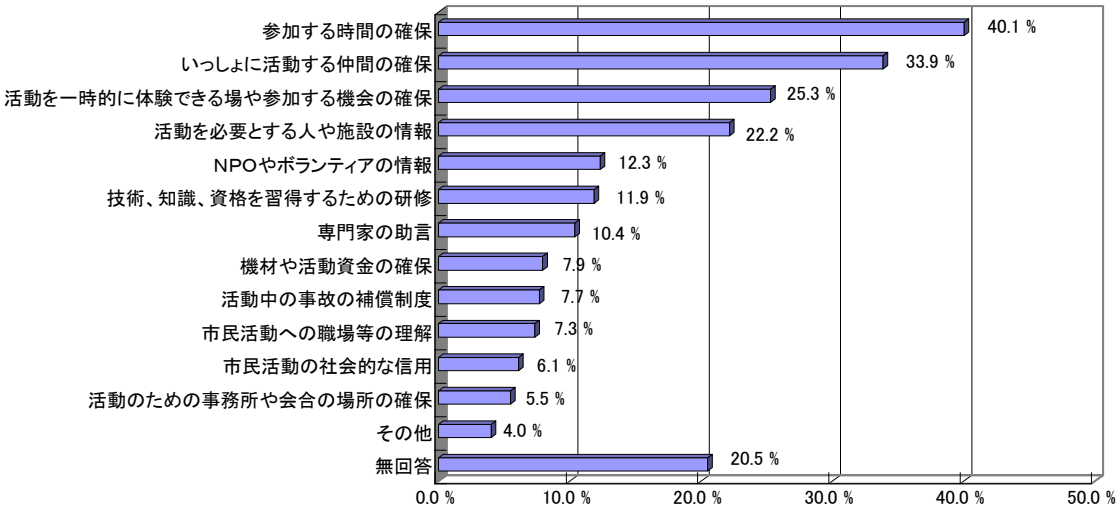
※複数回答

（5）市民活動に取り組みやすくなるために必要なこと

市民活動に取り組みやすくなるために必要なことは、「参加する時間の確保（40.1%）」と「いっしょに活動する仲間の確保（33.9%）」の回答が多くなっています。

年齢別にみると、50 歳代以下の年代では、半数以上が「参加する時間の確保」が必要と回答しています。60 歳代では、時間の確保よりも「仲間の確保」や「一時的に体験・参加できる機会の提供」が必要とされています。

①全体



合計	参加する時間の確保	いっしょに活動する仲間の確保	活動を一時的に体験できる場や参加する機会の確保	活動を必要とする人や施設の情報	NPOやボランティアの情報	技術、知識、資格を習得するための研修	専門家の助言
1,146	459	388	290	254	141	136	119
100.0 %	40.1 %	33.9 %	25.3 %	22.2 %	12.3 %	11.9 %	10.4 %

機材や活動資金の確保	活動中の事故の補償制度	市民活動への職場等の理解	市民活動の社会的な信用	活動のための事務所や会合の場所の確保	その他	無回答
91	88	84	70	63	46	235
7.9 %	7.7 %	7.3 %	6.1 %	5.5 %	4.0 %	20.5 %

※複数回答

②属性別

	合計	参加する時間の確保	いっしょに活動する仲間の確保	活動を一時的に体験できる場や参加する機会の確保	活動を必要とする人や施設の情報	ＮＰＯやボランティアの情報	技術、知識、資格を習得するための研修	専門家の助言
男性	492	195	177	108	106	67	50	58
	100.0 %	39.6 %	36.0 %	22.0 %	21.5 %	13.6 %	10.2 %	11.8 %
女性	654	264	211	182	148	74	86	61
	100.0 %	40.4 %	32.3 %	27.8 %	22.6 %	11.3 %	13.1 %	9.3 %
東部	196	70	70	38	46	27	18	27
	100.0 %	35.7 %	35.7 %	19.4 %	23.5 %	13.8 %	9.2 %	13.8 %
西部	387	154	126	114	93	57	51	33
	100.0 %	39.8 %	32.6 %	29.5 %	24.0 %	14.7 %	13.2 %	8.5 %
南部	366	159	120	83	71	39	49	42
	100.0 %	43.4 %	32.8 %	22.7 %	19.4 %	10.7 %	13.4 %	11.5 %
北部	193	75	71	55	43	17	18	17
	100.0 %	38.9 %	36.8 %	28.5 %	22.3 %	8.8 %	9.3 %	8.8 %
10歳代 20歳代	95	45	45	28	27	17	16	5
	100.0 %	47.4 %	47.4 %	29.5 %	28.4 %	17.9 %	16.8 %	5.3 %
30歳代	144	90	56	38	29	23	15	6
	100.0 %	62.5 %	38.9 %	26.4 %	20.1 %	16.0 %	10.4 %	4.2 %
40歳代	132	78	43	33	32	21	29	13
	100.0 %	59.1 %	32.6 %	25.0 %	24.2 %	15.9 %	22.0 %	9.8 %
50歳代	226	120	69	67	69	30	27	28
	100.0 %	53.1 %	30.5 %	29.6 %	30.5 %	13.3 %	11.9 %	12.4 %
60歳代	282	81	112	88	75	33	42	35
	100.0 %	28.7 %	39.7 %	31.2 %	26.6 %	11.7 %	14.9 %	12.4 %
70歳代 以上	267	45	63	36	22	17	7	32
	100.0 %	16.9 %	23.6 %	13.5 %	8.2 %	6.4 %	2.6 %	12.0 %

	機材や活動資金の確保	活動中の事故の補償制度	市民活動への職場等の理解	市民活動の社会的な信用	活動のための事務所や会合の場所の確保	その他	無回答
男性	50	46	45	38	43	17	87
	10.2 %	9.3 %	9.1 %	7.7 %	8.7 %	3.5 %	17.7 %
女性	41	42	39	32	20	29	148
	6.3 %	6.4 %	6.0 %	4.9 %	3.1 %	4.4 %	22.6 %
東部	19	18	12	12	17	4	47
	9.7 %	9.2 %	6.1 %	6.1 %	8.7 %	2.0 %	24.0 %
西部	33	27	25	17	21	20	73
	8.5 %	7.0 %	6.5 %	4.4 %	5.4 %	5.2 %	18.9 %
南部	23	29	29	31	19	11	74
	6.3 %	7.9 %	7.9 %	8.5 %	5.2 %	3.0 %	20.2 %
北部	16	14	17	10	6	11	39
	8.3 %	7.3 %	8.8 %	5.2 %	3.1 %	5.7 %	20.2 %
10歳代 20歳代	10	3	11	7	2	5	6
	10.5 %	3.2 %	11.6 %	7.4 %	2.1 %	5.3 %	6.3 %
30歳代	11	4	24	12	7	2	13
	7.6 %	2.8 %	16.7 %	8.3 %	4.9 %	1.4 %	9.0 %
40歳代	16	14	19	4	4	3	10
	12.1 %	10.6 %	14.4 %	3.0 %	3.0 %	2.3 %	7.6 %
50歳代	19	22	19	17	14	4	24
	8.4 %	9.7 %	8.4 %	7.5 %	6.2 %	1.8 %	10.6 %
60歳代	23	21	6	19	27	14	54
	8.2 %	7.4 %	2.1 %	6.7 %	9.6 %	5.0 %	19.1 %
70歳代 以上	12	24	5	11	9	18	128
	4.5 %	9.0 %	1.9 %	4.1 %	3.4 %	6.7 %	47.9 %

※複数回答

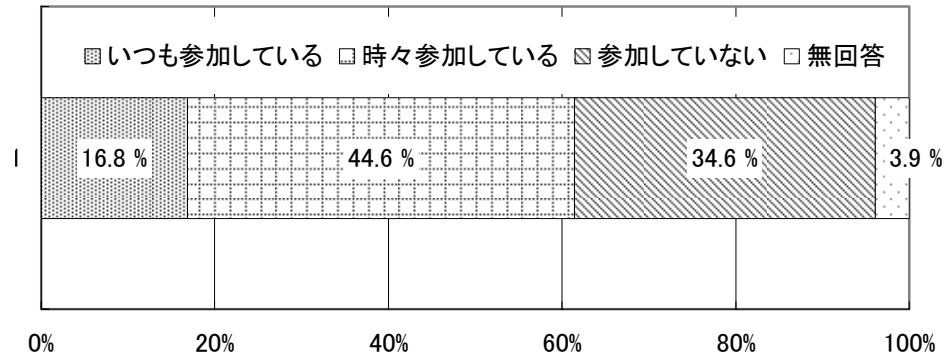
（６）地域の自治会や公民館活動への参加状況

自治会活動等への参加状況は、「いつも参加している」「時々参加している」を合計すると全体の 61.4%が参加していると回答しています。

地域別にみると、南部は約 70%が参加していると回答しており、他の地域よりも参加意欲が高くなっていす。

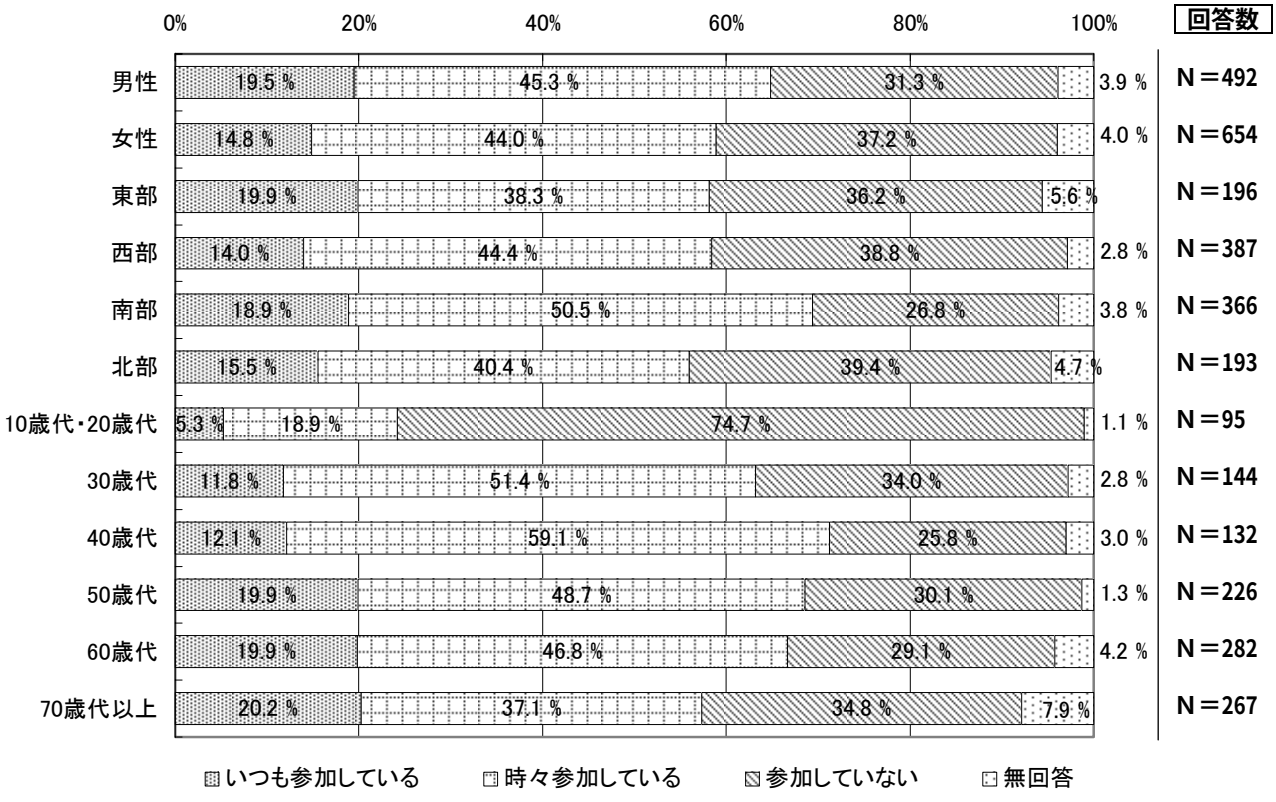
年齢別にみると、30 歳代から 60 歳代までは参加していると回答した方が 60%以上と多くなっていますが、10 歳代・20 歳代では、「参加していない」と回答した方が 74.7%と多く、「いつも参加している」と回答した方が 5.3%と最も少なくなっています。

①全体



合計	いつも参加している	時々参加している	参加していない	無回答
1,146	193	511	397	45
100.0 %	16.8 %	44.6 %	34.6 %	3.9 %

②属性別



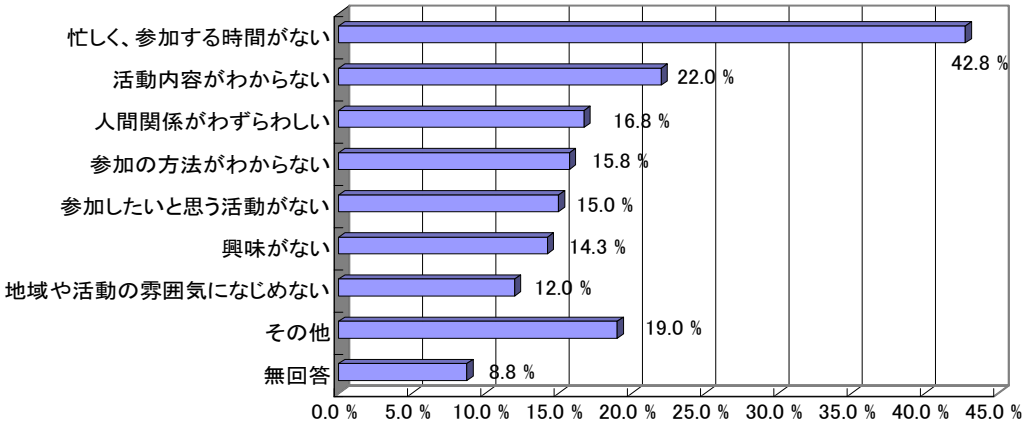
（7）地域活動への参加について感じていること（※（6）で「参加していない」と回答した方のみ回答）

地域活動へ参加していない方の理由として、「忙しく、参加する時間がない（42.8%）」「活動内容がわからない（22.0%）」が多くなっています。

特に、他の年代に比べ、地域活動への参加が極端に少ない 10 歳代・20 歳代は、「興味がない」と回答した方が 26.8%と、他の年代の回答の 8.6%～16.0%と比べて突出しています。

「その他（19.0%）」の回答ついては、健康上の理由や、高齢、障害のため参加していないという方がほとんどとなっています。

①全体



合計	忙しく、参加する時間がない	活動内容がわからない	人間関係がわずらわしい	参加の方法がわからない	参加したいと思う活動がない	興味がない	地域や活動の雰囲気になじめない	その他	無回答
400	171	88	67	63	60	57	48	76	35
100.0 %	42.8 %	22.0 %	16.8 %	15.8 %	15.0 %	14.3 %	12.0 %	19.0 %	8.8 %

※複数回答

②属性別

	合計	忙しく、参加する時間がない	参加したいと思う活動がない	人間関係がわずらわしい	地域や活動の雰囲気になじめない	参加の方法がわからない	活動内容がわからない	興味がない	その他	無回答
男性	157	70	27	27	19	27	36	27	22	17
	100.0 %	44.6 %	17.2 %	17.2 %	12.1 %	17.2 %	22.9 %	17.2 %	14.0 %	10.8 %
女性	243	101	33	40	29	36	52	30	54	18
	100.0 %	41.6 %	13.6 %	16.5 %	11.9 %	14.8 %	21.4 %	12.3 %	22.2 %	7.4 %
東部	71	23	13	14	9	12	12	11	16	6
	100.0 %	32.4 %	18.3 %	19.7 %	12.7 %	16.9 %	16.9 %	15.5 %	22.5 %	8.5 %
西部	150	64	19	27	17	22	37	25	29	8
	100.0 %	42.7 %	12.7 %	18.0 %	11.3 %	14.7 %	24.7 %	16.7 %	19.3 %	5.3 %
南部	101	43	19	15	14	17	22	12	18	11
	100.0 %	42.6 %	18.8 %	14.9 %	13.9 %	16.8 %	21.8 %	11.9 %	17.8 %	10.9 %
北部	76	41	9	11	8	12	17	9	13	8
	100.0 %	53.9 %	11.8 %	14.5 %	10.5 %	15.8 %	22.4 %	11.8 %	17.1 %	10.5 %
10歳代 20歳代	71	37	12	10	8	17	23	19	5	0
	100.0 %	52.1 %	16.9 %	14.1 %	11.3 %	23.9 %	32.4 %	26.8 %	7.0 %	0.0 %
30歳代	50	30	8	7	8	11	17	8	7	1
	100.0 %	60.0 %	16.0 %	14.0 %	16.0 %	22.0 %	34.0 %	16.0 %	14.0 %	2.0 %
40歳代	35	22	5	5	7	4	7	3	4	4
	100.0 %	62.9 %	14.3 %	14.3 %	20.0 %	11.4 %	20.0 %	8.6 %	11.4 %	11.4 %
50歳代	68	40	14	16	7	10	17	8	5	5
	100.0 %	58.8 %	20.6 %	23.5 %	10.3 %	14.7 %	25.0 %	11.8 %	7.4 %	7.4 %
60歳代	83	33	13	22	12	15	14	10	12	4
	100.0 %	39.8 %	15.7 %	26.5 %	14.5 %	18.1 %	16.9 %	12.0 %	14.5 %	4.8 %
70歳代 以上	93	9	8	7	6	6	10	9	43	21
	100.0 %	9.7 %	8.6 %	7.5 %	6.5 %	6.5 %	10.8 %	9.7 %	46.2 %	22.6 %

※複数回答

３．市政への市民参加について

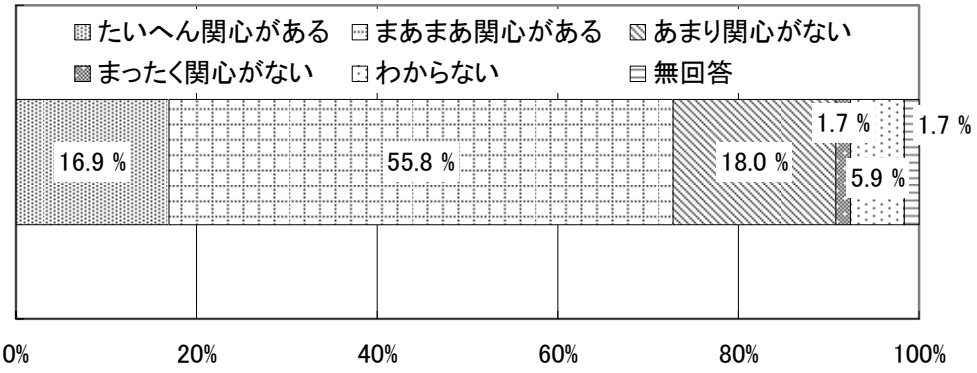
（１）市政への関心の状況

市政へ関心がある方は、全体の 72.7%を占めています。

特に、男性の関心が高く、約 80%が関心があると回答しています。

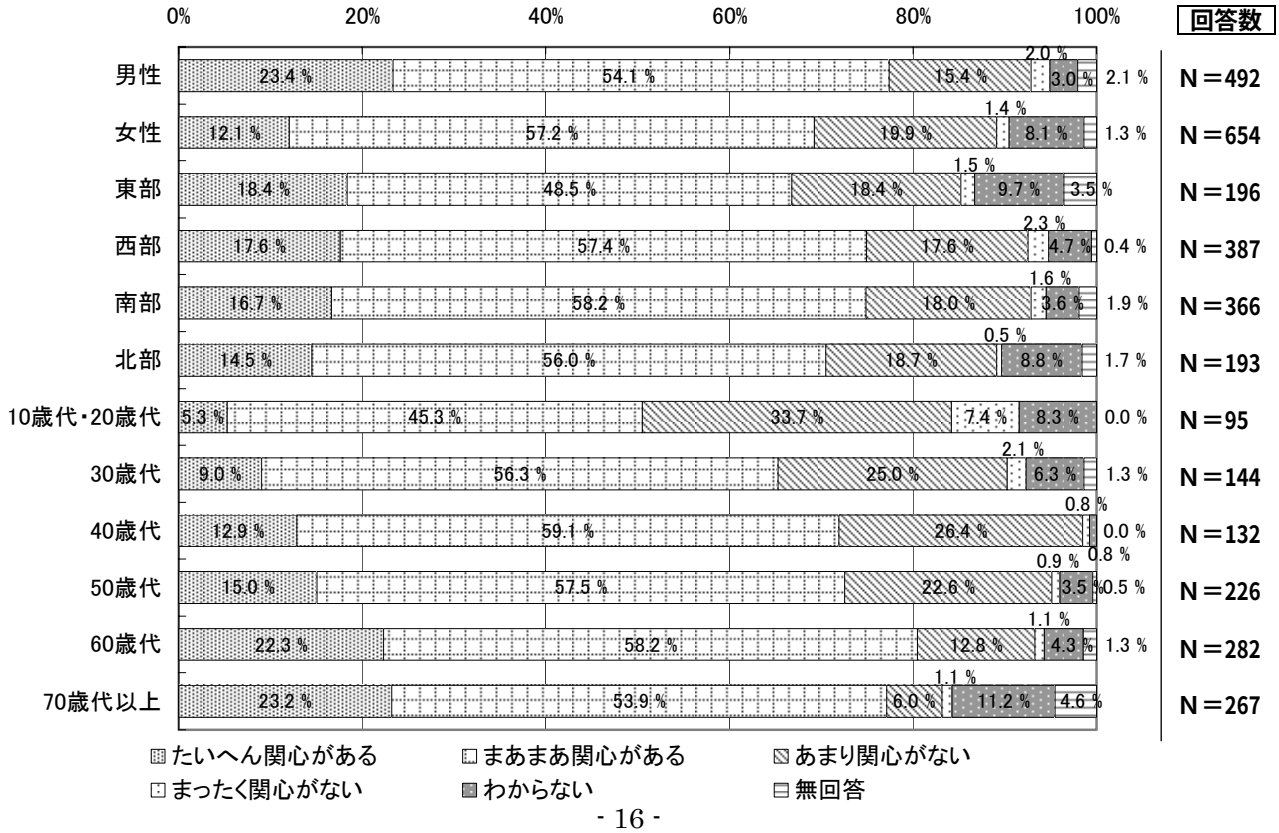
年齢別にみると、10 歳代・20 歳代の関心が低く、関心がある方は 50.6%に留まっています。高齢になるにつれ、市政への関心は高くなり、60 歳代以上では約 80%の方が、関心があると回答しています。

①全体



合計	たいへん関心がある	まあまあ関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	わからない	無回答
1,146	194	640	206	19	68	19
100.0 %	16.9 %	55.8 %	18.0 %	1.7 %	5.9 %	1.7 %

②属性別

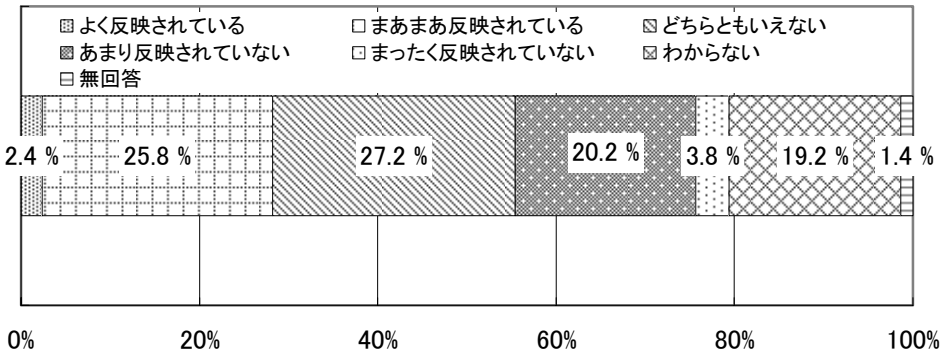


（2）市民意見のまちづくりへの反映状況

市民意見のまちづくりへの反映は、全体の 28.2%が「反映されている」と回答していますが、「どちらともいえない（27.2%）」「わからない（19.2%）」の回答が多くなっています。

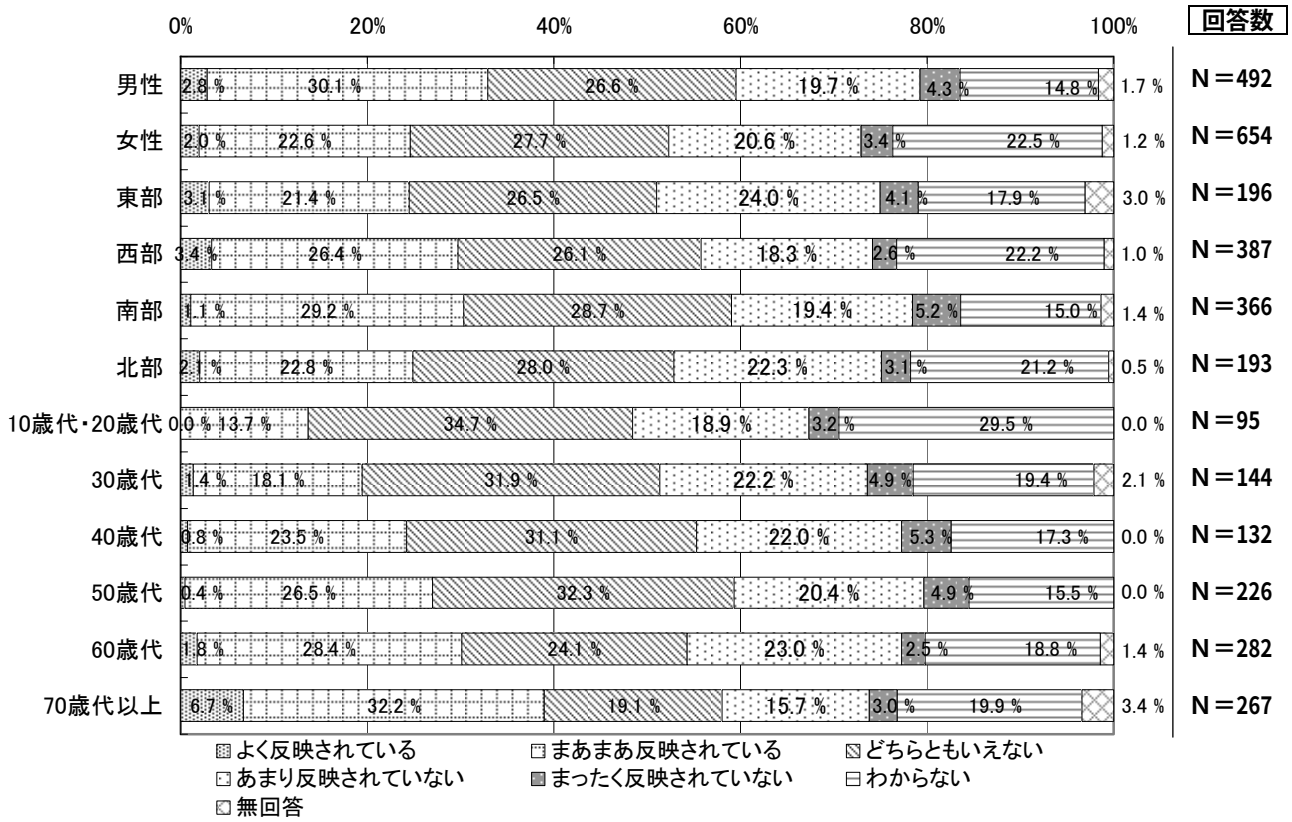
年齢別にみると、「反映されている」と回答している方が、70 歳代以上で 38.9%、60 歳代で 30.2%と高くなっているのに対して、10 歳代・20 歳代では、「わからない」と回答した方が 29.5%と高くなっています。

①全体



合計	よく反映されている	まあまあ反映されている	どちらともいえない	あまり反映されていない	まったく反映されていない	わからない	無回答
1,146	27	296	312	232	43	220	16
100.0 %	2.4 %	25.8 %	27.2 %	20.2 %	3.8 %	19.2 %	1.4 %

②属性別



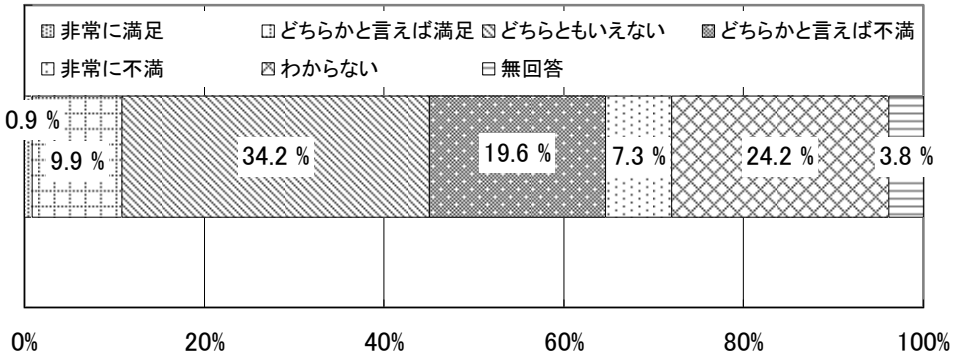
（3）市政に意見を言う機会や手段、方法について

市政に意見を言う機会や手段等については、「非常に満足」「どちらかと言えば満足」を合計した満足の回答が 10.8%となっているのに対して、「非常に不満」「どちらかと言えば不満」を合計した不満の回答が 26.9%と多くなっています。

女性と 10 歳代・20 歳代では、「わからない」と回答した方が多くなっています。

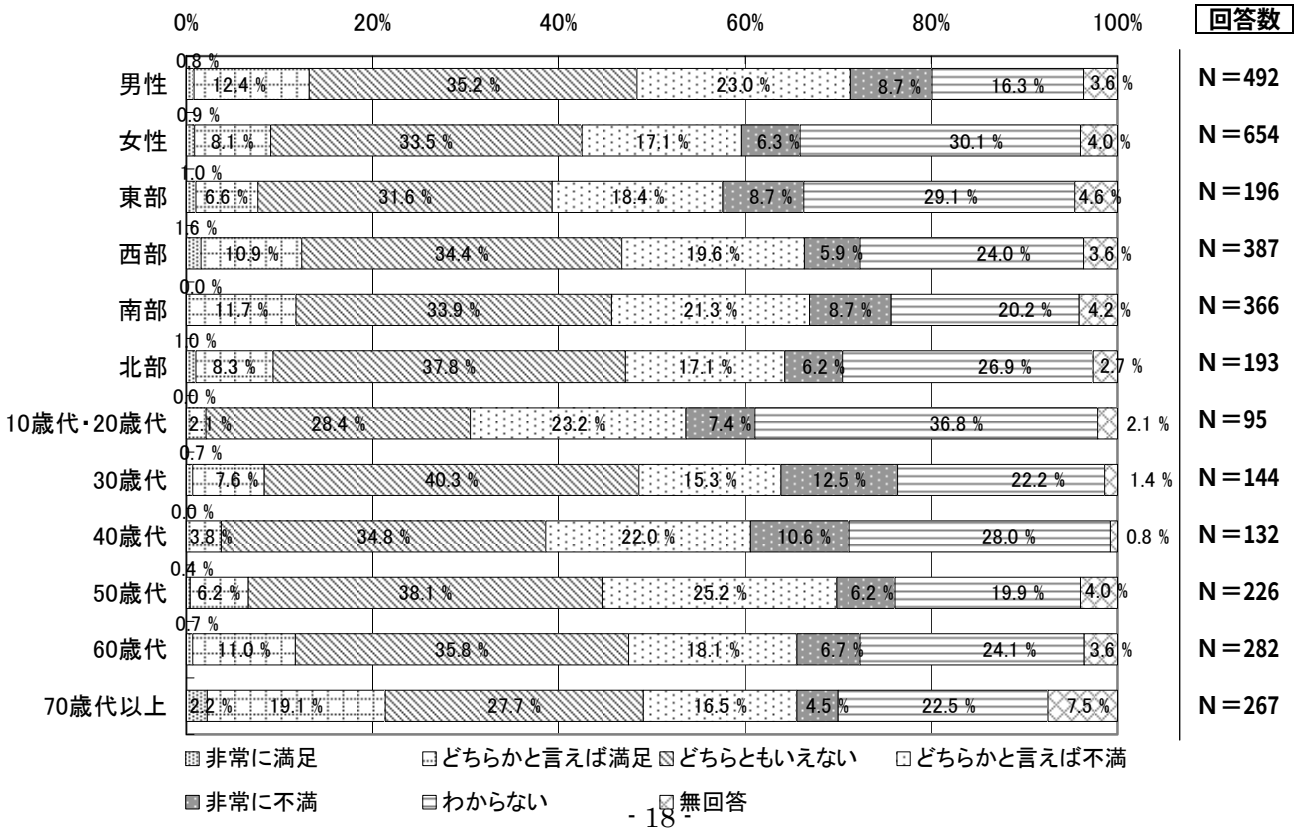
また、満足と回答した方は、10 歳代・20 歳代で 2.1%と、ほとんどの年代で 10%以下となっていますが、年代が高くになるにつれて、満足の回答が多くなっています。

①全体



合計	非常に満足	どちらかと言えば満足	どちらともいえない	どちらかと言えば不満	非常に不満	わからない	無回答
1,146	10	114	392	225	84	277	44
100.0 %	0.9 %	9.9 %	34.2 %	19.6 %	7.3 %	24.2 %	3.8 %

②属性別



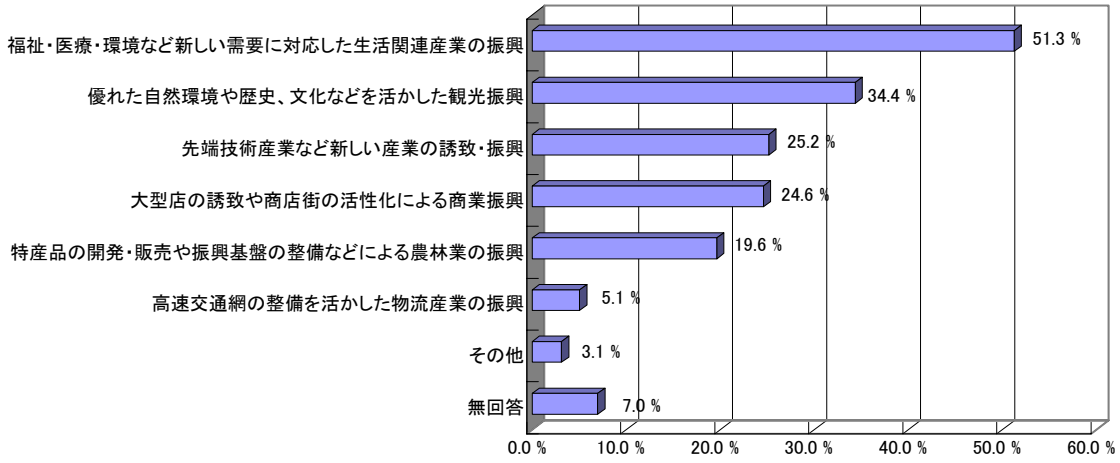
４．個別の課題・計画について

（１）産業振興・雇用拡大のための施策について

産業施策については、「福祉・医療・環境など新しい需要に対応した生活関連産業の振興（51.3%）」が最も重視され、次いで、「優れた自然環境や歴史、文化などを活かした観光振興（34.4%）」となっています。

年齢別にみると、10～30 歳代の若年層では、「大型店の誘致や商店街の活性化による商業振興」を重視する意見も多くなっています。

①全体



合計	福祉・医療・環境など新しい需要に対応した生活関連産業の振興	優れた自然環境や歴史、文化などを活かした観光振興	先端技術産業など新しい産業の誘致・振興	大型店の誘致や商店街の活性化による商業振興
1,146	588	394	289	282
100.0 %	51.3 %	34.4 %	25.2 %	24.6 %

	特産品の開発・販売や振興基盤の整備などによる農林業の振興	高速交通網の整備を活かした物流産業の振興	その他	無回答
	225	58	36	80
	19.6 %	5.1 %	3.1 %	7.0 %

※複数回答

②属性別

	合計	福祉・医療・環境など新しい需要に対応した生活関連産業の振興	優れた自然環境や歴史、文化などを活かした観光振興	先端技術産業など新しい産業の誘致・振興	大型店の誘致や商店街の活性化による商業振興
男性	492	244	183	152	112
	100.0 %	49.6 %	37.2 %	30.9 %	22.8 %
女性	654	344	211	137	170
	100.0 %	52.6 %	32.3 %	20.9 %	26.0 %
東部	196	92	66	51	44
	100.0 %	46.9 %	33.7 %	26.0 %	22.4 %
西部	387	213	159	79	93
	100.0 %	55.0 %	41.1 %	20.4 %	24.0 %
南部	366	174	115	111	110
	100.0 %	47.5 %	31.4 %	30.3 %	30.1 %
北部	193	108	53	48	34
	100.0 %	56.0 %	27.5 %	24.9 %	17.6 %
10歳代 20歳代	95	45	36	23	40
	100.0 %	47.4 %	37.9 %	24.2 %	42.1 %
30歳代	144	75	43	32	56
	100.0 %	52.1 %	29.9 %	22.2 %	38.9 %
40歳代	132	64	47	36	38
	100.0 %	48.5 %	35.6 %	27.3 %	28.8 %
50歳代	226	120	83	67	55
	100.0 %	53.1 %	36.7 %	29.6 %	24.3 %
60歳代	282	151	99	67	52
	100.0 %	53.5 %	35.1 %	23.8 %	18.4 %
70歳代 以上	267	133	86	64	41
	100.0 %	49.8 %	32.2 %	24.0 %	15.4 %

	特産品の開発・販売や振興基盤の整備などによる農林業の振興	高速交通網の整備を活かした物流産業の振興	その他	無回答
男性	111	28	19	20
	22.6 %	5.7 %	3.9 %	4.1 %
女性	114	30	17	60
	17.4 %	4.6 %	2.6 %	9.2 %
東部	42	12	5	16
	21.4 %	6.1 %	2.6 %	8.2 %
西部	68	19	14	22
	17.6 %	4.9 %	3.6 %	5.7 %
南部	70	18	11	20
	19.1 %	4.9 %	3.0 %	5.5 %
北部	45	8	5	21
	23.3 %	4.1 %	2.6 %	10.9 %
10歳代 20歳代	15	6	2	0
	15.8 %	6.3 %	2.1 %	0.0 %
30歳代	16	9	6	5
	11.1 %	6.3 %	4.2 %	3.5 %
40歳代	22	10	4	5
	16.7 %	7.6 %	3.0 %	3.8 %
50歳代	46	13	6	8
	20.4 %	5.8 %	2.7 %	3.5 %
60歳代	66	14	14	20
	23.4 %	5.0 %	5.0 %	7.1 %
70歳代 以上	60	6	4	42
	22.5 %	2.2 %	1.5 %	15.7 %

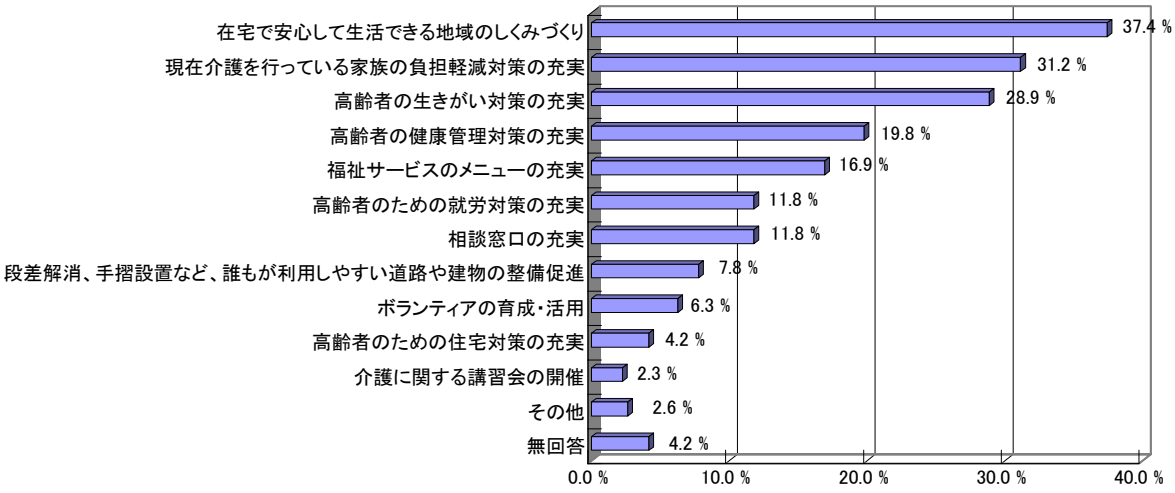
※複数回答

（2）今後の高齢者福祉施策について

今後の高齢者福祉施策では、「在宅で安心して生活できる地域のしくみづくり（37.4%）」が最も重視されており、次いで「現在介護を行っている家族の負担軽減対策の充実（31.2%）」「高齢者の生きがい対策の充実（28.9%）」などとなっています。

年齢別にみると、50 歳代以下の年代では、「家族の負担軽減対策の充実」の回答が多くなっており、高齢化に伴う家族の負担が高いことがうかがえます。60 歳代以上になると、「高齢者の生きがい対策の充実」の回答も多くなっています。

①全体



合計	在宅で安心して生活できる地域のしくみづくり	現在介護を行っている家族の負担軽減対策の充実	高齢者の生きがい対策の充実	高齢者の健康管理対策の充実
1,146	429	357	331	227
100.0 %	37.4 %	31.2 %	28.9 %	19.8 %

	福祉サービスのメニューの充実	高齢者のための就労対策の充実	相談窓口の充実	段差解消、手摺設置など、誰もが利用しやすい道路や建物の整備促進
	194	135	135	89
	16.9 %	11.8 %	11.8 %	7.8 %

	ボランティアの育成・活用	介護に関する講習会の開催	高齢者のための住宅対策の充実	その他	無回答
	72	26	48	30	48
	6.3 %	2.3 %	4.2 %	2.6 %	4.2 %

※複数回答

②属性別

	合計	在宅で安心して生活できる地域のしくみづくり	現在介護を行っている家族の負担軽減対策の充実	高齢者の生きがい対策の充実	高齢者の健康管理対策の充実	福祉サービスのメニューの充実	高齢者のための就労対策の充実
男性	492	177	152	153	116	81	59
	100.0 %	36.0 %	30.9 %	31.1 %	23.6 %	16.5 %	12.0 %
女性	654	252	205	178	111	113	76
	100.0 %	38.5 %	31.3 %	27.2 %	17.0 %	17.3 %	11.6 %
東部	196	71	58	55	48	30	23
	100.0 %	36.2 %	29.6 %	28.1 %	24.5 %	15.3 %	11.7 %
西部	387	133	122	124	69	64	46
	100.0 %	34.4 %	31.5 %	32.0 %	17.8 %	16.5 %	11.9 %
南部	366	146	117	100	71	66	42
	100.0 %	39.9 %	32.0 %	27.3 %	19.4 %	18.0 %	11.5 %
北部	193	78	58	52	39	34	24
	100.0 %	40.4 %	30.1 %	26.9 %	20.2 %	17.6 %	12.4 %
10歳代 20歳代	95	24	37	21	10	20	18
	100.0 %	25.3 %	38.9 %	22.1 %	10.5 %	21.1 %	18.9 %
30歳代	144	26	62	34	18	38	31
	100.0 %	18.1 %	43.1 %	23.6 %	12.5 %	26.4 %	21.5 %
40歳代	132	50	53	35	21	25	21
	100.0 %	37.9 %	40.2 %	26.5 %	15.9 %	18.9 %	15.9 %
50歳代	226	85	83	63	40	47	23
	100.0 %	37.6 %	36.7 %	27.9 %	17.7 %	20.8 %	10.2 %
60歳代	282	128	77	107	55	30	29
	100.0 %	45.4 %	27.3 %	37.9 %	19.5 %	10.6 %	10.3 %
70歳代 以上	267	116	45	71	83	34	13
	100.0 %	43.4 %	16.9 %	26.6 %	31.1 %	12.7 %	4.9 %

	相談窓口の充実	段差解消、手摺設置など、誰もが利用しやすい道路や建物の整備促進	ボランティアの育成・活用	高齢者のための住宅対策の充実	介護に関する講習会の開催	その他	無回答
男性	53	29	29	18	9	16	18
	10.8 %	5.9 %	5.9 %	3.7 %	1.8 %	3.3 %	3.7 %
女性	82	60	43	30	17	14	30
	12.5 %	9.2 %	6.6 %	4.6 %	2.6 %	2.1 %	4.6 %
東部	26	15	7	4	5	4	12
	13.3 %	7.7 %	3.6 %	2.0 %	2.6 %	2.0 %	6.1 %
西部	39	38	28	25	5	7	15
	10.1 %	9.8 %	7.2 %	6.5 %	1.3 %	1.8 %	3.9 %
南部	42	20	29	14	10	15	13
	11.5 %	5.5 %	7.9 %	3.8 %	2.7 %	4.1 %	3.6 %
北部	28	16	8	5	6	3	7
	14.5 %	8.3 %	4.1 %	2.6 %	3.1 %	1.6 %	3.6 %
10歳代 20歳代	9	14	9	8	6	2	0
	9.5 %	14.7 %	9.5 %	8.4 %	6.3 %	2.1 %	0.0 %
30歳代	14	13	14	3	4	4	4
	9.7 %	9.0 %	9.7 %	2.1 %	2.8 %	2.8 %	2.8 %
40歳代	16	7	9	9	1	2	2
	12.1 %	5.3 %	6.8 %	6.8 %	0.8 %	1.5 %	1.5 %
50歳代	38	12	15	6	8	4	4
	16.8 %	5.3 %	6.6 %	2.7 %	3.5 %	1.8 %	1.8 %
60歳代	27	18	17	9	2	9	12
	9.6 %	6.4 %	6.0 %	3.2 %	0.7 %	3.2 %	4.3 %
70歳代 以上	31	25	8	13	5	9	26
	11.6 %	9.4 %	3.0 %	4.9 %	1.9 %	3.4 %	9.7 %

※複数回答

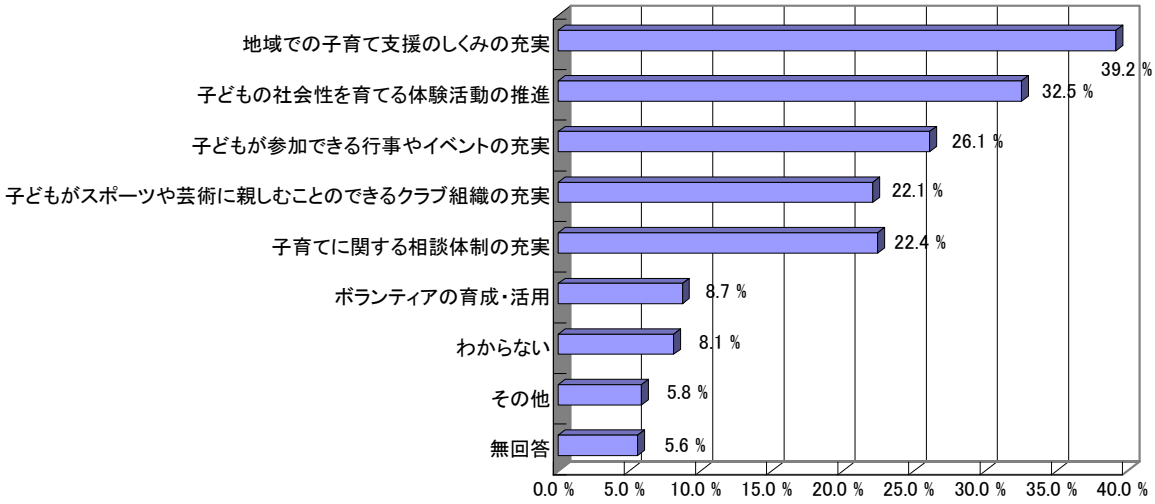
（3）今後の子育て支援施策について

今後の子育て支援施策としては、「地域での子育て支援のしくみの充実（39.2%）」が最も重視されており、次いで「子どもの社会性を育てる体験活動の推進（32.5%）」となっています。

男女別では、「地域での子育て支援のしくみの充実」の回答が男性で 42.3%と、女性の36.9%を上回っています。

30 歳代、40 歳代の子育て世代では、「地域での子育て支援のしくみの充実」に次いで、30歳代では「子どもが参加できる行事やイベントの充実」、40 歳代では「子どもがスポーツや芸術に親しむことのできるクラブ組織の充実」が多くなっています。

①全体



合計	地域での子育て支援のしくみの充実	子どもの社会性を育てる体験活動の推進	子どもが参加できる行事やイベントの充実	子どもがスポーツや芸術に親しむことのできるクラブ組織の充実	
1,146	449	373	299	253	
100.0 %	39.2 %	32.5 %	26.1 %	22.1 %	
	子育てに関する相談体制の充実	ボランティアの育成・活用	わからない	その他	無回答
	257	100	93	67	64
	22.4 %	8.7 %	8.1 %	5.8 %	5.6 %

※複数回答

②属性別

	合計	地域での子育て支援のしくみの充実	子どもの社会性を育てる体験活動の推進	子どもが参加できる行事やイベントの充実	子どもがスポーツや芸術に親しむことのできるクラブ組織の充実
男性	492	208	156	138	120
	100.0 %	42.3 %	31.7 %	28.0 %	24.4 %
女性	654	241	217	161	133
	100.0 %	36.9 %	33.2 %	24.6 %	20.3 %
東部	196	90	58	47	50
	100.0 %	45.9 %	29.6 %	24.0 %	25.5 %
西部	387	141	131	97	87
	100.0 %	36.4 %	33.9 %	25.1 %	22.5 %
南部	366	148	132	101	78
	100.0 %	40.4 %	36.1 %	27.6 %	21.3 %
北部	193	70	52	54	36
	100.0 %	36.3 %	26.9 %	28.0 %	18.7 %
10歳代 20歳代	95	32	23	35	24
	100.0 %	33.7 %	24.2 %	36.8 %	25.3 %
30歳代	144	52	40	48	40
	100.0 %	36.1 %	27.8 %	33.3 %	27.8 %
40歳代	132	55	44	26	47
	100.0 %	41.7 %	33.3 %	19.7 %	35.6 %
50歳代	226	94	77	58	45
	100.0 %	41.6 %	34.1 %	25.7 %	19.9 %
60歳代	282	120	103	67	65
	100.0 %	42.6 %	36.5 %	23.8 %	23.0 %
70歳代 以上	267	96	86	65	32
	100.0 %	36.0 %	32.2 %	24.3 %	12.0 %

	子育てに関する相談体制の充実	ボランティアの育成・活用	わからない	その他	無回答
男性	101	36	29	38	23
	20.5 %	7.3 %	5.9 %	7.7 %	4.7 %
女性	156	64	64	29	41
	23.9 %	9.8 %	9.8 %	4.4 %	6.3 %
東部	34	13	16	8	12
	17.3 %	6.6 %	8.2 %	4.1 %	6.1 %
西部	93	40	32	24	17
	24.0 %	10.3 %	8.3 %	6.2 %	4.4 %
南部	79	32	25	23	20
	21.6 %	8.7 %	6.8 %	6.3 %	5.5 %
北部	50	15	19	11	15
	25.9 %	7.8 %	9.8 %	5.7 %	7.8 %
10歳代 20歳代	21	6	8	9	0
	22.1 %	6.3 %	8.4 %	9.5 %	0.0 %
30歳代	27	6	12	20	1
	18.8 %	4.2 %	8.3 %	13.9 %	0.7 %
40歳代	29	9	7	11	1
	22.0 %	6.8 %	5.3 %	8.3 %	0.8 %
50歳代	61	25	16	6	9
	27.0 %	11.1 %	7.1 %	2.7 %	4.0 %
60歳代	66	30	18	13	17
	23.4 %	10.6 %	6.4 %	4.6 %	6.0 %
70歳代 以上	53	24	32	8	36
	19.9 %	9.0 %	12.0 %	3.0 %	13.5 %

※複数回答

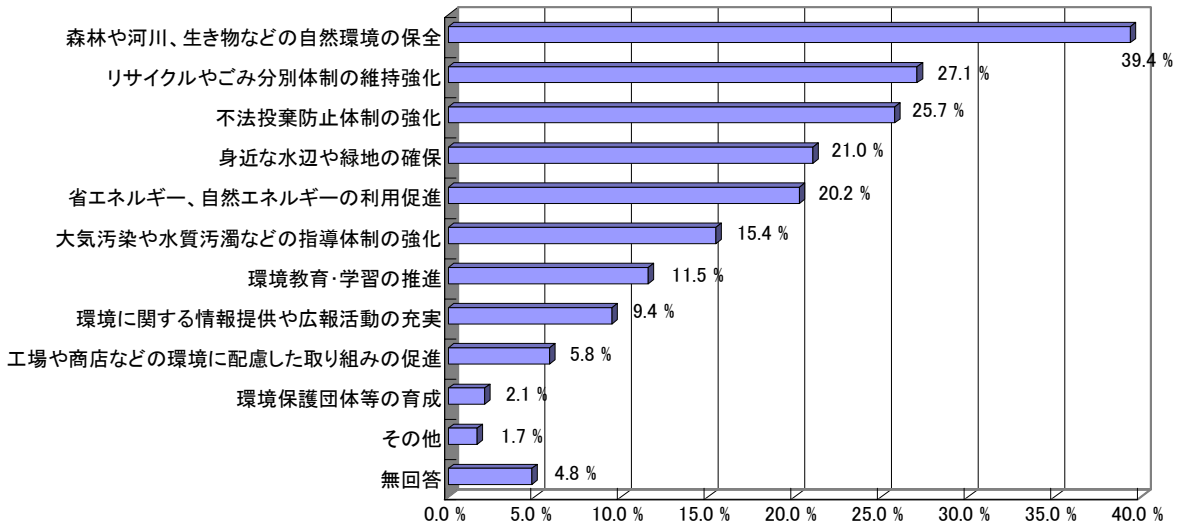
（4）今後の環境施策について

今後の環境施策としては、「森林や河川、生き物などの自然環境の保全（39.4%）」が最も重視されており、次いで「リサイクルやごみ分別体制の維持強化（27.1%）」、「不法投棄防止体制の強化（25.7%）」などとなっています。

男性では、「不法投棄防止体制の強化」の回答も多くなっています。

年齢別にみると、30 歳代で「身近な水辺や緑地の確保」を重視する意見が多く、40 歳代、50 歳代では「省エネルギー、自然エネルギーの利用促進」を重視する回答が多くなっています。

①全体



合計	森林や河川、生き物などの自然環境の保全	リサイクルやごみ分別体制の維持強化	不法投棄防止体制の強化	身近な水辺や緑地の確保	省エネルギー、自然エネルギーの利用促進	大気汚染や水質汚濁などの指導体制の強化
1,146	451	310	295	241	232	177
100.0 %	39.4 %	27.1 %	25.7 %	21.0 %	20.2 %	15.4 %

環境教育･学習の推進	環境に関する情報提供や広報活動の充実	工場や商店などの環境に配慮した取り組みの促進	環境保護団体等の育成	その他	無回答
132	108	67	24	19	55
11.5 %	9.4 %	5.8 %	2.1 %	1.7 %	4.8 %

※複数回答

②属性別

	合計	森林や河川、生き物などの自然環境の保全	リサイクルやごみ分別体制の維持強化	不法投棄防止体制の強化	身近な水辺や緑地の確保	省エネルギー、自然エネルギーの利用促進	大気汚染や水質汚濁などの指導体制の強化
男性	492	209	115	148	105	110	68
	100.0 %	42.5 %	23.4 %	30.1 %	21.3 %	22.4 %	13.8 %
女性	654	242	195	147	136	122	109
	100.0 %	37.0 %	29.8 %	22.5 %	20.8 %	18.7 %	16.7 %
東部	196	74	38	41	38	47	30
	100.0 %	37.8 %	19.4 %	20.9 %	19.4 %	24.0 %	15.3 %
西部	387	155	122	101	92	72	53
	100.0 %	40.1 %	31.5 %	26.1 %	23.8 %	18.6 %	13.7 %
南部	366	134	94	103	68	81	64
	100.0 %	36.6 %	25.7 %	28.1 %	18.6 %	22.1 %	17.5 %
北部	193	88	56	49	42	31	30
	100.0 %	45.6 %	29.0 %	25.4 %	21.8 %	16.1 %	15.5 %
10歳代 20歳代	95	35	30	19	18	23	10
	100.0 %	36.8 %	31.6 %	20.0 %	18.9 %	24.2 %	10.5 %
30歳代	144	56	38	26	46	26	26
	100.0 %	38.9 %	26.4 %	18.1 %	31.9 %	18.1 %	18.1 %
40歳代	132	53	35	34	24	36	17
	100.0 %	40.2 %	26.5 %	25.8 %	18.2 %	27.3 %	12.9 %
50歳代	226	90	74	37	44	60	36
	100.0 %	39.8 %	32.7 %	16.4 %	19.5 %	26.5 %	15.9 %
60歳代	282	112	82	89	56	48	50
	100.0 %	39.7 %	29.1 %	31.6 %	19.9 %	17.0 %	17.7 %
70歳代 以上	267	105	51	90	53	39	38
	100.0 %	39.3 %	19.1 %	33.7 %	19.9 %	14.6 %	14.2 %

	環境教育･学習の推進	環境に関する情報提供や広報活動の充実	工場や商店などの環境に配慮した取り組みの促進	環境保護団体等の育成	その他	無回答
男性	47	43	32	12	10	19
	9.6 %	8.7 %	6.5 %	2.4 %	2.0 %	3.9 %
女性	85	65	35	12	9	36
	13.0 %	9.9 %	5.4 %	1.8 %	1.4 %	5.5 %
東部	27	18	18	4	3	14
	13.8 %	9.2 %	9.2 %	2.0 %	1.5 %	7.1 %
西部	45	32	16	8	4	17
	11.6 %	8.3 %	4.1 %	2.1 %	1.0 %	4.4 %
南部	43	39	25	9	8	15
	11.7 %	10.7 %	6.8 %	2.5 %	2.2 %	4.1 %
北部	16	18	8	3	4	8
	8.3 %	9.3 %	4.1 %	1.6 %	2.1 %	4.1 %
10歳代 20歳代	15	6	11	1	2	1
	15.8 %	6.3 %	11.6 %	1.1 %	2.1 %	1.1 %
30歳代	19	11	13	1	1	4
	13.2 %	7.6 %	9.0 %	0.7 %	0.7 %	2.8 %
40歳代	22	10	9	5	2	1
	16.7 %	7.6 %	6.8 %	3.8 %	1.5 %	0.8 %
50歳代	24	25	15	2	4	8
	10.6 %	11.1 %	6.6 %	0.9 %	1.8 %	3.5 %
60歳代	33	31	14	6	4	9
	11.7 %	11.0 %	5.0 %	2.1 %	1.4 %	3.2 %
70歳代 以上	19	25	5	9	6	32
	7.1 %	9.4 %	1.9 %	3.4 %	2.2 %	12.0 %

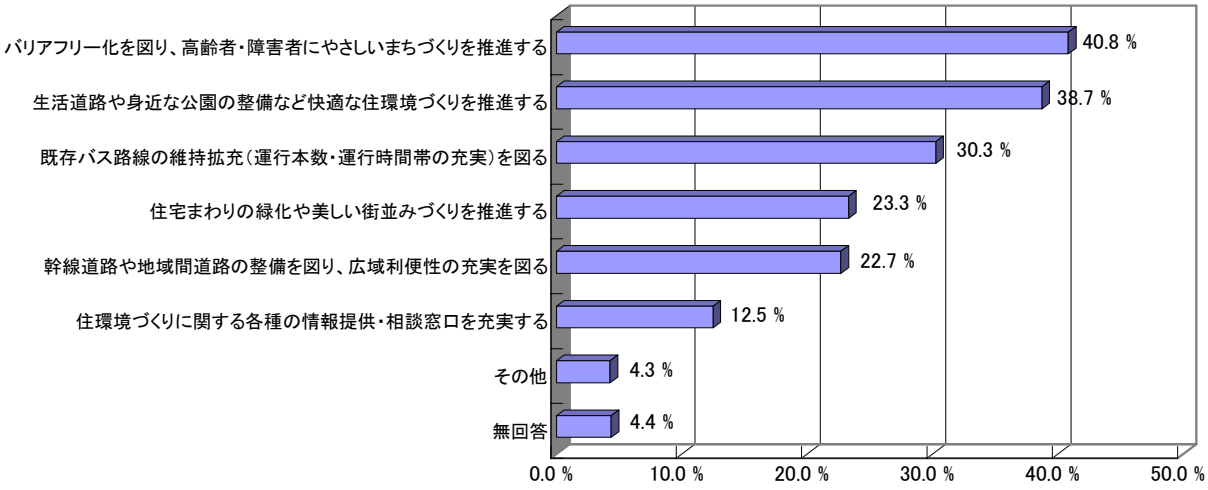
※複数回答

（５）快適な住環境を形成するための施策について

快適な住環境の形成については、「施設や歩道のバリアフリー化を図り、高齢者・障害者にやさしいまちづくりを推進する（40.8%）」が最も重視されており、次いで「生活道路や身近な公園の整備など快適な住環境づくりを推進する（38.7%）」となっています。

年齢別にみると、30 歳代以下では、「住宅まわりの緑化や美しい街並みづくりを推進する」の回答も多く、60 歳代以上では、「既存バス路線の維持拡充（運行本数・運行時間帯の充実）を図る」の回答も多くなっています。

①全体



合計	施設や歩道のバリアフリー化を図り、高齢者・障害者にやさしいまちづくりを推進する	生活道路や身近な公園の整備など快適な住環境づくりを推進する	既存バス路線の維持拡充（運行本数・運行時間帯の充実）を図る	住宅まわりの緑化や美しい街並みづくりを推進する
1,146	468	444	347	267
100.0 %	40.8 %	38.7 %	30.3 %	23.3 %

	幹線道路や地域間道路の整備を図り、広域利便性の充実を図る	住環境づくりに関する各種の情報提供・相談窓口を充実する	その他	無回答
	260	143	49	50
	22.7 %	12.5 %	4.3 %	4.4 %

※複数回答

②属性別

	合計	施設や歩道のバリアフリー化を図り、高齢者・障害者にやさしいまちづくりを推進する	生活道路や身近な公園の整備など快適な住環境づくりを推進する	既存バス路線の維持拡充（運行本数・運行時間帯の充実）を図る	住宅まわりの緑化や美しい街並みづくりを推進する
男性	492	183	194	142	125
	100.0 %	37.2 %	39.4 %	28.9 %	25.4 %
女性	654	285	250	205	142
	100.0 %	43.6 %	38.2 %	31.3 %	21.7 %
東部	196	68	74	61	38
	100.0 %	34.7 %	37.8 %	31.1 %	19.4 %
西部	387	175	163	97	108
	100.0 %	45.2 %	42.1 %	25.1 %	27.9 %
南部	366	137	144	127	80
	100.0 %	37.4 %	39.3 %	34.7 %	21.9 %
北部	193	86	63	62	40
	100.0 %	44.6 %	32.6 %	32.1 %	20.7 %
10歳代 20歳代	95	37	40	20	35
	100.0 %	38.9 %	42.1 %	21.1 %	36.8 %
30歳代	144	62	73	19	45
	100.0 %	43.1 %	50.7 %	13.2 %	31.3 %
40歳代	132	58	56	35	28
	100.0 %	43.9 %	42.4 %	26.5 %	21.2 %
50歳代	226	88	90	63	55
	100.0 %	38.9 %	39.8 %	27.9 %	24.3 %
60歳代	282	105	105	104	53
	100.0 %	37.2 %	37.2 %	36.9 %	18.8 %
70歳代 以上	267	118	80	106	51
	100.0 %	44.2 %	30.0 %	39.7 %	19.1 %

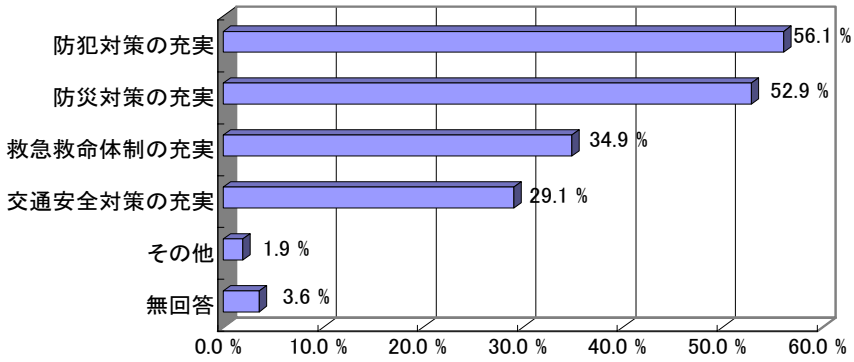
	幹線道路や地域間道路の整備を図り、広域利便性の充実を図る	住環境づくりに関する各種の情報提供・相談窓口を充実する	その他	無回答
男性	140	63	26	15
	28.5 %	12.8 %	5.3 %	3.0 %
女性	120	80	23	35
	18.3 %	12.2 %	3.5 %	5.4 %
東部	52	31	5	12
	26.5 %	15.8 %	2.6 %	6.1 %
西部	81	48	16	13
	20.9 %	12.4 %	4.1 %	3.4 %
南部	84	44	17	15
	23.0 %	12.0 %	4.6 %	4.1 %
北部	43	20	10	9
	22.3 %	10.4 %	5.2 %	4.7 %
10歳代 20歳代	19	19	4	1
	20.0 %	20.0 %	4.2 %	1.1 %
30歳代	32	12	7	3
	22.2 %	8.3 %	4.9 %	2.1 %
40歳代	42	18	3	2
	31.8 %	13.6 %	2.3 %	1.5 %
50歳代	48	33	10	12
	21.2 %	14.6 %	4.4 %	5.3 %
60歳代	62	38	18	11
	22.0 %	13.5 %	6.4 %	3.9 %
70歳代 以上	57	23	7	21
	21.3 %	8.6 %	2.6 %	7.9 %

※複数回答

（6）安心・安全のまちづくりについて

安心・安全のまちづくりでは、「防犯対策の充実（56.1%）」「防災対策の充実（52.9%）」が重視されていますが、「救急救命体制の充実」「交通安全体制の充実」についても、約 30%以上の方が重要と回答し、安心・安全への意識の高さがうかがえます。

①全体



合計	防犯対策の充実	防災対策の充実	救急救命体制の充実	交通安全対策の充実	その他	無回答
1,146	643	606	400	333	22	41
100.0 %	56.1 %	52.9 %	34.9 %	29.1 %	1.9 %	3.6 %

※複数回答

②属性別

	合計	防犯対策の充実	防災対策の充実	救急救命体制の充実	交通安全対策の充実	その他	無回答
男性	492	283	259	170	145	13	17
	100.0 %	57.5 %	52.6 %	34.6 %	29.5 %	2.6 %	3.5 %
女性	654	360	347	230	188	9	24
	100.0 %	55.0 %	53.1 %	35.2 %	28.7 %	1.4 %	3.7 %
東部	196	98	98	76	65	2	11
	100.0 %	50.0 %	50.0 %	38.8 %	33.2 %	1.0 %	5.6 %
西部	387	234	199	139	114	7	7
	100.0 %	60.5 %	51.4 %	35.9 %	29.5 %	1.8 %	1.8 %
南部	366	210	199	123	100	11	10
	100.0 %	57.4 %	54.4 %	33.6 %	27.3 %	3.0 %	2.7 %
北部	193	99	110	61	53	2	12
	100.0 %	51.3 %	57.0 %	31.6 %	27.5 %	1.0 %	6.2 %
10歳代 20歳代	95	59	52	29	25	1	0
	100.0 %	62.1 %	54.7 %	30.5 %	26.3 %	1.1 %	0.0 %
30歳代	144	86	71	42	48	0	3
	100.0 %	59.7 %	49.3 %	29.2 %	33.3 %	0.0 %	2.1 %
40歳代	132	76	55	46	44	8	2
	100.0 %	57.6 %	41.7 %	34.8 %	33.3 %	6.1 %	1.5 %
50歳代	226	127	129	78	60	5	6
	100.0 %	56.2 %	57.1 %	34.5 %	26.5 %	2.2 %	2.7 %
60歳代	282	162	148	106	81	5	9
	100.0 %	57.4 %	52.5 %	37.6 %	28.7 %	1.8 %	3.2 %
70歳代 以上	267	133	151	99	75	3	21
	100.0 %	49.8 %	56.6 %	37.1 %	28.1 %	1.1 %	7.9 %

※複数回答

Ⅱ．市民アンケートの結果

（ⅱ）市民アンケート②（市政の評価や今後の居住意向の把握など）

１．回答者の属性

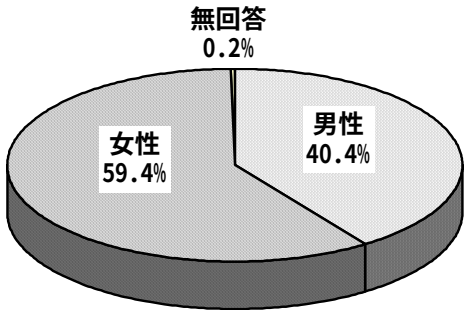
男性が 40.4%、女性が 59.4%の回答となっており、実人口比とほぼ同じ割合になっています。

年齢については、高齢者の回答が多く、60 歳代以上の回答が全体の 48%を占めています。

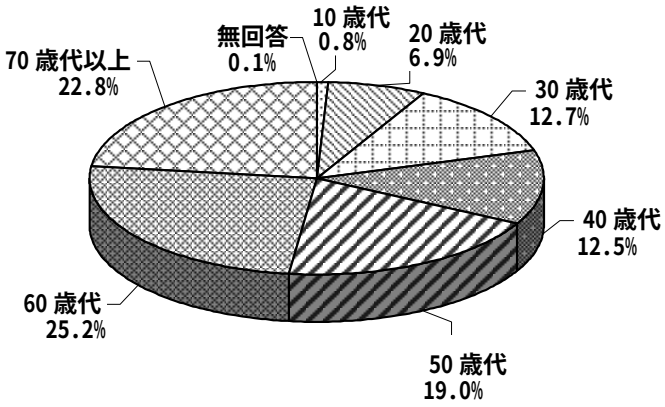
居住年数としては、20 年以上が 77.9%と最も多くなっています。

2 人世帯の回答が、39.3%と最も多くなっています。

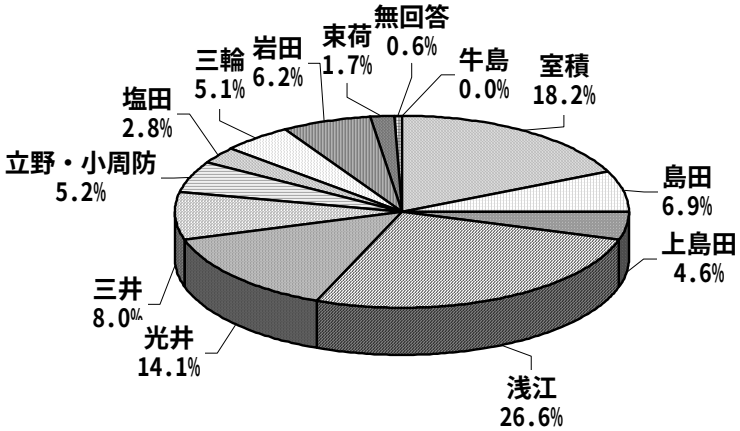
①回答者の性別



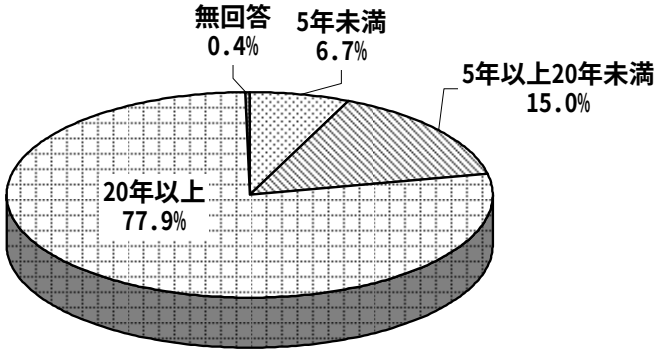
②回答者の年齢



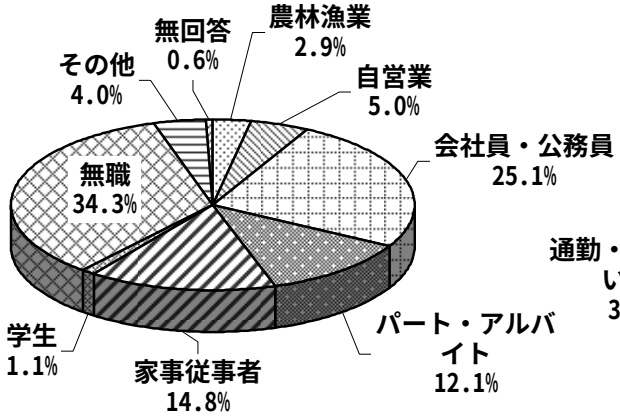
③回答者の居住地区



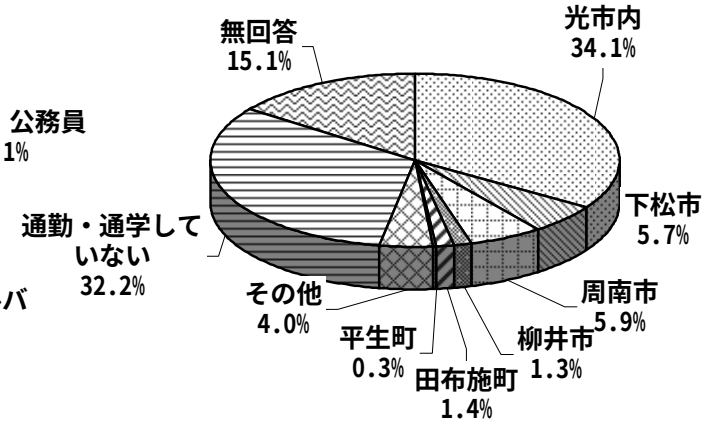
④居住年数



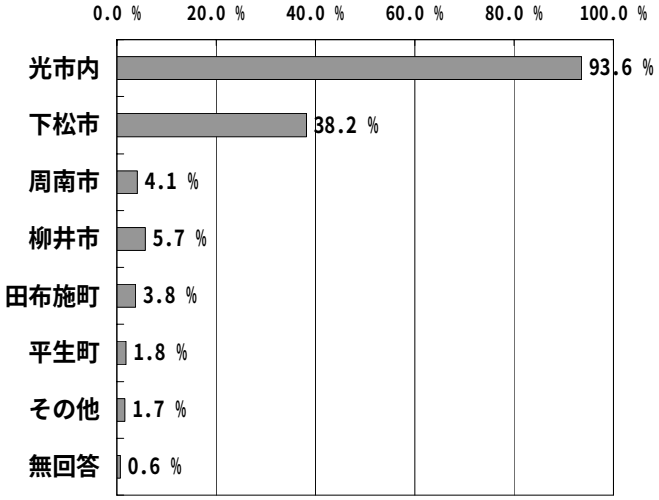
⑤職業



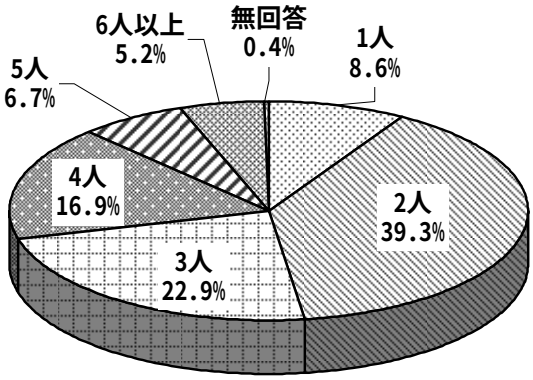
⑥通勤・通学先



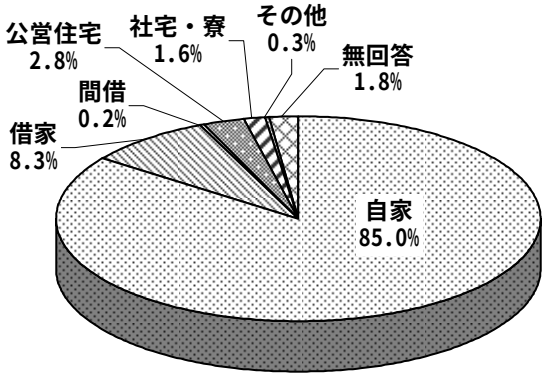
⑦日常的な買物先



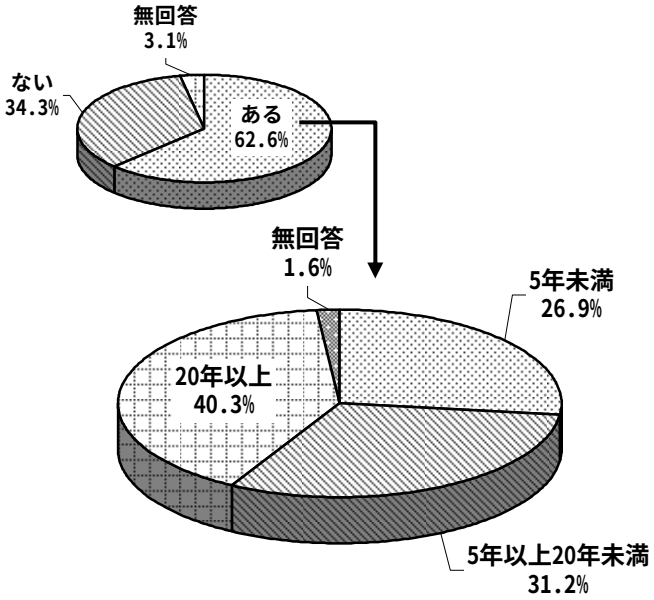
⑧世帯人数



⑨住居の種類



⑩市外で暮らした経験



２．市政に対する評価と今後への期待

（１） 市政に対する満足度・重要度の分析について

【満足度の状況】

満足度に関しては、「幹線道路の整備（54.0%）」、「ごみの収集・処理対策の充実（52.2%）」、「上下水道の整備（47.5%）」、「基本健康診査の実施など健康づくりの推進（42.9%）」で満足度が高い状況となっています。

逆に、「歩道の拡幅・段差の解消（35.1%）」、「バス交通網の整備（35.1%）」、「企業誘致、雇用の確保（32.8%）」で不満が多くなっています。

また、「地域の生活道路の維持・改修」や「都市公園の整備」などにおいては、満足と不満の割合が拮抗している状況となっています。

【重要度の状況】

重要度に関しては、「地域医療対策の充実（62.5%）」、「地震・台風などの災害対策の充実（60.7%）」、「企業誘致・雇用の確保（60.6%）」などとなっており、全体的に環境や福祉・医療、安全・安心に関わる分野のほか、「上下水道の整備」についても重要度が高くなっています。

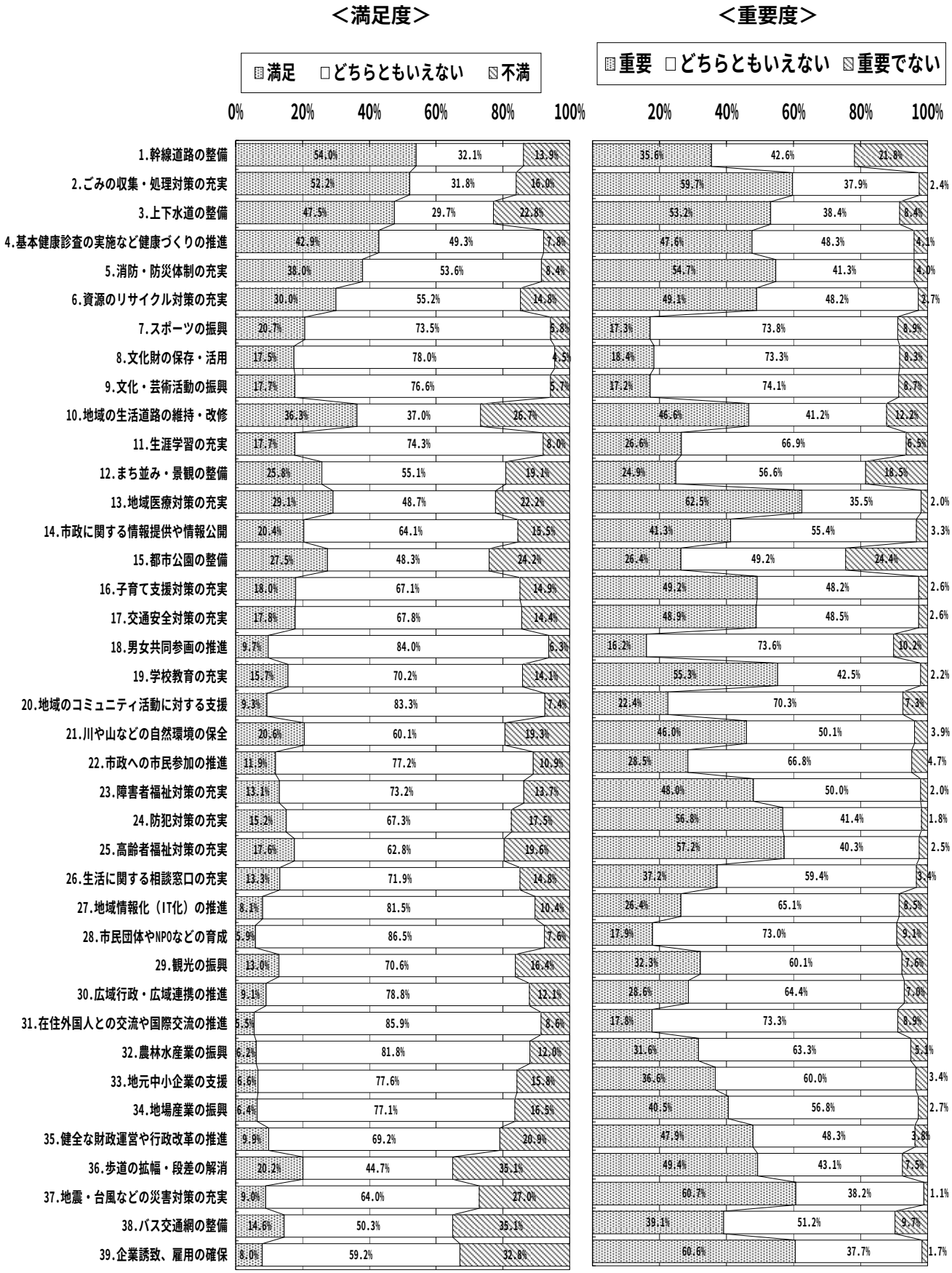
逆に、「都市公園の整備（24.4%）」や「幹線道路の整備（21.8%）」などで重要でないと回答した方の割合が多くなっています。

また、「都市公園の整備」については、「重要である」と「重要でない」の回答の割合が拮抗している状況となっています。

【関心度の状況】

「市民団体やＮＰＯなどの育成」、「在住外国人との交流や国際交流の推進」、「男女共同参画の推進」、「地域のコミュニティ活動に対する支援」、「文化財の保存・活用」、「文化・芸術活動の振興」、「スポーツの振興」については、満足度、重要度とも「どちらともいえない」という回答が全体の 70%以上を占めています。こうした結果は、これらの施策に対する関心が低いことも影響しているものと考えられます。

①全体



※「分からない」と「無回答」を除いてグラフを作成している

②属性別

＜分析の考え方＞

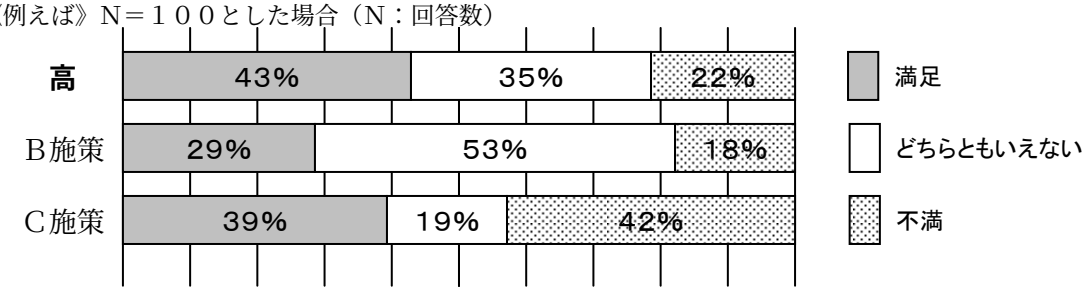
満足度と重要度の分析を行うために、加重平均値による分析を行います。

加重平均値とは「満足」、「不満」、「重要」、「重要でない」を比較し易くするために、指数化するもので、以下のように算出します。

選択肢	満足	どちらともいえない	不満	重要	どちらともいえない	重要でない
点数	＋1	0	－1	＋1	0	－1
回答数	A	B	C	A	B	C

加重平均値＝((A×1)＋(B×0)＋(C×－1))/「わからない」と「無回答」を除いた回答数

《例えば》N＝１００とした場合（N：回答数）



・A施策の加重平均値

（(43×１点）＋（35×０点）＋（22×－１点））÷（43＋35＋22）
＝（43－22）÷100　＝　0.21

・B施策の加重平均値

（(29×１点）＋（53×０点）＋（18×－１点））÷（29＋53＋18）
＝（29－18）÷100　＝　0.11

・C施策の加重平均値

（(39×１点）＋（19×０点）＋（42×－１点））÷（39＋19＋42）
＝（39－42）÷100　＝　－0.03

○　結果

A施策の満足指数は 0.21、B施策の満足指数は 0.11、C施策の満足指数は-0.03 となり、数値の大きいほうが満足している事とになります。

つまり、B施策の方が満足している方が 29%とC施策より少なかったものの、C施策のほうが不満と回答した人の数が多い（B施策に対する不満が少ない）ことから、満足の度合いとしては、C施策より、B施策のほうが満足の度合いが高いと言えます。

重要度も同様です。

②属性別

＜満足度が高いもの＞

属性ごとの満足度の加重平均値が上位のもの（高い順）は次のとおりです。

各項目のかっこ書きの数値が加重平均値を表しています。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1.幹線道路の整備(0.40)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.36)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.35)	5.消防・防災体制の充実(0.30)	3.上下水道の整備(0.25)
男性	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.35)	1.幹線道路の整備(0.35)	5.消防・防災体制の充実(0.30)	3.上下水道の整備(0.29)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.27)
女性	1.幹線道路の整備(0.43)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.41)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.37)	5.消防・防災体制の充実(0.29)	3.上下水道の整備(0.22)
東部	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.46)	1.幹線道路の整備(0.26)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.20)	13.地域医療対策の充実(0.18)	6.資源のリサイクル対策の充実(0.17)
西部	3.上下水道の整備(0.53)	1.幹線道路の整備(0.41)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.35)	5.消防・防災体制の充実(0.35)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.34)
南部	1.幹線道路の整備(0.53)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.40)	5.消防・防災体制の充実(0.39)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.30)	10.地域の生活道路の維持・改修(0.22)
北部	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.43)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.39)	1.幹線道路の整備(0.27)	5.消防・防災体制の充実(0.21)	8.文化財の保存・活用(0.15)
10歳代 20歳代	3.上下水道の整備(0.35)	1.幹線道路の整備(0.31)	5.消防・防災体制の充実(0.22)	10.地域の生活道路の維持・改修(0.19)	8.文化財の保存・活用(0.13)
30歳代	1.幹線道路の整備(0.45)	5.消防・防災体制の充実(0.35)	3.上下水道の整備(0.32)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.23)	10.地域の生活道路の維持・改修(0.21)
40歳代	1.幹線道路の整備(0.42)	5.消防・防災体制の充実(0.23)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.21)	3.上下水道の整備(0.20)	10.地域の生活道路の維持・改修(0.17)
50歳代	1.幹線道路の整備(0.36)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.30)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.28)	5.消防・防災体制の充実(0.24)	3.上下水道の整備(0.17)
60歳代	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.56)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.41)	1.幹線道路の整備(0.39)	5.消防・防災体制の充実(0.26)	3.上下水道の整備(0.23)
70歳代 以上	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.61)	4.基本健康診査の実施など健康づくりの推進(0.58)	1.幹線道路の整備(0.45)	5.消防・防災体制の充実(0.42)	6.資源のリサイクル対策の充実(0.30)

＜満足度が低いもの＞

属性ごとの満足度の加重平均値が下位のもの（低い順）は次のとおりです。

各項目のかっこ書きの数値が加重平均値を表しています。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	39.企業誘致、雇用の確保(-0.25)	38.バス交通網の整備(-0.20)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.18)	36.歩道の拡幅・段差の解消(-0.15)	35.健全な財政運営や行政改革の推進(-0.11)
男性	39.企業誘致、雇用の確保(-0.27)	35.健全な財政運営や行政改革の推進(-0.17)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.15)	38.バス交通網の整備(-0.14)	34.地場産業の振興(-0.14)
女性	38.バス交通網の整備(-0.25)	39.企業誘致、雇用の確保(-0.23)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.20)	36.歩道の拡幅・段差の解消(-0.17)	33.地元中小企業の支援(-0.08)
東部	38.バス交通網の整備(-0.30)	36.歩道の拡幅・段差の解消(-0.29)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.18)	39.企業誘致、雇用の確保(-0.18)	10.地域の生活道路の維持・改修(-0.14)
西部	39.企業誘致、雇用の確保(-0.29)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.12)	35.健全な財政運営や行政改革の推進(-0.10)	34.地場産業の振興(-0.09)	33.地元中小企業の支援(-0.08)
南部	38.バス交通網の整備(-0.25)	39.企業誘致、雇用の確保(-0.25)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.22)	35.健全な財政運営や行政改革の推進(-0.16)	34.地場産業の振興(-0.13)
北部	38.バス交通網の整備(-0.38)	36.歩道の拡幅・段差の解消(-0.32)	39.企業誘致、雇用の確保(-0.22)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.22)	35.健全な財政運営や行政改革の推進(-0.09)
10歳代 20歳代	38.バス交通網の整備(-0.29)	39.企業誘致、雇用の確保(-0.28)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.28)	36.歩道の拡幅・段差の解消(-0.22)	15.都市公園の整備(-0.18)
30歳代	15.都市公園の整備(-0.26)	39.企業誘致、雇用の確保(-0.22)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.16)	38.バス交通網の整備(-0.13)	19.学校教育の充実(-0.08)
40歳代	39.企業誘致、雇用の確保(-0.32)	38.バス交通網の整備(-0.30)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.20)	35.健全な財政運営や行政改革の推進(-0.19)	36.歩道の拡幅・段差の解消(-0.18)
50歳代	39.企業誘致、雇用の確保(-0.32)	38.バス交通網の整備(-0.23)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.22)	36.歩道の拡幅・段差の解消(-0.19)	35.健全な財政運営や行政改革の推進(-0.18)
60歳代	39.企業誘致、雇用の確保(-0.26)	38.バス交通網の整備(-0.18)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.18)	36.歩道の拡幅・段差の解消(-0.16)	35.健全な財政運営や行政改革の推進(-0.14)
70歳代 以上	38.バス交通網の整備(-0.17)	36.歩道の拡幅・段差の解消(-0.12)	39.企業誘致、雇用の確保(-0.11)	37.地震・台風などの災害対策の充実(-0.10)	34.地場産業の振興(-0.09)

＜重要度が高いもの＞

属性ごとの重要度が上位のもの（高い順）は次のとおりです。

各項目のかっこ書きの数値が加重平均値を表しています。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	13.地域医療対策の充実(0.57)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.55)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.54)	25.高齢者福祉対策の充実(0.49)	39.企業誘致、雇用の確保(0.49)
男性	13.地域医療対策の充実(0.58)	39.企業誘致、雇用の確保(0.56)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.56)	24.防犯対策の充実(0.55)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.55)
女性	13.地域医療対策の充実(0.56)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.54)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.53)	25.高齢者福祉対策の充実(0.50)	24.防犯対策の充実(0.45)
東部	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.55)	13.地域医療対策の充実(0.54)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.54)	36.歩道の拡幅・段差の解消(0.53)	25.高齢者福祉対策の充実(0.48)
西部	13.地域医療対策の充実(0.61)	24.防犯対策の充実(0.56)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.56)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.53)	39.企業誘致、雇用の確保(0.52)
南部	13.地域医療対策の充実(0.59)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.58)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.55)	25.高齢者福祉対策の充実(0.51)	39.企業誘致、雇用の確保(0.50)
北部	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.50)	39.企業誘致、雇用の確保(0.50)	13.地域医療対策の充実(0.49)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.49)	25.高齢者福祉対策の充実(0.49)
10歳代 20歳代	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.58)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.52)	13.地域医療対策の充実(0.46)	16.子育て支援対策の充実(0.46)	39.企業誘致、雇用の確保(0.45)
30歳代	13.地域医療対策の充実(0.61)	16.子育て支援対策の充実(0.56)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.54)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.53)	24.防犯対策の充実(0.52)
40歳代	13.地域医療対策の充実(0.57)	19.学校教育の充実(0.52)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.48)	39.企業誘致、雇用の確保(0.44)	25.高齢者福祉対策の充実(0.44)
50歳代	13.地域医療対策の充実(0.57)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.55)	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.50)	3.上下水道の整備(0.49)	39.企業誘致、雇用の確保(0.48)
60歳代	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.57)	39.企業誘致、雇用の確保(0.55)	13.地域医療対策の充実(0.53)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.52)	24.防犯対策の充実(0.50)
70歳代 以上	2.ごみの収集・処理対策の充実(0.57)	39.企業誘致、雇用の確保(0.55)	13.地域医療対策の充実(0.53)	37.地震・台風などの災害対策の充実(0.52)	24.防犯対策の充実(0.50)

＜重要度が低いもの＞

属性ごとの重要度が下位のもの（低い順）は次のとおりです。

各項目のかっこ書きの数値が加重平均値を表しています。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	15.都市公園の整備(0.02)	18.男女共同参画の推進(0.05)	12.まち並み・景観の整備(0.06)	28.市民団体や NPO などの育成(0.06)	31.在住外国人との交流や国際交流の推進(0.07)
男性	15.都市公園の整備(0.03)	18.男女共同参画の推進(0.06)	12.まち並み・景観の整備(0.07)	28.市民団体や NPO などの育成(0.08)	8.文化財の保存・活用(0.08)
女性	15.都市公園の整備(0.01)	18.男女共同参画の推進(0.03)	7.スポーツの振興(0.05)	12.まち並み・景観の整備(0.05)	31.在住外国人との交流や国際交流の推進(0.05)
東部	15.都市公園の整備(-0.06)	28.市民団体や NPO などの育成(0.06)	18.男女共同参画の推進(0.07)	9.文化・芸術活動の振興(0.08)	7.スポーツの振興(0.08)
西部	18.男女共同参画の推進(0.03)	31.在住外国人との交流や国際交流の推進(0.05)	8.文化財の保存・活用(0.07)	20.地域のコミュニティ活動に対する支援(0.08)	28.市民団体や NPO などの育成(0.08)
南部	15.都市公園の整備(0.00)	12.まち並み・景観の整備(0.03)	18.男女共同参画の推進(0.04)	7.スポーツの振興(0.07)	9.文化・芸術活動の振興(0.07)
北部	15.都市公園の整備(0.01)	28.市民団体や NPO などの育成(0.01)	12.まち並み・景観の整備(0.02)	9.文化・芸術活動の振興(0.02)	8.文化財の保存・活用(0.03)
10歳代 20歳代	8.文化財の保存・活用(-0.01)	1.幹線道路の整備(0.05)	7.スポーツの振興(0.05)	20.地域のコミュニティ活動に対する支援(0.06)	18.男女共同参画の推進(0.08)
30歳代	1.幹線道路の整備(-0.04)	28.市民団体や NPO などの育成(0.0)	18.男女共同参画の推進(0.02)	20.地域のコミュニティ活動に対する支援(0.04)	8.文化財の保存・活用(0.06)
40歳代	18.男女共同参画の推進(-0.07)	15.都市公園の整備(-0.03)	12.まち並み・景観の整備(-0.02)	9.文化・芸術活動の振興(-0.02)	28.市民団体や NPO などの育成(-0.02)
50歳代	15.都市公園の整備(-0.06)	18.男女共同参画の推進(0.0)	7.スポーツの振興(0.01)	8.文化財の保存・活用(0.04)	9.文化・芸術活動の振興(0.04)
60歳代	15.都市公園の整備(-0.05)	12.まち並み・景観の整備(0.0)	31.在住外国人との交流や国際交流の推進(0.04)	7.スポーツの振興(0.06)	8.文化財の保存・活用(0.08)
70歳代 以上	15.都市公園の整備(-0.01)	18.男女共同参画の推進(0.09)	28.市民団体や NPO などの育成(0.10)	31.在住外国人との交流や国際交流の推進(0.10)	12.まち並み・景観の整備(0.11)

③満足度と重要度の相関図による分析

＜分析の方法＞

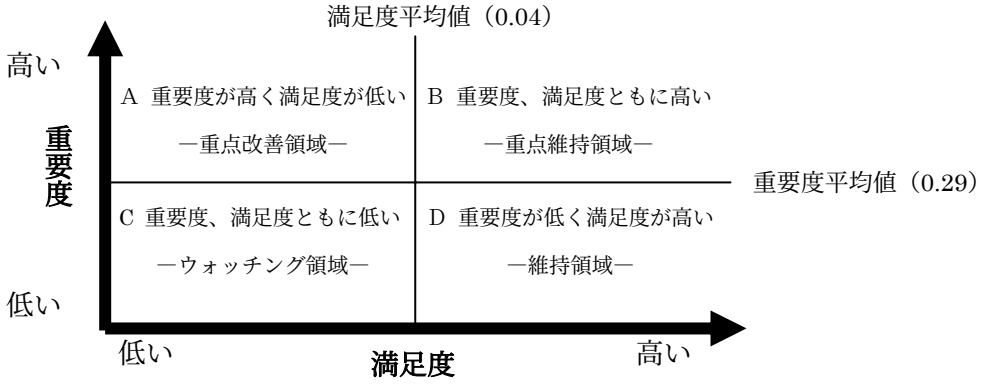
指数化した満足度と重要度の加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、39 の施策についてグラフ化したものが次ページの相関図です。

重要度と満足度ごとの平均値（満足度 0.04、重要度 0.29）を基準にして、A から D の４つの性格を持つ領域に整理区分し、満足度と重要度の相関関係を表しています。

（相関図の見方）

図の上側であれば重要度が高く、右側であれば満足度が高いことを示しています。

逆に、下側であれば重要度が低く、左側であれば満足度が低いことを示しています。



A　重要度が高く満足度が低い〔重点改善領域〕

重要性の認識は高いものの十分な満足が得られておらず、施策の重点的な改善も含めた満足度を高めるための取り組みが必要な領域です。

B　重要度、満足度ともに高い〔重点維持領域〕

重要性の認識が高く満足が得られており、現在の水準が低下しないように維持していくことが必要な領域です。

C　重要度、満足度ともに低い〔ウォッチング領域〕

あまり重視されておらず、施策の目的や重要性を認知してもらう取り組みとともに、推移を注視しながら現状維持か、あるいは、あり方を含めて見直すべき領域です。

D　重要度が低く満足度が高い〔維持領域〕

重要性の認識は低いものの満足が得られており、現状どおりの取り組みを進めるとともに、内容に応じては見直しが必要な領域です。

この調査は、「顧客満足度調査」の視点を行政施策の実施に取り入れようとするものです。

各種施策に対する市民の満足度や重要度を把握することにより、満足度が低い要因を分析し、市民の満足度を向上させるような施策を展開することを目的としています。

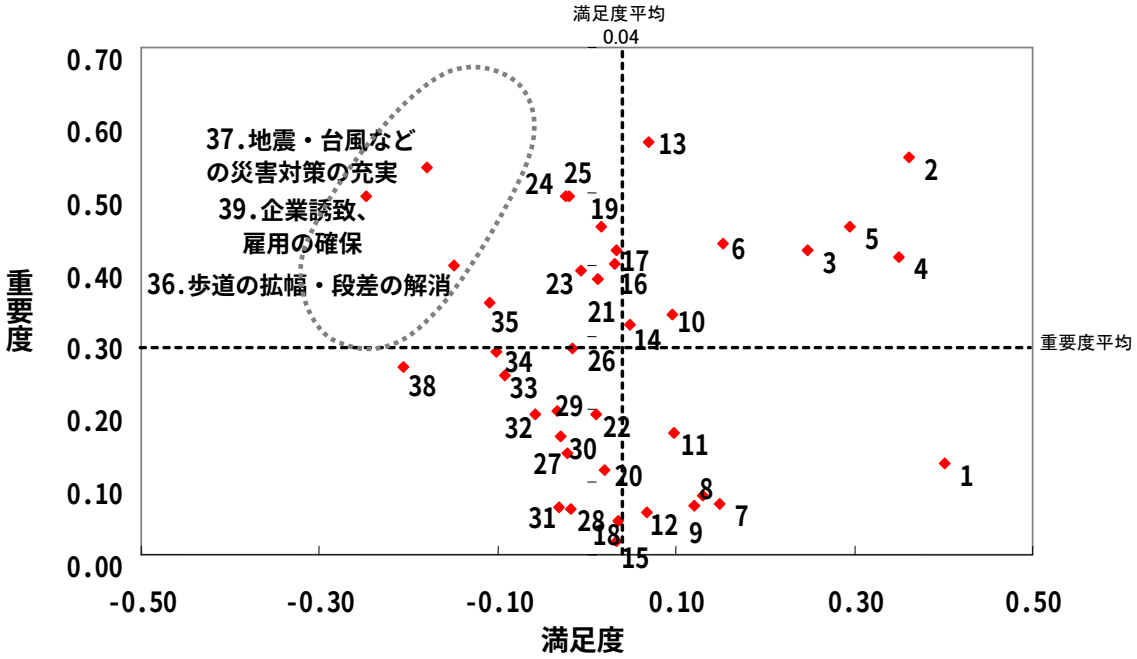
また、極めて厳しい財政状況の中で、市民要望を的確に把握しながら、効果的な行財政運営を進めていくため、相関図の傾向に着目しながら、施策の選択と集中による市政運営の参考とします。

なお、今回の調査は、施策を相対的に分類することにより、客観的な立場からの分析を容易にしようとするもので、施策の順位付けを行おうとするものではありません。

また、市民ニーズが低いとされた分野にも、法律に基づいて実施する施策や、将来を見据えて実行すべき施策、地域特有の課題や社会的弱者への対応、事業の緊急性等により行政サービスが必要不可欠とされる施策があります。こうした施策については、十分な市民理解を得ながら、行政の責任として施策の着実な展開を進める必要があります。

＜満足度と重要度の相関図＞

【全体】



1．幹線道路の整備（国道･県道など）
2．ごみの収集・処理対策の充実
3．上下水道の整備
4．基本健康診査の実施など健康づくりの推進
5．消防・防災体制の充実
6．資源のリサイクル対策の充実
7．スポーツの振興
8．文化財の保存・活用
9．文化・芸術活動の振興
10．地域の生活道路の維持・補修
11．生涯学習の充実
12．まち並み・景観の整備
13．地域医療対策の充実
14．市政に関する情報提供や情報公開
15．都市公園の整備
16．子育て支援対策の充実
17．交通安全対策の充実
18．男女共同参画の推進
19．学校教育の充実
20．地域のコミュニティ活動に対する支援
21．川や山などの自然環境の保全
22．市政への市民参加の推進
23．障害者福祉対策の充実
24．防犯対策の充実
25．高齢者福祉対策の充実
26．生活に関する相談窓口の充実
27．地域情報化（ＩＴ化）の推進
28．市民団体やＮＰＯなどの育成
29．観光の振興
30．広域行政・広域連携の推進
31．在住外国人との交流や国際交流の推進
32．農林水産業の振興
33．地元中小企業の支援
34．地場産業の振興
35．健全な財政運営や行政改革の推進
36．歩道の拡幅・段差の解消
37．地震・台風などの災害対策の充実
38．バス交通網の整備
39．企業誘致、雇用の確保

＜全般的な傾向＞

A　重要度が高く満足度が低い〔重点改善領域〕

「地震・台風などの災害対策の充実」「企業誘致、雇用の確保」「歩道の拡幅・段差の解消」が該当し、重点的に改善することが必要な分野と捉えることができます。

B　重要度、満足度ともに高い〔重点維持領域〕

「ごみの収集・処理対策の充実」「上下水道の整備」「基本健康診査の実施」「消防・防災体制の充実」などが該当します。現在の水準が低下しないよう、重点的に維持していくことが必要な分野と捉えることができます。

C　重要度、満足度ともに低い〔ウォッチング領域〕

満足度、重要度のいずれもが低い施策については、該当するものはないという結果になっています。

D　重要度が低く満足度が高い〔維持領域〕

「幹線道路の整備」が該当します。現状どおりの取組みを進めていくことが必要ですが、今後の動向によっては見直しも含め、検討が必要であると捉えることができます。

※**1.**重要度や満足度が平均値に近い施策については、回答の誤差を考慮した分析が必要であり、各領域に単純に分類することは難しいと考えられます。

※2.相関図の「７．スポーツの振興」「８．文化財の保存・活用」「９．文化・芸術活動の振興」「12．まち並み・景観の整備」「15．都市公園の整備」「18．男女共同参画の推進」「28．市民団体やＮＰＯなどの育成」「31．在住外国人との交流や国際交流の推進の施策」などは、重要度が非常に低い回答となっており、こうした施策については、行政として、目的や必要性を市民に認知してもらう取組みも必要なものと考えられます。

＜ニーズ度の分析＞

重要度が高く、満足度が低い項目については、市民からの取組みニーズが高いと考えられます。そこで、

ニーズ度＝重要度－満足度

とすると、上位 10 位までは次のようになります。

順位	項　　目	**ニーズ度**	重要度	満足度
1	39.企業誘致、雇用の確保	**0.74**	0.49	－0.25
2	37.地震・台風などの災害対策の充実	**0.72**	0.54	－0.18
3	36.歩道の拡幅・段差の解消	**0.55**	0.40	－0.15
4	24.防犯対策の充実	**0.51**	0.49	－0.02
5	25.高齢者福祉対策の充実	**0.51**	0.49	－0.02
6	13.地域医療対策の充実	**0.50**	0.57	0.07
7	38.バス交通網の整備	**0.47**	0.26	－0.21
8	35 健全な財政運営や行政改革の推進	**0.46**	0.35	－0.11
9	19.学校教育の充実	**0.44**	0.45	0.01
10	23.障害者福祉対策の充実	**0.40**	0.39	－0.01

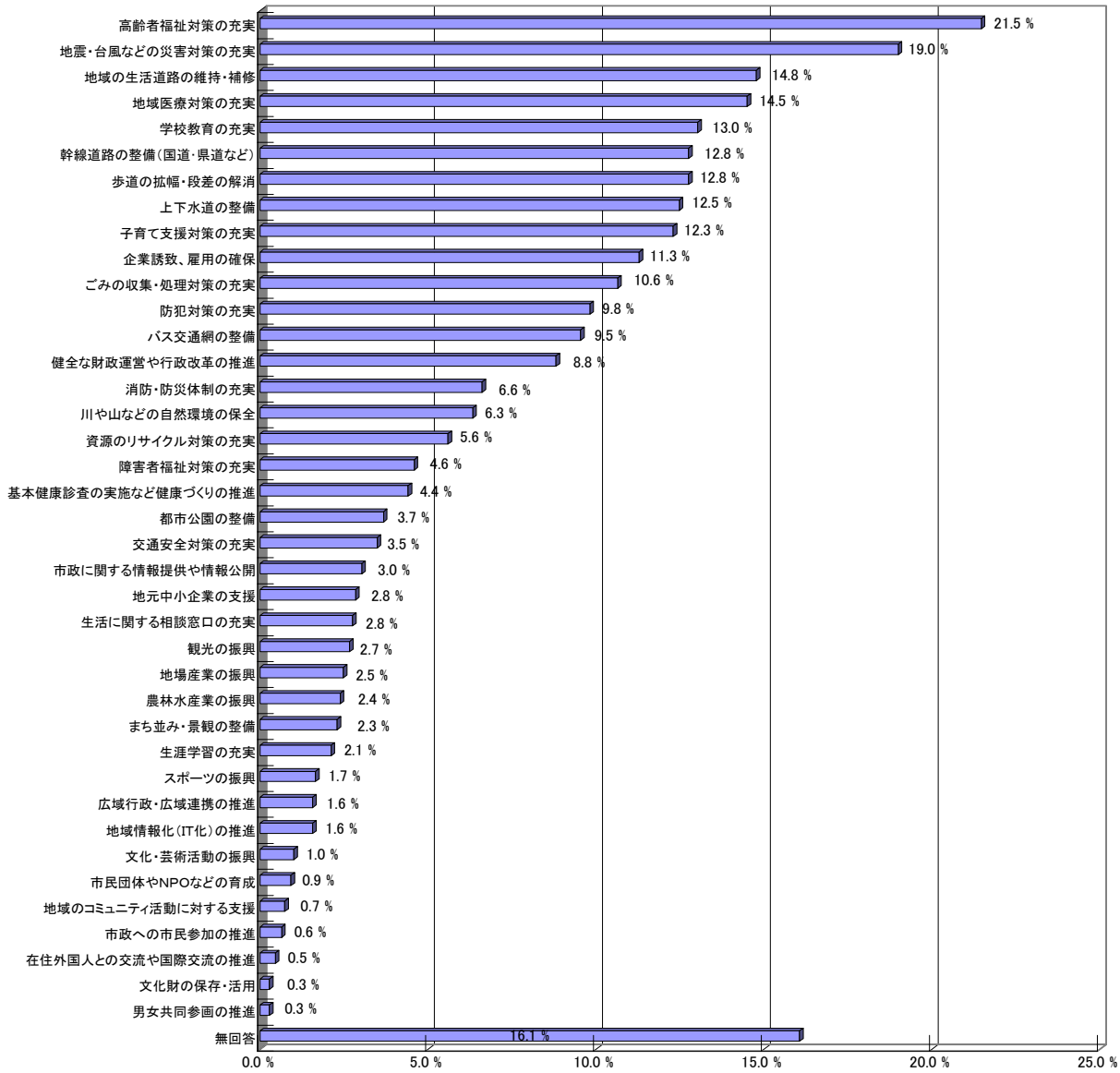
（3）特に優先すべき（重要度や必要性が高い）分野

優先すべき分野として、「高齢者福祉対策の充実（21.5%）」が最も多く、次いで「地震や台風などの災害対策の充実（19.0%）」となっています。

北部地域では、「地域の生活道路の維持・補修（24.7%）」が重要視されています。

30 歳代以下では、「子育て支援対策の充実」、40 歳代では「学校教育の充実」が多く、子どものための施策が重要視されています。

①全体



※複数回答

②属性別

	1位	2位	3位	
男性	高齢者福祉対策の充実	地震・台風などの災害対策の充実	地域の生活道路の維持・補修	
	20.2 %	18.4 %	16.4 %	
女性	高齢者福祉対策の充実	地震・台風などの災害対策の充実	地域医療対策の充実	歩道の拡幅・段差の解消
	22.4 %	19.5 %	14.5 %	14.5 %
東部	高齢者福祉対策の充実	地震・台風などの災害対策の充実	歩道の拡幅・段差の解消	
	24.3 %	21.4 %	18.5 %	
西部	高齢者福祉対策の充実	地域医療対策の充実	地震・台風などの災害対策の充実	
	22.2 %	17.0 %	16.7 %	
南部	地震・台風などの災害対策の充実	高齢者福祉対策の充実	上下水道の整備	
	19.3 %	19.0 %	17.6 %	
北部	地域の生活道路の維持・補修	高齢者福祉対策の充実	地震・台風などの災害対策の充実	
	24.7 %	22.7 %	20.6 %	
10歳代 20歳代	子育て支援対策の充実	地震・台風などの災害対策の充実	幹線道路の整備（国道･県道など）	ごみの収集・処理対策の充実
	23.8 %	22.6 %	16.7 %	16.7 %
30歳代	子育て支援対策の充実	地震・台風などの災害対策の充実	学校教育の充実	
	31.2 %	22.5 %	22.5 %	
40歳代	学校教育の充実	地域医療対策の充実	地震・台風などの災害対策の充実	
	27.2 %	19.1 %	18.4 %	
50歳代	高齢者福祉対策の充実	地震・台風などの災害対策の充実	上下水道の整備	
	27.1 %	25.6 %	15.5 %	
60歳代	高齢者福祉対策の充実	地域の生活道路の維持・補修	上下水道の整備	
	26.9 %	17.1 %	16.7 %	
70歳代 以上	高齢者福祉対策の充実	地域の生活道路の維持・補修	歩道の拡幅・段差の解消	
	18.9 %	17.3 %	16.1 %	

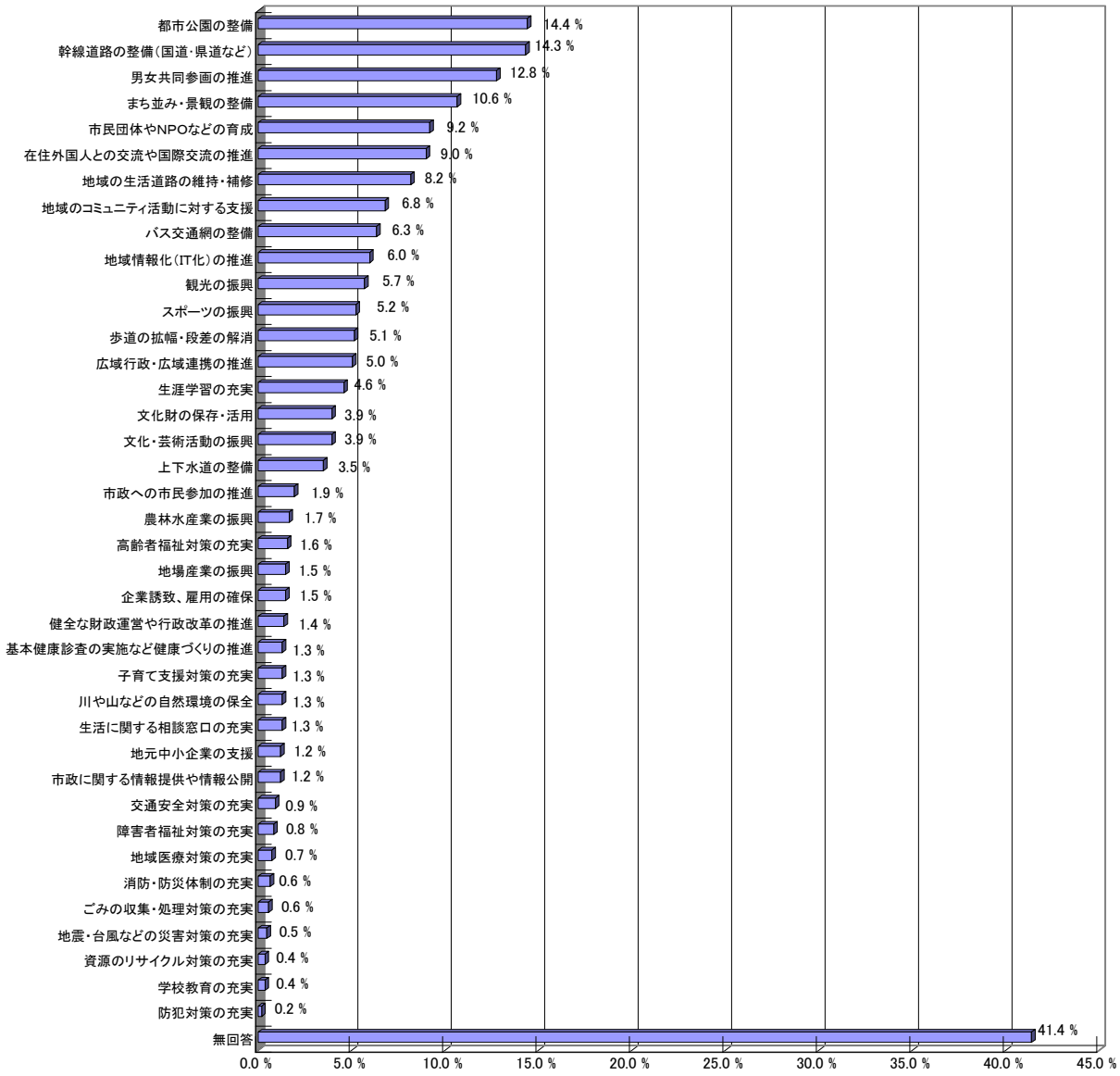
※複数回答

（４）特に縮小すべき（重要度や必要性が低い）分野

縮小すべき分野として、「都市公園の整備（14.4%）」「幹線道路の整備（14.3%）」の回答が多く、次いで「男女共同参画の推進（12.8%）」となっています。

特に優先すべき分野の回答と比較すると、無回答が約 2.6 倍と非常に多く、分野別の回答状況も低い傾向を示しています。

①全体



※複数回答

②属性別

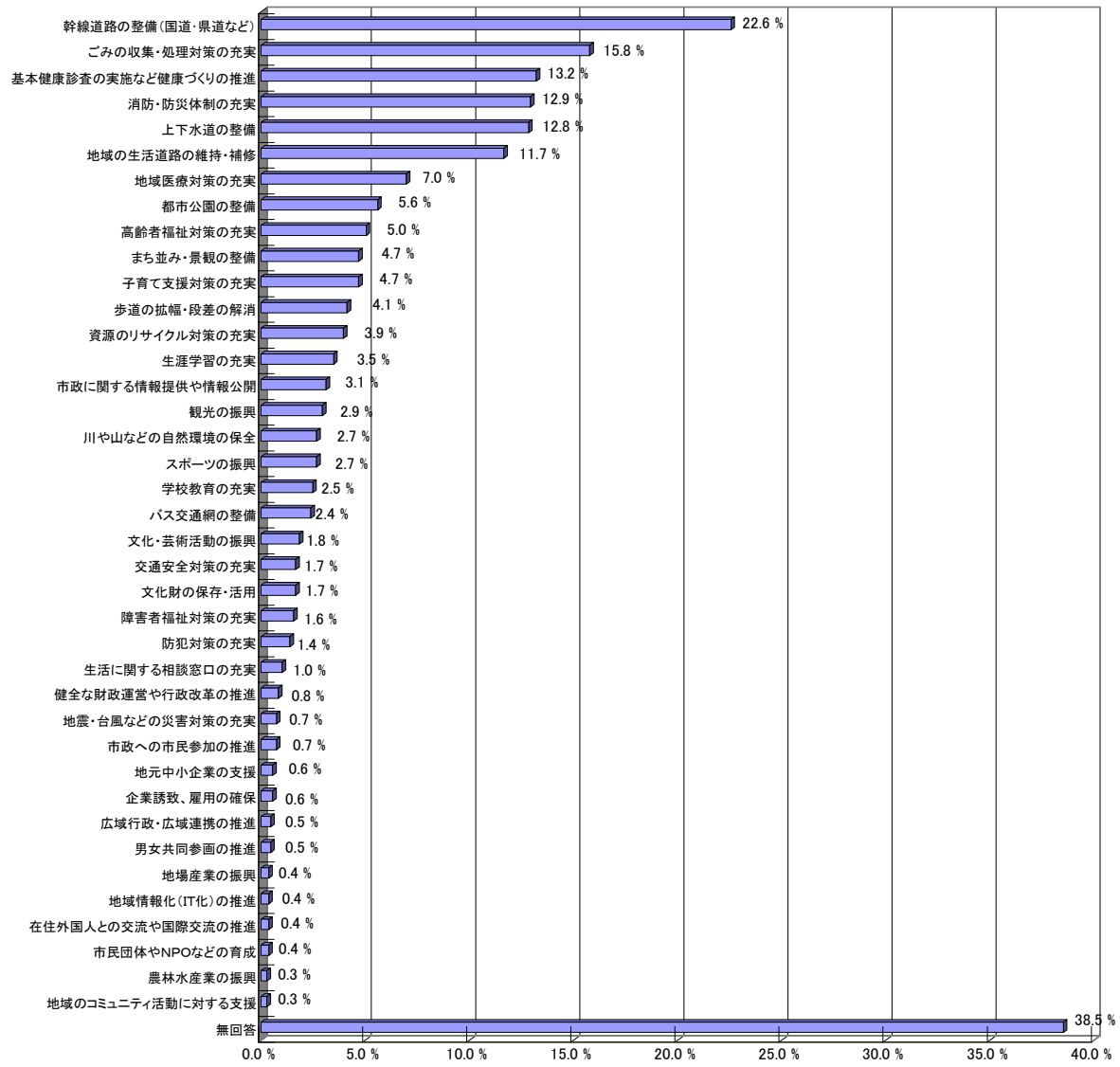
	1位	2位	3位
男性	都市公園の整備	幹線道路の整備（国道･県道など）	男女共同参画の推進
	19.1 %	15.5 %	15.5 %
女性	幹線道路の整備（国道･県道など）	都市公園の整備	男女共同参画の推進
	13.6 %	11.3 %	11.0 %
東部	都市公園の整備	男女共同参画の推進	市民団体やＮＰＯなどの育成
	16.8 %	16.2 %	11.6 %
西部	幹線道路の整備（国道･県道など）	都市公園の整備	男女共同参画の推進
	18.4 %	14.2 %	11.0 %
南部	幹線道路の整備（国道･県道など）	都市公園の整備	男女共同参画の推進
	15.1 %	15.1 %	11.6 %
北部	男女共同参画の推進	都市公園の整備	まち並み・景観の整備	在住外国人との交流や国際交流の推進
	15.5 %	11.3 %	11.3 %	11.3 %
10歳代 20歳代	幹線道路の整備（国道･県道など）	地域の生活道路の維持・補修	都市公園の整備	男女共同参画の推進
	20.2 %	13.1 %	11.9 %	11.9 %
30歳代	幹線道路の整備（国道･県道など）	地域の生活道路の維持・補修	男女共同参画の推進
	22.5 %	13.0 %	10.9 %
40歳代	幹線道路の整備（国道･県道など）	男女共同参画の推進	都市公園の整備
	21.3 %	19.1 %	16.9 %
50歳代	男女共同参画の推進	都市公園の整備	まち並み・景観の整備
	15.9 %	15.5 %	12.6 %
60歳代	都市公園の整備	まち並み・景観の整備	男女共同参画の推進
	18.9 %	14.2 %	13.8 %
70歳代 以上	都市公園の整備	幹線道路の整備（国道･県道など）	在住外国人との交流や国際交流の推進
	10.4 %	9.6 %	9.2 %

※複数回答

（５）現時点の達成水準が十分に高いレベルに達していると思う分野

達成水準が高い分野としては、「幹線道路の整備（22.6%）」の回答が特に多く、次いで、「ごみの収集・処理対策の充実（15.8%）」「基本健康診査（13.2%）」「消防・防災体制の充実（12.9%）」「上下水道の整備（12.8%）」「地域の生活道路の維持・補修（11.7%）」が多くなっています。

①全体



※複数回答

②属性別

	1位	2位	3位
男性	幹線道路の整備（国道･県道など）	消防・防災体制の充実	上下水道の整備
	26.8 %	18.2 %	17.3 %
女性	幹線道路の整備（国道･県道など）	ごみの収集・処理対策の充実	基本健康診査の実施など健康づくりの推進
	19.8 %	15.0 %	14.5 %
東部	幹線道路の整備（国道･県道など）	ごみの収集・処理対策の充実	地域医療対策の充実
	20.8 %	20.8 %	11.6 %
西部	幹線道路の整備（国道･県道など）	上下水道の整備	ごみの収集・処理対策の充実
	23.8 %	18.6 %	15.9 %
南部	幹線道路の整備（国道･県道など）	基本健康診査の実施など健康づくりの推進	消防・防災体制の充実
	23.6 %	16.8 %	14.8 %
北部	幹線道路の整備（国道･県道など）	ごみの収集・処理対策の充実	消防・防災体制の充実
	20.1 %	15.5 %	13.9 %
10歳代 20歳代	幹線道路の整備（国道･県道など）	消防・防災体制の充実	上下水道の整備
	21.4 %	11.9 %	10.7 %
30歳代	幹線道路の整備（国道･県道など）	消防・防災体制の充実	地域の生活道路の維持・補修
	21.0 %	15.9 %	13.8 %
40歳代	幹線道路の整備（国道･県道など）	地域の生活道路の維持・補修	消防・防災体制の充実
	23.5 %	14.0 %	13.2 %
50歳代	幹線道路の整備（国道･県道など）	ごみの収集・処理対策の充実	消防・防災体制の充実
	25.1 %	17.4 %	16.9 %
60歳代	幹線道路の整備（国道･県道など）	ごみの収集・処理対策の充実	上下水道の整備
	26.5 %	23.3 %	17.1 %
70歳代 以上	基本健康診査の実施など健康づくりの推進	幹線道路の整備（国道･県道など）	ごみの収集・処理対策の充実
	17.3 %	16.9 %	16.1 %

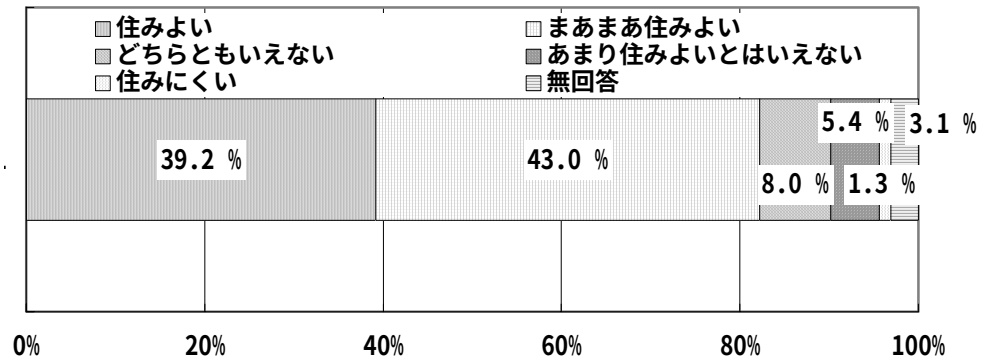
※複数回答

３．今後の居住意向について

（１）光市の住みよさ

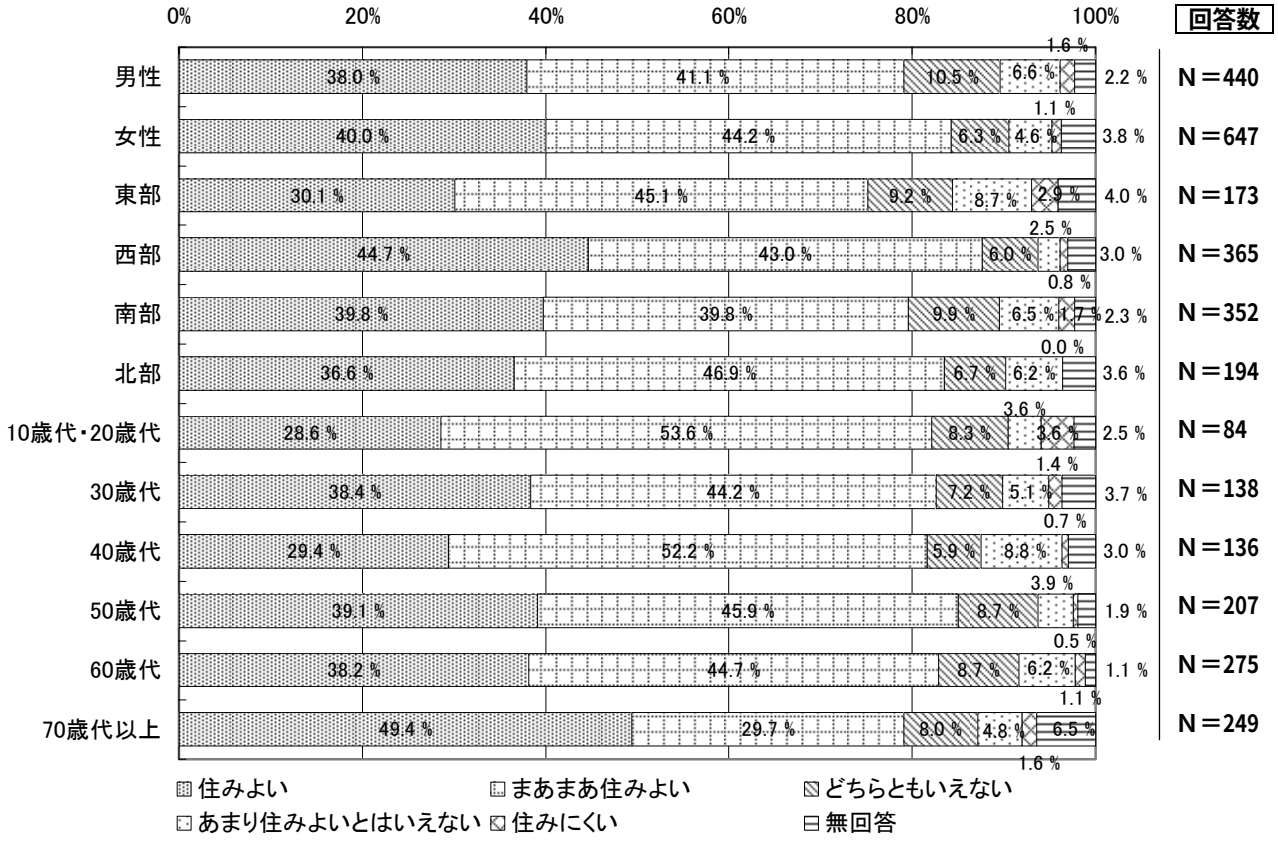
光市の住みよさについて、「住みよい」「まあまあ住みよい」の回答が 82.2%となっており、「住みにくい」「あまり住みよいとはいえない」の回答が 6.7%となっています。

①全体



合計	住みよい	まあまあ住みよい	どちらともいえない	あまり住みよいとはいえない	住みにくい	無回答
1,090	427	469	87	59	14	34
100.0 %	39.2 %	43.0 %	8.0 %	5.4 %	1.3 %	3.1 %

②属性別

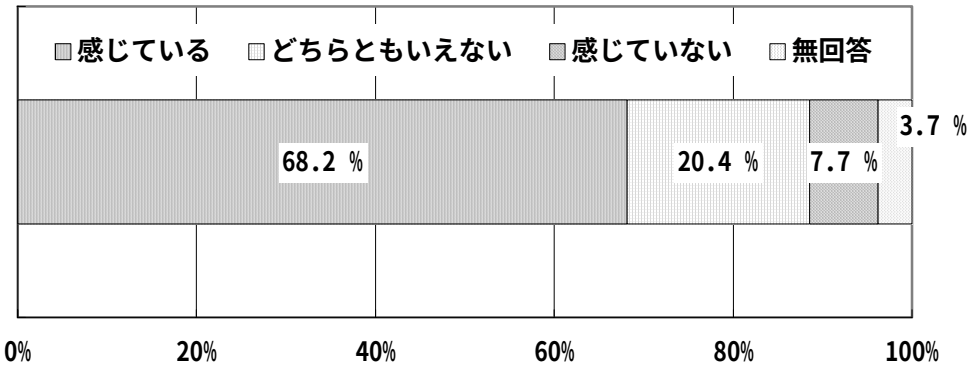


（2）「自分のまち」としての愛着感

光市に愛着を感じている方は、68.2%となっています。

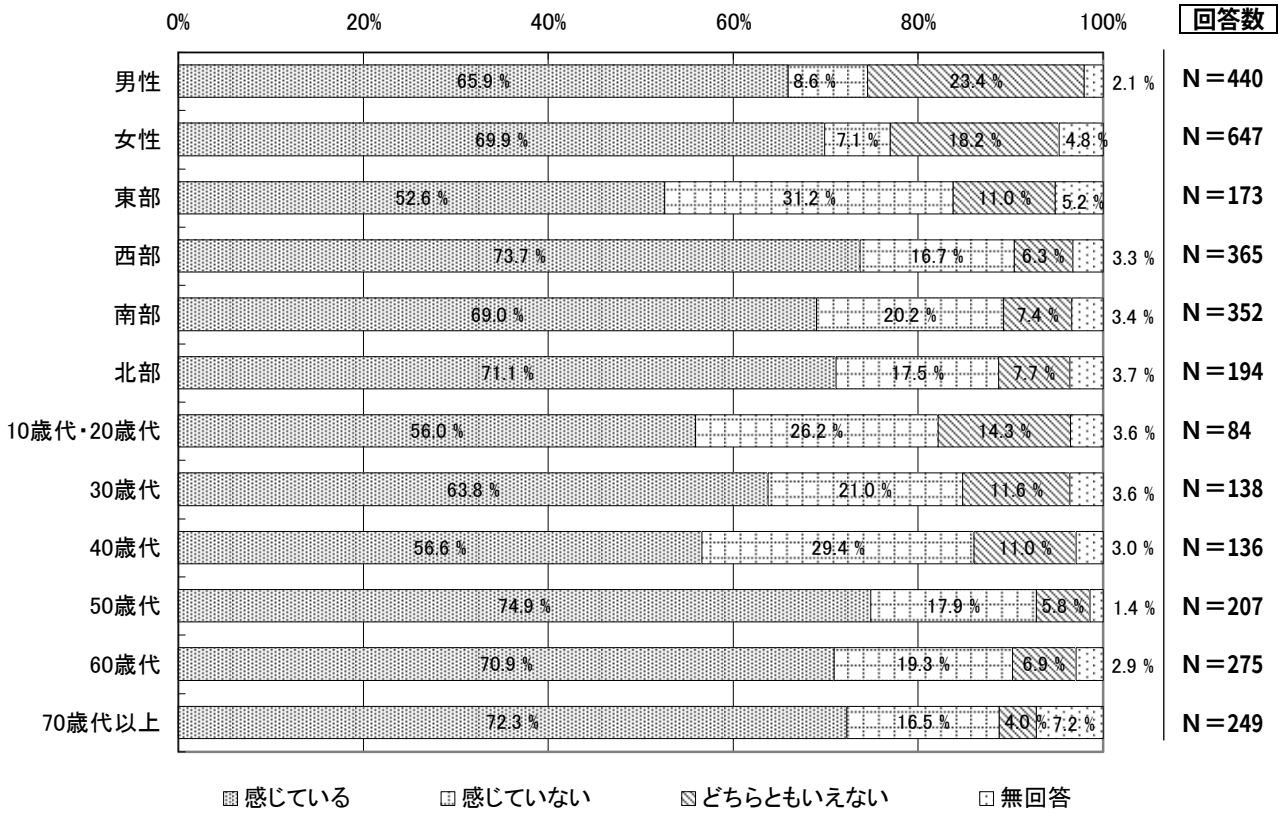
年代が高くになるにしたがって、愛着を感じている方が多くなっており、50 歳代以上の方の 70%以上が「感じている」と回答しています。

①全体



合計	感じている	どちらともいえない	感じていない	無回答
1,090	743	222	84	41
100.0 %	68.2 %	20.4 %	7.7 %	3.7 %

②属性別

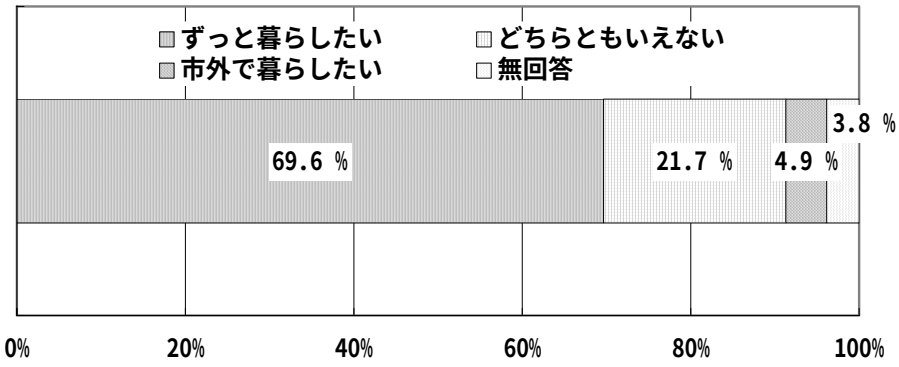


（3）今後の居住意向

今後の居住意向については、69.6%の方が「ずっと光市で暮らしたい」と回答しています。

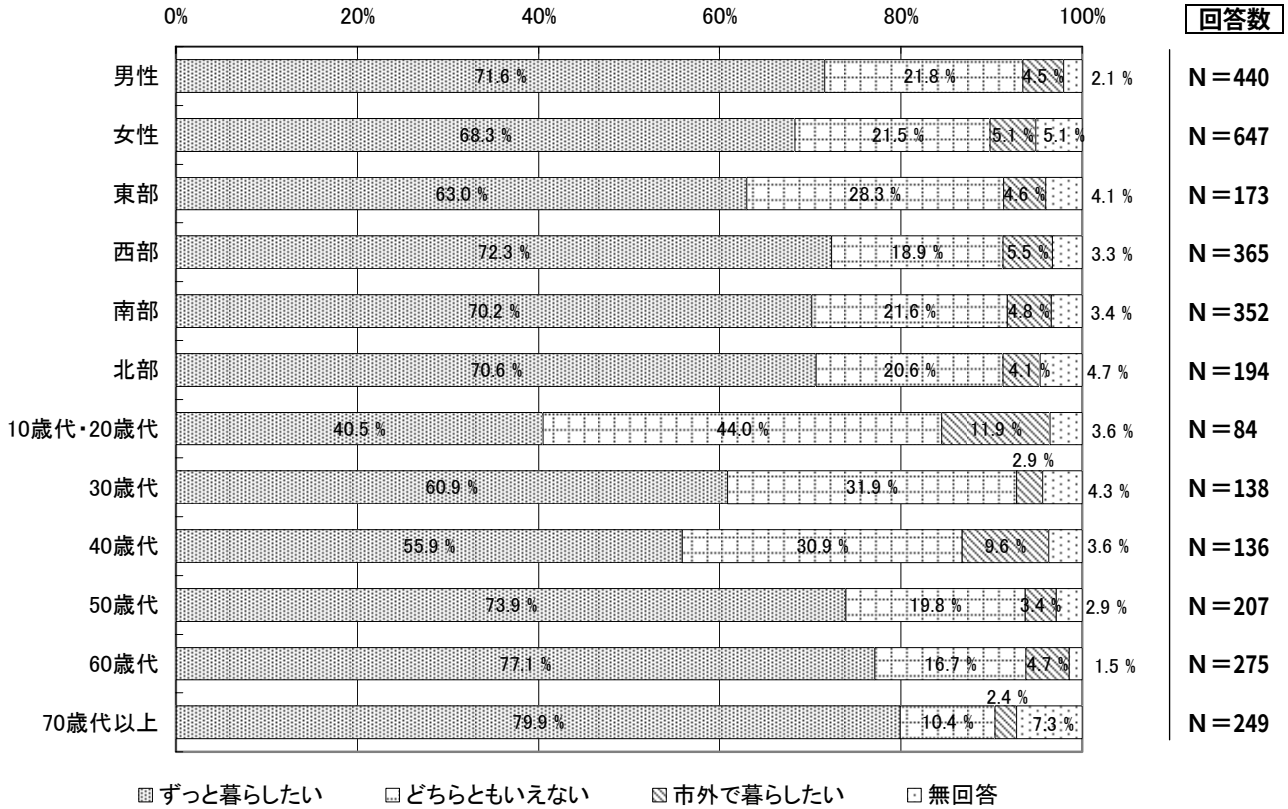
50 歳代以上になると、70%以上の方が「ずっと光市で暮らしたい」と回答していますが、10 歳代・20 歳代では「市外で暮らしたい」の回答が 11.9%とあまり高くないものの、「ずっと光市で暮らしたい」の回答が他の年代よりも低く、40.5%に留まっています。

①全体



合計	ずっと暮らしたい	どちらともいえない	市外で暮らしたい	無回答
1,090	759	236	53	42
100.0 %	69.6 %	21.7 %	4.9 %	3.8 %

②属性別

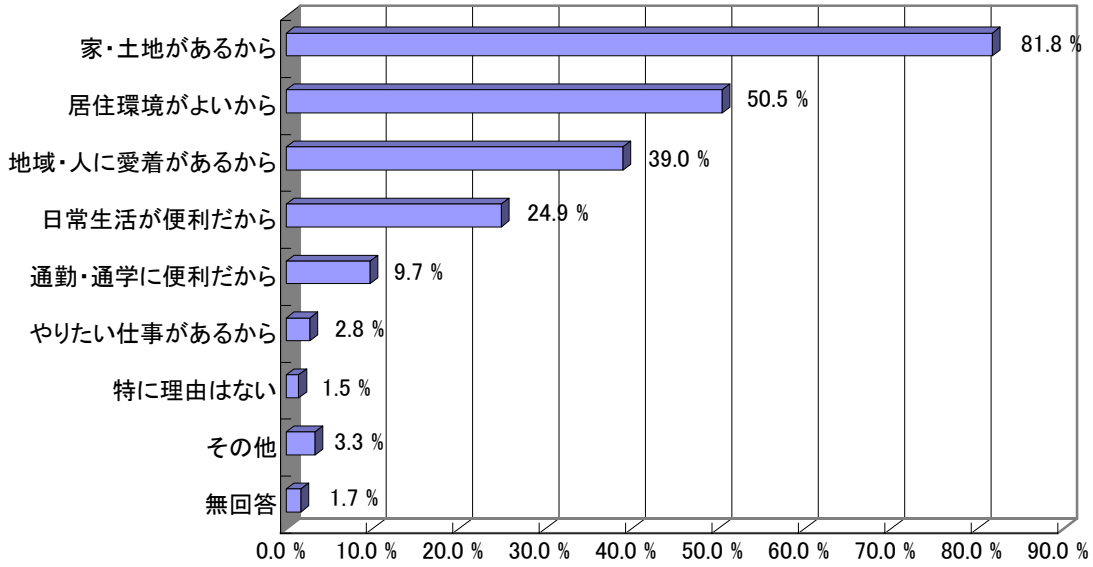


（4）光市で暮らしたい理由（※（3）で「ずっと暮らしたい」と回答した方のみ回答）

市内で「ずっと暮らしたい」方の理由として、「家・土地があるから（81.8%）」と多くなっており、特に 50 歳代以上のその割合は多くなっています。

10 歳代・20 歳代では「居住環境がよいから（55.9%）」「地域・人に愛着があるから（50.0%）」の回答が多くなっています。

①全体



合計	家・土地があるから	居住環境がよいから	地域・人に愛着があるから	日常生活が便利だから
751	614	379	293	187
100.0 %	81.8 %	50.5 %	39.0 %	24.9 %

通勤・通学に便利だから	やりたい仕事があるから	特に理由はない	その他	無回答
73	21	11	25	13
9.7 %	2.8 %	1.5 %	3.3 %	1.7 %

※複数回答

②属性別

	合計	家・土地があるから	居住環境がよいから	地域・人に愛着があるから	日常生活が便利だから
男性	311	265	155	124	70
	100.0 %	85.2 %	49.8 %	39.9 %	22.5 %
女性	438	347	224	169	117
	100.0 %	79.2 %	51.1 %	38.6 %	26.7 %
東部	107	94	36	33	17
	100.0 %	87.9 %	33.6 %	30.8 %	15.9 %
西部	260	200	139	95	93
	100.0 %	76.9 %	53.5 %	36.5 %	35.8 %
南部	245	202	136	107	50
	100.0 %	82.4 %	55.5 %	43.7 %	20.4 %
北部	137	116	67	57	27
	100.0 %	84.7 %	48.9 %	41.6 %	19.7 %
10歳代 20歳代	34	12	19	17	11
	100.0 %	35.3 %	55.9 %	50.0 %	32.4 %
30歳代	82	59	43	29	21
	100.0 %	72.0 %	52.4 %	35.4 %	25.6 %
40歳代	74	60	45	28	9
	100.0 %	81.1 %	60.8 %	37.8 %	12.2 %
50歳代	153	131	75	55	41
	100.0 %	85.6 %	49.0 %	35.9 %	26.8 %
60歳代	209	180	107	74	63
	100.0 %	86.1 %	51.2 %	35.4 %	30.1 %
70歳代 以上	198	171	90	90	42
	100.0 %	86.4 %	45.5 %	45.5 %	21.2 %

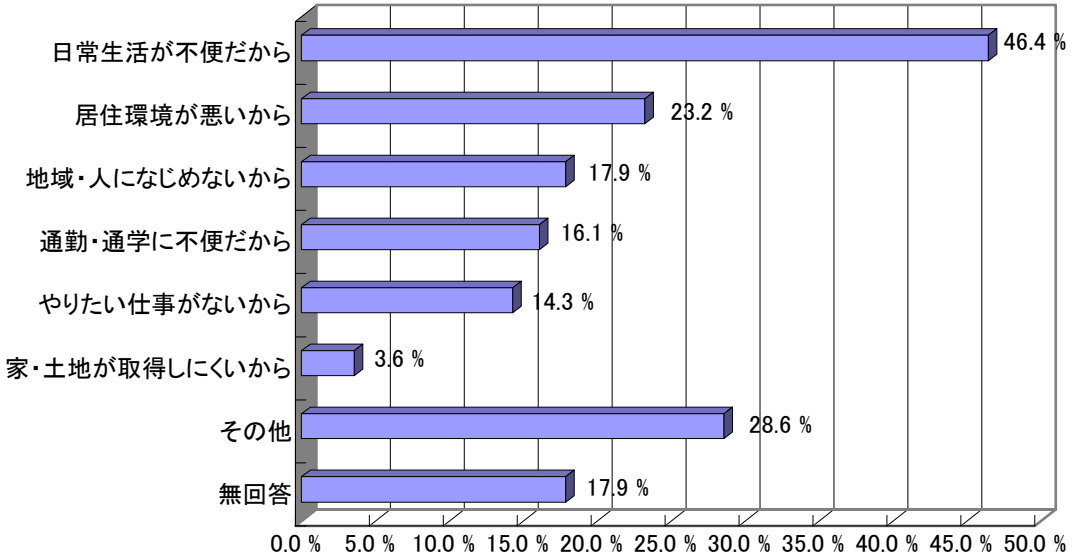
	通勤・通学に便利だから	やりたい仕事があるから	特に理由はない	その他	無回答
男性	41	9	2	11	4
	13.2 %	2.9 %	0.6 %	3.5 %	1.3 %
女性	32	12	9	14	9
	7.3 %	2.7 %	2.1 %	3.2 %	2.1 %
東部	4	2	1	2	3
	3.7 %	1.9 %	0.9 %	1.9 %	2.8 %
西部	28	8	10	3	7
	10.8 %	3.1 %	3.8 %	1.2 %	2.7 %
南部	25	7	10	5	2
	10.2 %	2.9 %	4.1 %	2.0 %	0.8 %
北部	16	4	4	1	1
	11.7 %	2.9 %	2.9 %	0.7 %	0.7 %
10歳代 20歳代	8	1	0	5	1
	23.5 %	2.9 %	0.0 %	14.7 %	2.9 %
30歳代	10	2	0	4	2
	12.2 %	2.4 %	0.0 %	4.9 %	2.4 %
40歳代	13	2	0	2	1
	17.6 %	2.7 %	0.0 %	2.7 %	1.4 %
50歳代	26	5	1	4	2
	17.0 %	3.3 %	0.7 %	2.6 %	1.3 %
60歳代	7	4	5	6	0
	3.3 %	1.9 %	2.4 %	2.9 %	0.0 %
70歳代 以上	9	7	5	4	7
	4.5 %	3.5 %	2.5 %	2.0 %	3.5 %

※複数回答

（５）市外で暮らしたい理由（※（３）で「市外で暮らしたい」と回答した方のみ回答）

市外で暮らしたい方の理由としては、「日常生活が不便だから（46.4%）」が最も多く、次いで「居住環境が悪いから（23.2%）」となっています。

①全体



合計	日常生活が不便だから	居住環境が悪いから	地域・人になじめないから	通勤・通学に不便だから
56	26	13	10	9
100.0 %	46.4 %	23.2 %	17.9 %	16.1 %

やりたい仕事がないから	家・土地が取得しにくいから	その他	無回答
8	2	16	10
14.3 %	3.6 %	28.6 %	17.9 %

※複数回答

②属性別

	合計	日常生活が不便だから	居住環境が悪いから	地域・人になじめないから	通勤・通学に不便だから
男性	21	9	5	4	2
	100.0 %	42.9 %	23.8 %	19.0 %	9.5 %
女性	35	17	8	6	7
	100.0 %	48.6 %	22.9 %	17.1 %	20.0 %
東部	8	6	2	1	3
	100.0 %	75.0 %	25.0 %	12.5 %	37.5 %
西部	21	8	5	5	2
	100.0 %	38.1 %	23.8 %	23.8 %	9.5 %
南部	19	8	3	4	2
	100.0 %	42.1 %	15.8 %	21.1 %	10.5 %
北部	8	4	3	0	2
	100.0 %	50.0 %	37.5 %	0.0 %	25.0 %
10歳代 20歳代	10	6	2	1	3
	100.0 %	60.0 %	20.0 %	10.0 %	30.0 %
30歳代	4	3	1	1	1
	100.0 %	75.0 %	25.0 %	25.0 %	25.0 %
40歳代	13	5	4	3	3
	100.0 %	38.5 %	30.8 %	23.1 %	23.1 %
50歳代	8	3	2	2	1
	100.0 %	37.5 %	25.0 %	25.0 %	12.5 %
60歳代	13	5	4	2	1
	100.0 %	38.5 %	30.8 %	15.4 %	7.7 %
70歳代 以上	8	4	0	1	0
	100.0 %	50.0 %	0.0 %	12.5 %	0.0 %

	やりたい仕事がないから	家・土地が取得しにくいから	その他	無回答
男性	2	0	4	5
	9.5 %	0.0 %	19.0 %	23.8 %
女性	6	2	12	5
	17.1 %	5.7 %	34.3 %	14.3 %
東部	0	0	3	1
	0.0 %	0.0 %	37.5 %	12.5 %
西部	3	0	6	5
	14.3 %	0.0 %	28.6 %	23.8 %
南部	3	2	5	3
	15.8 %	10.5 %	26.3 %	15.8 %
北部	2	0	2	1
	25.0 %	0.0 %	25.0 %	12.5 %
10歳代 20歳代	3	1	3	1
	30.0 %	10.0 %	30.0 %	10.0 %
30歳代	0	0	2	0
	0.0 %	0.0 %	50.0 %	0.0 %
40歳代	4	0	6	0
	30.8 %	0.0 %	46.2 %	0.0 %
50歳代	0	0	2	2
	0.0 %	0.0 %	25.0 %	25.0 %
60歳代	0	0	2	3
	0.0 %	0.0 %	15.4 %	23.1 %
70歳代 以上	1	1	1	4
	12.5 %	12.5 %	12.5 %	50.0 %

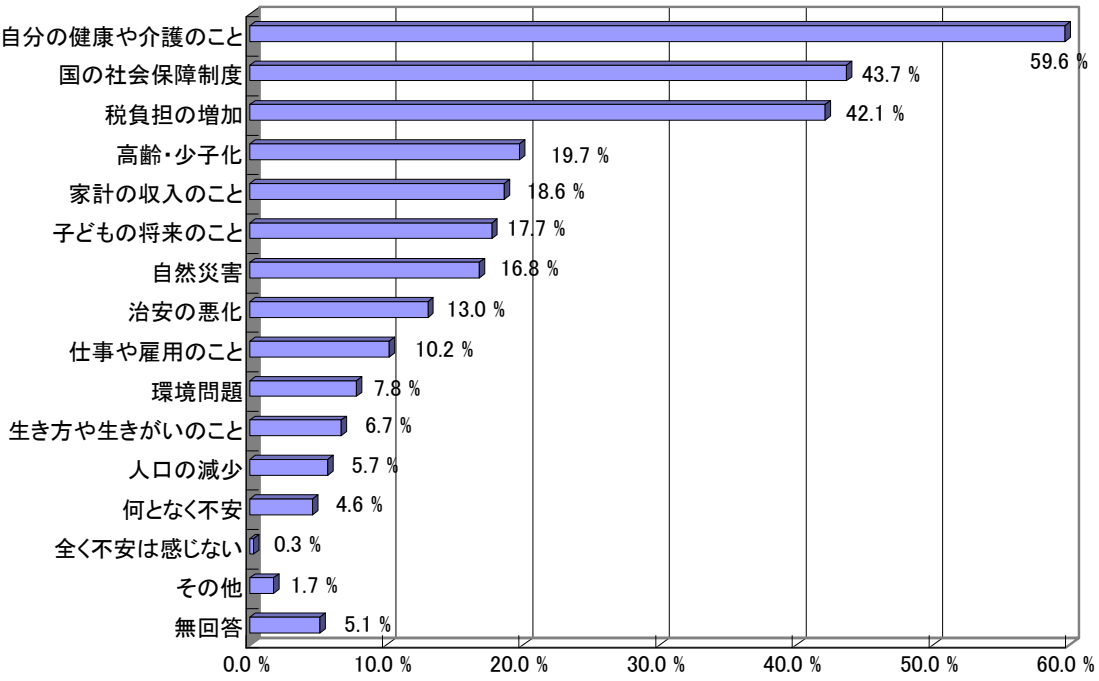
※複数回答

（6）将来に対しての不安

将来については「自分の健康や介護のこと（59.6%）」に関して最も不安を感じており、次いで「国の保障制度（43.7%）」「税負担の増加（42.1%）」となっています。

年代が高くなるにしたがって、「自分の健康や介護のこと」の回答が多くなっており、10歳代・20歳代では、「仕事や雇用のこと（35.7%）」に対して、不安を感じている方が多くなっています。

①全体



合計	自分の健康や介護のこと	国の社会保障制度	税負担の増加	高齢・少子化	家計の収入のこと
1,090	650	476	459	215	203
100.0 %	59.6 %	43.7 %	42.1 %	19.7 %	18.6 %

子どもの将来のこと	自然災害	治安の悪化	仕事や雇用のこと	環境問題
193	183	142	111	85
17.7 %	16.8 %	13.0 %	10.2 %	7.8 %

生き方や生きがいのこと	人口の減少	何となく不安	全く不安は感じない	その他	無回答
73	62	50	3	19	56
6.7 %	5.7 %	4.6 %	0.3 %	1.7 %	5.1 %

※複数回答

②属性別

	合計	自分の健康や介護のこと	国の社会保障制度	税負担の増加	高齢・少子化	家計の収入のこと	子どもの将来のこと	治安の悪化	仕事や雇用のこと
男性	440	253	216	201	101	84	69	66	54
	100.0 %	57.5 %	49.1 %	45.7 %	23.0 %	19.1 %	15.7 %	15.0 %	12.3 %
女性	647	395	259	258	113	119	124	76	57
	100.0 %	61.1 %	40.0 %	39.9 %	17.5 %	18.4 %	19.2 %	11.7 %	8.8 %
東部	173	106	74	74	33	27	25	16	11
	100.0 %	61.3 %	42.8 %	42.8 %	19.1 %	15.6 %	14.5 %	9.2 %	6.4 %
西部	365	214	165	165	66	73	68	55	40
	100.0 %	58.6 %	45.2 %	45.2 %	18.1 %	20.0 %	18.6 %	15.1 %	11.0 %
南部	352	203	151	151	70	67	62	53	42
	100.0 %	57.7 %	42.9 %	42.9 %	19.9 %	19.0 %	17.6 %	15.1 %	11.9 %
北部	194	124	84	67	43	36	37	18	18
	100.0 %	63.9 %	43.3 %	34.5 %	22.2 %	18.6 %	19.1 %	9.3 %	9.3 %
10歳代 20歳代	84	18	31	41	11	21	10	8	30
	100.0 %	21.4 %	36.9 %	48.8 %	13.1 %	25.0 %	11.9 %	9.5 %	35.7 %
30歳代	138	47	50	58	24	32	59	24	20
	100.0 %	34.1 %	36.2 %	42.0 %	17.4 %	23.2 %	42.8 %	17.4 %	14.5 %
40歳代	136	62	69	66	22	21	45	19	23
	100.0 %	45.6 %	50.7 %	48.5 %	16.2 %	15.4 %	33.1 %	14.0 %	16.9 %
50歳代	207	149	87	91	39	51	38	23	23
	100.0 %	72.0 %	42.0 %	44.0 %	18.8 %	24.6 %	18.4 %	11.1 %	11.1 %
60歳代	275	188	148	120	65	48	24	35	9
	100.0 %	68.4 %	53.8 %	43.6 %	23.6 %	17.5 %	8.7 %	12.7 %	3.3 %
70歳代 以上	249	186	90	83	53	30	17	33	6
	100.0 %	74.7 %	36.1 %	33.3 %	21.3 %	12.0 %	6.8 %	13.3 %	2.4 %

	自然災害	人口の減少	環境問題	生き方や生きがいのこと	何となく不安	全く不安は感じない	その他	無回答
男性	53	46	37	29	13	2	5	14
	12.0 %	10.5 %	8.4 %	6.6 %	3.0 %	0.5 %	1.1 %	3.2 %
女性	130	15	48	44	37	1	14	42
	20.1 %	2.3 %	7.4 %	6.8 %	5.7 %	0.2 %	2.2 %	6.5 %
東部	27	17	9	12	7	4	0	11
	15.6 %	9.8 %	5.2 %	6.9 %	4.0 %	2.3 %	0.0 %	6.4 %
西部	47	15	29	23	19	5	1	17
	12.9 %	4.1 %	7.9 %	6.3 %	5.2 %	1.4 %	0.3 %	4.7 %
南部	56	18	29	29	15	9	2	16
	15.9 %	5.1 %	8.2 %	8.2 %	4.3 %	2.6 %	0.6 %	4.5 %
北部	51	11	17	9	9	1	0	11
	26.3 %	5.7 %	8.8 %	4.6 %	4.6 %	0.5 %	0.0 %	5.7 %
10歳代 20歳代	20	4	12	9	5	0	2	4
	23.8 %	4.8 %	14.3 %	10.7 %	6.0 %	0.0 %	2.4 %	4.8 %
30歳代	17	4	17	6	3	0	4	10
	12.3 %	2.9 %	12.3 %	4.3 %	2.2 %	0.0 %	2.9 %	7.2 %
40歳代	13	4	13	9	3	0	4	7
	9.6 %	2.9 %	9.6 %	6.6 %	2.2 %	0.0 %	2.9 %	5.1 %
50歳代	36	9	12	18	7	0	3	5
	17.4 %	4.3 %	5.8 %	8.7 %	3.4 %	0.0 %	1.4 %	2.4 %
60歳代	44	20	18	15	11	1	4	14
	16.0 %	7.3 %	6.5 %	5.5 %	4.0 %	0.4 %	1.5 %	5.1 %
70歳代 以上	53	20	13	16	21	2	2	16
	21.3 %	8.0 %	5.2 %	6.4 %	8.4 %	0.8 %	0.8 %	6.4 %

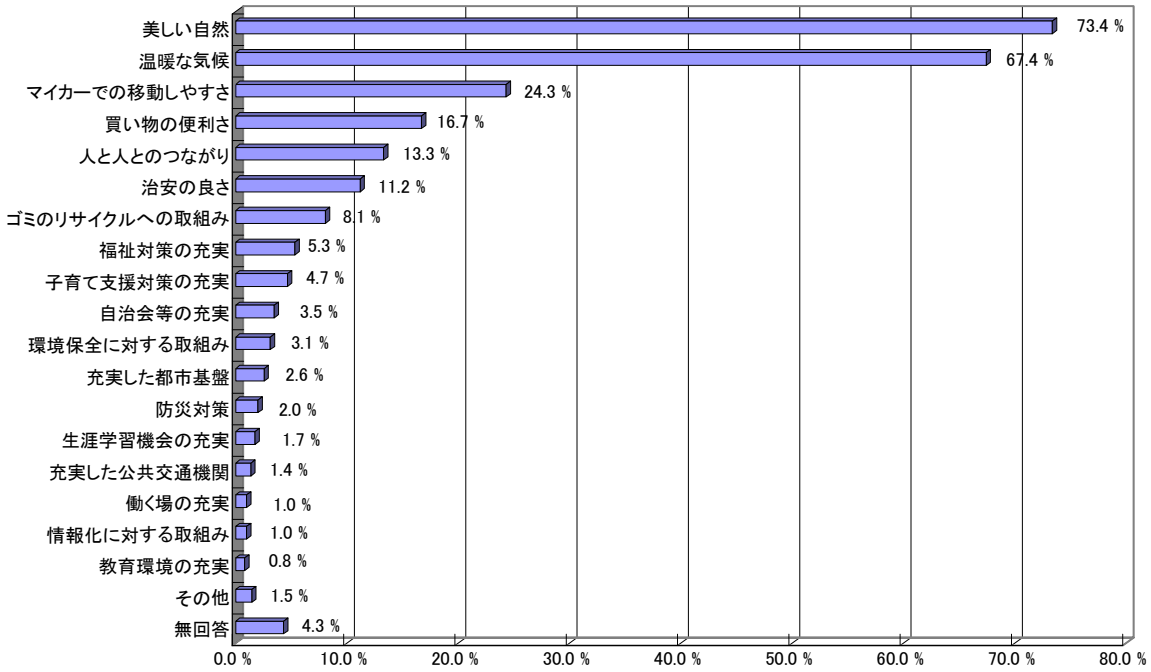
※複数回答

（7）光市が自慢できるもの

光市が自慢できるものとしては、「美しい自然（73.4%）」と「温暖な気候（67.4%）」の回答が多くなっています。

次いで、「マイカーでの移動のしやすさ」の回答が多く、10 歳代・20 歳代で 34.5%、30 歳代で 36.2%の回答となっています。

①全体



合計	美しい自然	温暖な気候	マイカーでの移動しやすさ	買い物の便利さ	人と人とのつながり
1,090	800	735	265	182	145
100.0 %	73.4 %	67.4 %	24.3 %	16.7 %	13.3 %

治安の良さ	ゴミのリサイクルへの取組み	福祉対策の充実	子育て支援対策の充実	自治会等の充実
122	88	58	51	38
11.2 %	8.1 %	5.3 %	4.7 %	3.5 %

環境保全に対する取組み	充実した都市基盤	防災対策	生涯学習機会の充実	充実した公共交通機関
34	28	22	19	15
3.1 %	2.6 %	2.0 %	1.7 %	1.4 %

働く場の充実	情報化に対する取組み	教育環境の充実	その他	無回答
11	11	9	16	47
1.0 %	1.0 %	0.8 %	1.5 %	4.3 %

※複数回答

②属性別

	合計	美しい自然	温暖な気候	マイカーでの移動しやすさ	買い物の便利さ	人と人とのつながり	治安の良さ	ゴミのリサイクルへの取組み	福祉対策の充実	子育て支援対策の充実	自治会等の充実
男性	440	319	311	105	78	60	56	31	22	11	13
	100.0 %	72.5 %	70.7 %	23.9 %	17.7 %	13.6 %	12.7 %	7.0 %	5.0 %	2.5 %	3.0 %
女性	647	480	423	159	103	85	66	57	36	40	25
	100.0 %	74.2 %	65.4 %	24.6 %	15.9 %	13.1 %	10.2 %	8.8 %	5.6 %	6.2 %	3.9 %
東部	173	115	90	43	33	16	28	22	14	8	5
	100.0 %	66.5 %	52.0 %	24.9 %	19.1 %	9.2 %	16.2 %	12.7 %	8.1 %	4.6 %	2.9 %
西部	365	274	252	86	97	47	36	25	20	19	14
	100.0 %	75.1 %	69.0 %	23.6 %	26.6 %	12.9 %	9.9 %	6.8 %	5.5 %	5.2 %	3.8 %
南部	352	270	273	73	30	51	38	22	16	14	13
	100.0 %	76.7 %	77.6 %	20.7 %	8.5 %	14.5 %	10.8 %	6.3 %	4.5 %	4.0 %	3.7 %
北部	194	139	118	61	20	29	20	18	8	10	6
	100.0 %	71.6 %	60.8 %	31.4 %	10.3 %	14.9 %	10.3 %	9.3 %	4.1 %	5.2 %	3.1 %
10歳代 20歳代	84	49	35	29	13	10	8	3	4	7	0
	100.0 %	58.3 %	41.7 %	34.5 %	15.5 %	11.9 %	9.5 %	3.6 %	4.8 %	8.3 %	0.0 %
30歳代	138	95	72	50	26	12	13	4	9	21	4
	100.0 %	68.8 %	52.2 %	36.2 %	18.8 %	8.7 %	9.4 %	2.9 %	6.5 %	15.2 %	2.9 %
40歳代	136	98	88	41	17	11	14	6	4	7	3
	100.0 %	72.1 %	64.7 %	30.1 %	12.5 %	8.1 %	10.3 %	4.4 %	2.9 %	5.1 %	2.2 %
50歳代	207	152	146	55	22	32	29	12	5	7	5
	100.0 %	73.4 %	70.5 %	26.6 %	10.6 %	15.5 %	14.0 %	5.8 %	2.4 %	3.4 %	2.4 %
60歳代	275	218	212	62	57	41	24	33	14	7	9
	100.0 %	79.3 %	77.1 %	22.5 %	20.7 %	14.9 %	8.7 %	12.0 %	5.1 %	2.5 %	3.3 %
70歳代 以上	249	188	182	27	46	39	34	30	22	2	17
	100.0 %	75.5 %	73.1 %	10.8 %	18.5 %	15.7 %	13.7 %	12.0 %	8.8 %	0.8 %	6.8 %

	環境保全に対する取組み	充実した都市基盤	防災対策	生涯学習機会の充実	充実した公共交通機関	働く場の充実	情報化に対する取組み	教育環境の充実	その他	無回答
男性	14	17	13	8	6	9	3	6	6	16
	3.2 %	3.9 %	3.0 %	1.8 %	1.4 %	2.0 %	0.7 %	1.4 %	1.4 %	3.6 %
女性	20	11	9	10	9	2	8	3	10	31
	3.1 %	1.7 %	1.4 %	1.5 %	1.4 %	0.3 %	1.2 %	0.5 %	1.5 %	4.8 %
東部	2	4	4	0	1	3	4	1	3	13
	1.2 %	2.3 %	2.3 %	0.0 %	0.6 %	1.7 %	2.3 %	0.6 %	1.7 %	7.5 %
西部	15	9	2	6	4	1	3	2	2	12
	4.1 %	2.5 %	0.5 %	1.6 %	1.1 %	0.3 %	0.8 %	0.5 %	0.5 %	3.3 %
南部	11	8	10	8	7	4	3	3	4	14
	3.1 %	2.3 %	2.8 %	2.3 %	2.0 %	1.1 %	0.9 %	0.9 %	1.1 %	4.0 %
北部	6	7	6	4	3	3	1	3	7	7
	3.1 %	3.6 %	3.1 %	2.1 %	1.5 %	1.5 %	0.5 %	1.5 %	3.6 %	3.6 %
10歳代 20歳代	0	3	2	0	1	3	2	0	3	6
	0.0 %	3.6 %	2.4 %	0.0 %	1.2 %	3.6 %	2.4 %	0.0 %	3.6 %	7.1 %
30歳代	5	3	5	1	1	1	1	0	2	5
	3.6 %	2.2 %	3.6 %	0.7 %	0.7 %	0.7 %	0.7 %	0.0 %	1.4 %	3.6 %
40歳代	5	4	4	4	3	1	0	2	4	5
	3.7 %	2.9 %	2.9 %	2.9 %	2.2 %	0.7 %	0.0 %	1.5 %	2.9 %	3.7 %
50歳代	8	5	7	3	5	4	4	1	4	6
	3.9 %	2.4 %	3.4 %	1.4 %	2.4 %	1.9 %	1.9 %	0.5 %	1.9 %	2.9 %
60歳代	13	10	2	5	3	1	1	3	3	8
	4.7 %	3.6 %	0.7 %	1.8 %	1.1 %	0.4 %	0.4 %	1.1 %	1.1 %	2.9 %
70歳代 以上	3	3	2	5	2	1	3	3	0	17
	1.2 %	1.2 %	0.8 %	2.0 %	0.8 %	0.4 %	1.2 %	1.2 %	0.0 %	6.8 %

※複数回答

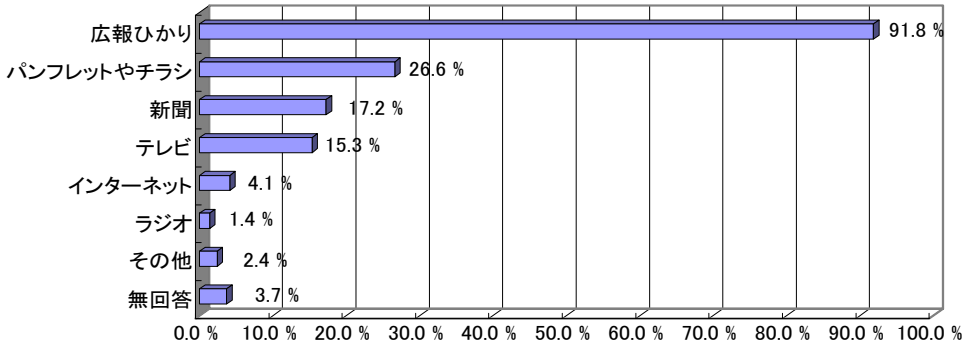
４．情報提供について

（１）市からの情報（お知らせなど）を知る手段

市からの情報等を知る手段として、「広報ひかり」が最も多く、91.8%を占めます。次いで「パンフレットやチラシ（26.6%）」「新聞（17.2%）」「テレビ（15.3%）」となっており、「インターネット」は4.1%に留まっています。

年代が高くなるにつれて、「新聞」による情報の入手が多くなっています。

①全体



合計	広報ひかり	パンフレットやチラシ	新聞	テレビ	インターネット	ラジオ	その他	無回答
1,090	1,001	290	188	167	45	15	26	40
100.0 %	91.8 %	26.6 %	17.2 %	15.3 %	4.1 %	1.4 %	2.4 %	3.7 %

※複数回答

②属性別

	合計	広報ひかり	ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄやﾁﾗｼ	新聞	テレビ	インターネット	ラジオ	その他	無回答
男性	440	403	130	80	50	20	6	10	19
	100.0 %	91.6 %	29.5 %	18.2 %	11.4 %	4.5 %	1.4 %	2.3 %	4.3 %
女性	647	595	160	107	117	25	9	16	21
	100.0 %	92.0 %	24.7 %	16.5 %	18.1 %	3.9 %	1.4 %	2.5 %	3.2 %
東部	173	149	54	33	27	7	3	2	9
	100.0 %	86.1 %	31.2 %	19.1 %	15.6 %	4.0 %	1.7 %	1.2 %	5.2 %
西部	365	338	95	55	55	16	4	11	13
	100.0 %	92.6 %	26.0 %	15.1 %	15.1 %	4.4 %	1.1 %	3.0 %	3.6 %
南部	352	329	83	72	55	9	4	9	10
	100.0 %	93.5 %	23.6 %	20.5 %	15.6 %	2.6 %	1.1 %	2.6 %	2.8 %
北部	194	180	56	26	30	13	4	4	8
	100.0 %	92.8 %	28.9 %	13.4 %	15.5 %	6.7 %	2.1 %	2.1 %	4.1 %
10歳代20歳代	84	69	18	6	12	3	0	4	3
	100.0 %	82.1 %	21.4 %	7.1 %	14.3 %	3.6 %	0.0 %	4.8 %	3.6 %
30歳代	138	127	21	13	21	8	1	5	5
	100.0 %	92.0 %	15.2 %	9.4 %	15.2 %	5.8 %	0.7 %	3.6 %	3.6 %
40歳代	136	132	29	14	13	14	1	6	0
	100.0 %	97.1 %	21.3 %	10.3 %	9.6 %	10.3 %	0.7 %	4.4 %	0.0 %
50歳代	207	197	58	33	29	5	1	4	5
	100.0 %	95.2 %	28.0 %	15.9 %	14.0 %	2.4 %	0.5 %	1.9 %	2.4 %
60歳代	275	254	93	54	42	12	8	3	12
	100.0 %	92.4 %	33.8 %	19.6 %	15.3 %	4.4 %	2.9 %	1.1 %	4.4 %
70歳代以上	249	221	71	67	50	3	4	4	15
	100.0 %	88.8 %	28.5 %	26.9 %	20.1 %	1.2 %	1.6 %	1.6 %	6.0 %

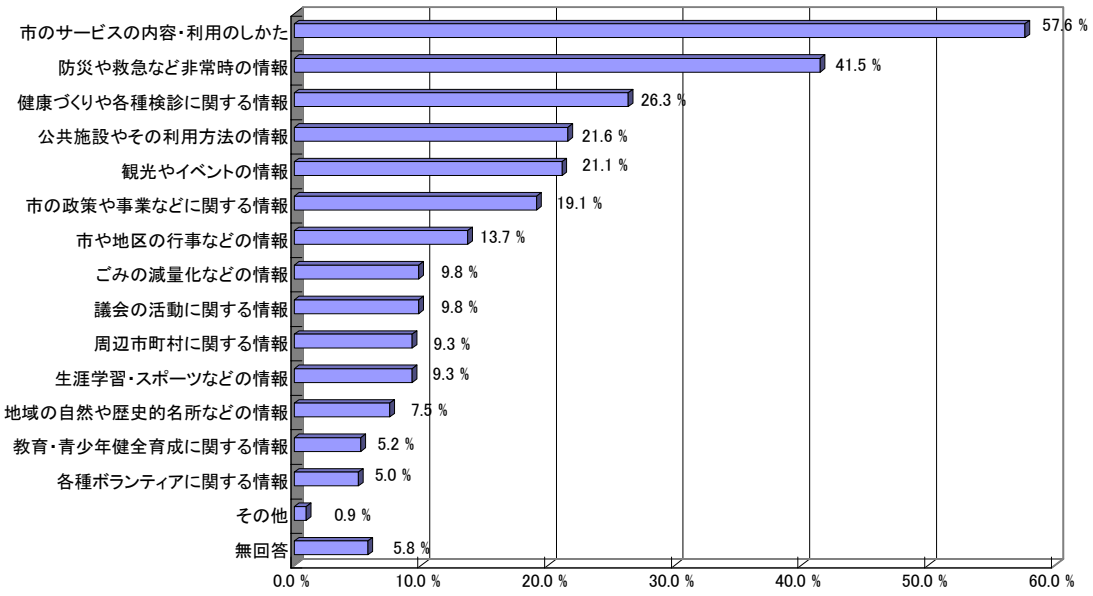
※複数回答

（2）市から提供してほしい情報

市から提供してほしい情報としては、「市のサービスの内容・利用のしかた（57.6%）」が最も多く、次いで「防災や救急など非常時の情報（41.5%）」となっています。

年齢別にみると、若年層で「観光やイベントの情報」の回答も多くなっており、イベント等への関心の高さがうかがえます。また、年代が高くなるにつれて、「健康づくりや各種検診に関する情報」を求める意見が多くなっています。

①全体



合計	市のサービスの内容・利用のしかた	防災や救急など非常時の情報	健康づくりや各種検診に関する情報	公共施設やその利用方法の情報
1,090	628	452	287	235
100.0 %	57.6 %	41.5 %	26.3 %	21.6 %

観光やイベントの情報	市の政策や事業などに関する情報	市や地区の行事などの情報	ごみの減量化などの情報
230	208	149	107
21.1 %	19.1 %	13.7 %	9.8 %

議会の活動に関する情報	周辺市町村に関する情報	生涯学習・スポーツなどの情報	地域の自然や歴史的名所などの情報
107	101	101	82
9.8 %	9.3 %	9.3 %	7.5 %

教育・青少年健全育成に関する情報	各種ボランティアに関する情報	その他	無回答
57	55	10	63
5.2 %	5.0 %	0.9 %	5.8 %

※複数回答

②属性別

	合計	市のサービスの内容・利用のしかた	防災や救急など非常時の情報	健康づくりや各種検診に関する情報	公共施設やその利用方法の情報	観光やイベントの情報	市の政策や事業などに関する情報	市や地区の行事などの情報	ごみの減量化などの情報
男性	440	235	178	122	71	92	126	71	38
	100.0 %	53.4 %	40.5 %	27.7 %	16.1 %	20.9 %	28.6 %	16.1 %	8.6 %
女性	647	392	274	164	164	138	81	78	69
	100.0 %	60.6 %	42.3 %	25.3 %	25.3 %	21.3 %	12.5 %	12.1 %	10.7 %
東部	173	102	58	56	33	31	39	29	7
	100.0 %	59.0 %	33.5 %	32.4 %	19.1 %	17.9 %	22.5 %	16.8 %	4.0 %
西部	365	221	149	87	87	84	74	41	46
	100.0 %	60.5 %	40.8 %	23.8 %	23.8 %	23.0 %	20.3 %	11.2 %	12.6 %
南部	352	203	156	93	80	70	58	52	31
	100.0 %	57.7 %	44.3 %	26.4 %	22.7 %	19.9 %	16.5 %	14.8 %	8.8 %
北部	194	102	87	50	35	44	34	27	23
	100.0 %	52.6 %	44.8 %	25.8 %	18.0 %	22.7 %	17.5 %	13.9 %	11.9 %
10歳代 20歳代	84	43	27	9	18	39	9	11	9
	100.0 %	51.2 %	32.1 %	10.7 %	21.4 %	46.4 %	10.7 %	13.1 %	10.7 %
30歳代	138	74	45	29	36	50	12	23	17
	100.0 %	53.6 %	32.6 %	21.0 %	26.1 %	36.2 %	8.7 %	16.7 %	12.3 %
40歳代	136	88	51	28	42	40	18	18	16
	100.0 %	64.7 %	37.5 %	20.6 %	30.9 %	29.4 %	13.2 %	13.2 %	11.8 %
50歳代	207	127	96	48	47	40	36	28	19
	100.0 %	61.4 %	46.4 %	23.2 %	22.7 %	19.3 %	17.4 %	13.5 %	9.2 %
60歳代	275	164	115	82	54	43	77	31	29
	100.0 %	59.6 %	41.8 %	29.8 %	19.6 %	15.6 %	28.0 %	11.3 %	10.5 %
70歳代 以上	249	132	118	91	38	18	55	38	17
	100.0 %	53.0 %	47.4 %	36.5 %	15.3 %	7.2 %	22.1 %	15.3 %	6.8 %

	議会の活動に関する情報	周辺市町村に関する情報	生涯学習・スポーツなどの情報	地域の自然や歴史的名所などの情報	教育・青少年健全育成に関する情報	各種ボランティアに関する情報	その他	無回答
男性	59	39	41	34	21	22	6	24
	13.4 %	8.9 %	9.3 %	7.7 %	4.8 %	5.0 %	1.4 %	5.5 %
女性	48	62	59	47	36	33	4	39
	7.4 %	9.6 %	9.1 %	7.3 %	5.6 %	5.1 %	0.6 %	6.0 %
東部	17	18	14	7	7	5	1	18
	9.8 %	10.4 %	8.1 %	4.0 %	4.0 %	2.9 %	0.6 %	10.4 %
西部	35	39	35	26	18	14	6	11
	9.6 %	10.7 %	9.6 %	7.1 %	4.9 %	3.8 %	1.6 %	3.0 %
南部	36	21	37	33	17	25	2	19
	10.2 %	6.0 %	10.5 %	9.4 %	4.8 %	7.1 %	0.6 %	5.4 %
北部	18	22	14	14	14	11	1	14
	9.3 %	11.3 %	7.2 %	7.2 %	7.2 %	5.7 %	0.5 %	7.2 %
10歳代 20歳代	5	14	17	3	7	5	0	2
	6.0 %	16.7 %	20.2 %	3.6 %	8.3 %	6.0 %	0.0 %	2.4 %
30歳代	7	12	17	8	12	2	3	8
	5.1 %	8.7 %	12.3 %	5.8 %	8.7 %	1.4 %	2.2 %	5.8 %
40歳代	3	6	16	10	12	6	3	5
	2.2 %	4.4 %	11.8 %	7.4 %	8.8 %	4.4 %	2.2 %	3.7 %
50歳代	18	21	18	24	4	20	3	7
	8.7 %	10.1 %	8.7 %	11.6 %	1.9 %	9.7 %	1.4 %	3.4 %
60歳代	40	27	24	19	11	12	0	15
	14.5 %	9.8 %	8.7 %	6.9 %	4.0 %	4.4 %	0.0 %	5.5 %
70歳代 以上	34	21	8	17	11	10	1	26
	13.7 %	8.4 %	3.2 %	6.8 %	4.4 %	4.0 %	0.4 %	10.4 %

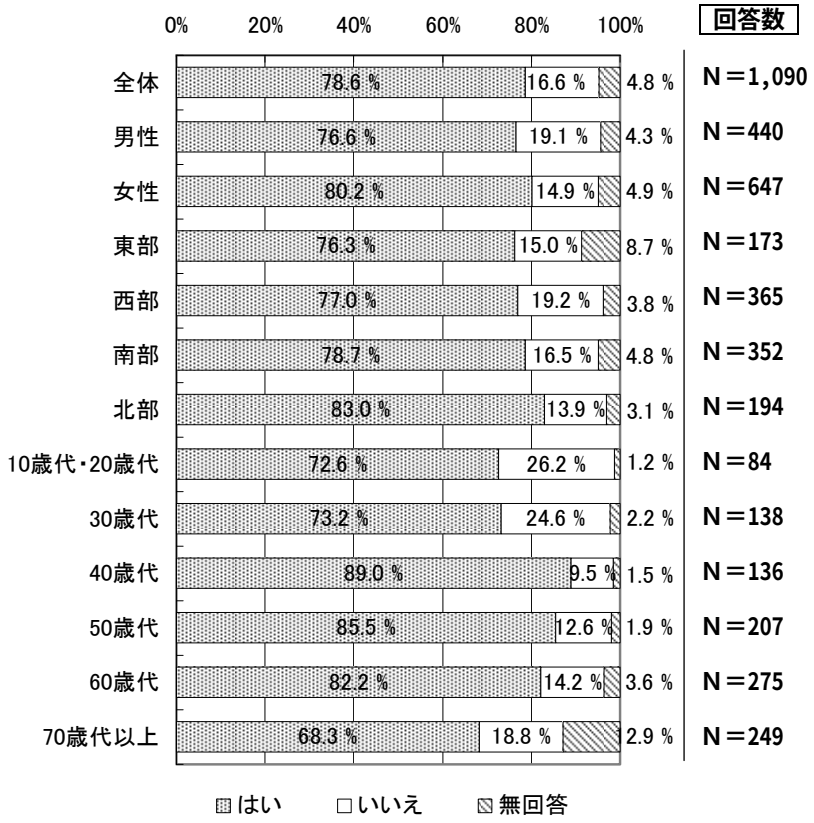
※複数回答

５．日常生活における意識

（１）市街地に緑が多いと感じますか？

78.6%が市街地に緑が多いと感じています。

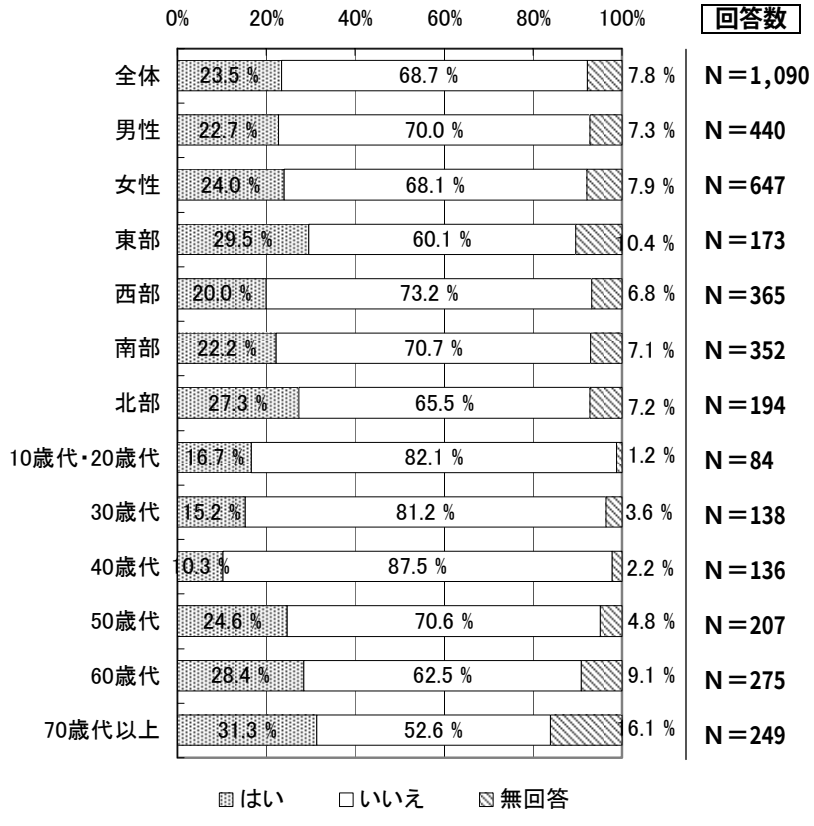
年齢別にみると、30 歳代以下の若年層では、「いいえ」の回答が多くなっています。



（２）この 10 年間で治安がよくなったと思いますか？

この 10 年間で治安がよくなったと思う方は、23.5%となっています。

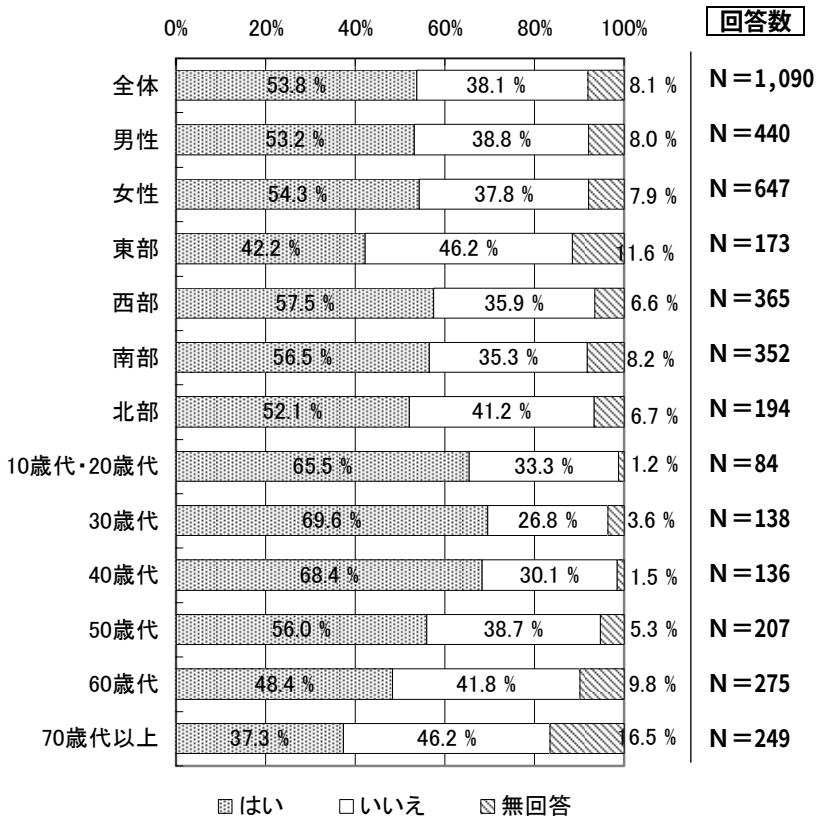
年齢別にみると、40 歳代以下では 80%以上の方が「いいえ」と回答していますが、50 歳代以上では、年代が高くなるにつれて、よくなったとする回答が増加する傾向にあります。



（3）この 10 年間で治安が悪くなったと思いますか？

この 10 年間で治安が悪くなったと思う方は、全体の53.8%となっています。

年齢別にみると、40 歳代以下では 70%近い方が悪くなったと回答していますが、50 歳代以上では、年代が高くなるにつれて、悪くなったとする回答が減少する傾向にあります。

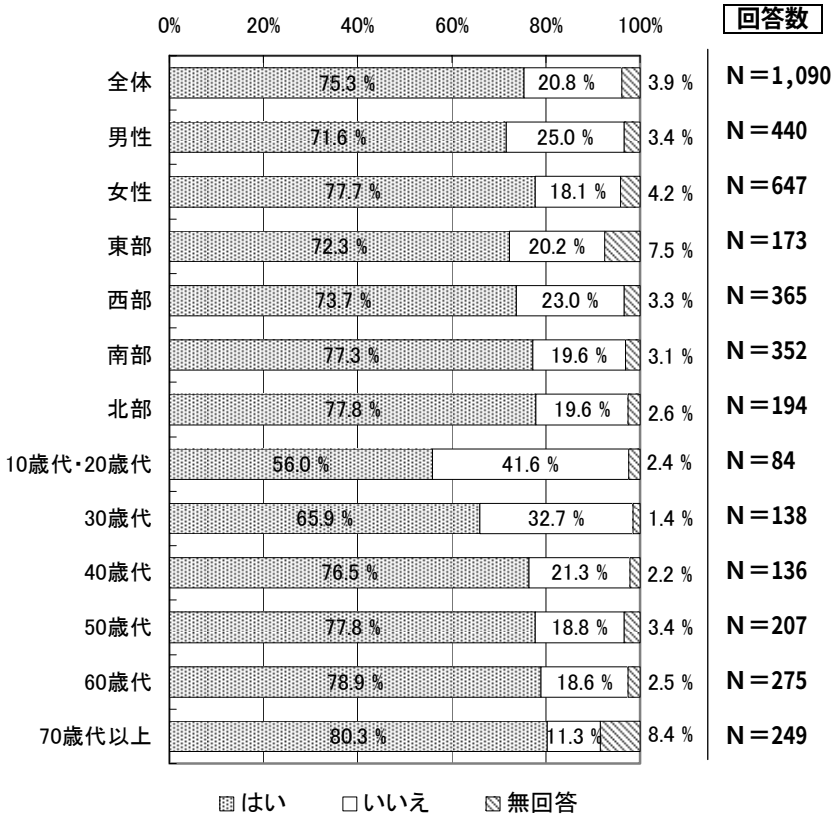


（4）日常生活のなかで近所の方との関わりがありますか？

近所の方との関わりについて、75.3%が、関わりがあると回答しています。

男性より女性の方が、関わりがあると回答した割合は高くなっています。

年齢別にみると、10 歳代・20 歳代の回答が 56.0%と最も低く、年代が低いほど、近所との関わりが少なくなっていることが分かります。

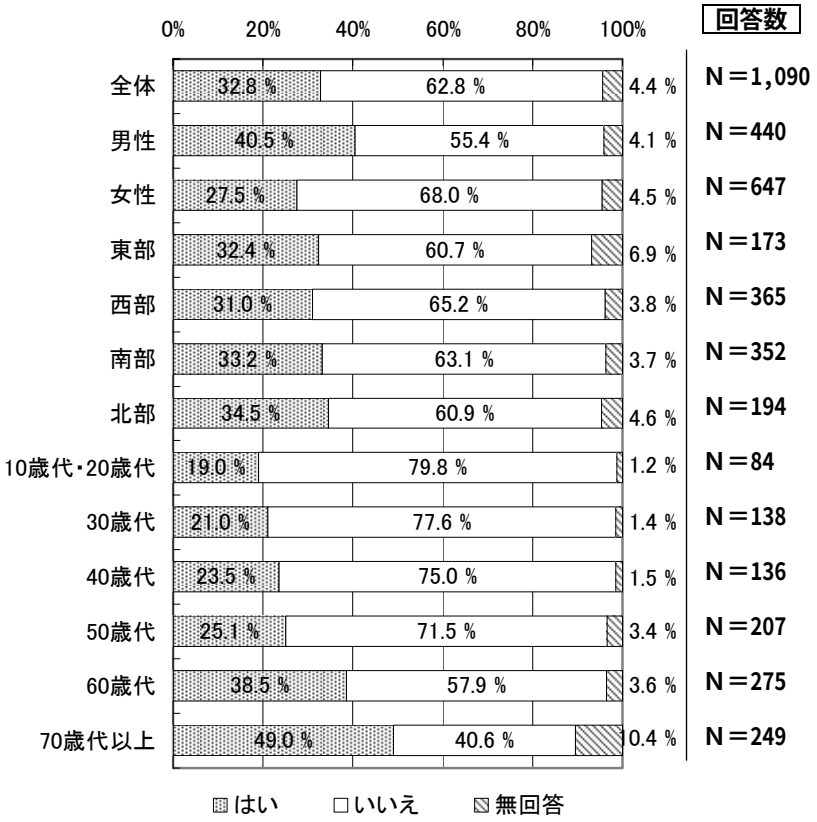


（5）普段から災害に備えていますか？

普段から災害に備えている方は、32.8%となっています。

男性については、40.5%が災害に備えていると回答しており、女性の 27.5%と比べて高くなっています。

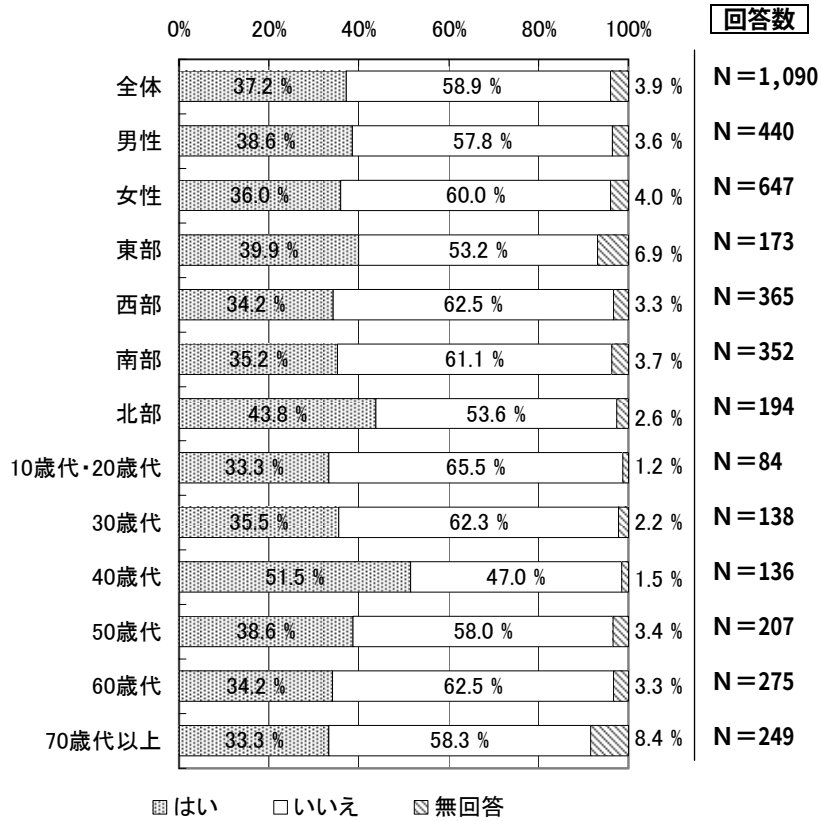
年齢別にみると、60 歳代以上の高齢者で、災害に備えている方の割合が高く、60 歳代で 38.5%、70 歳代以上で 49.0%となっています。



（6）消防・防災訓練に参加したり、見学したことがありますか？

消防・防災訓練については 37.2%が参加・見学したことがあると回答しています。

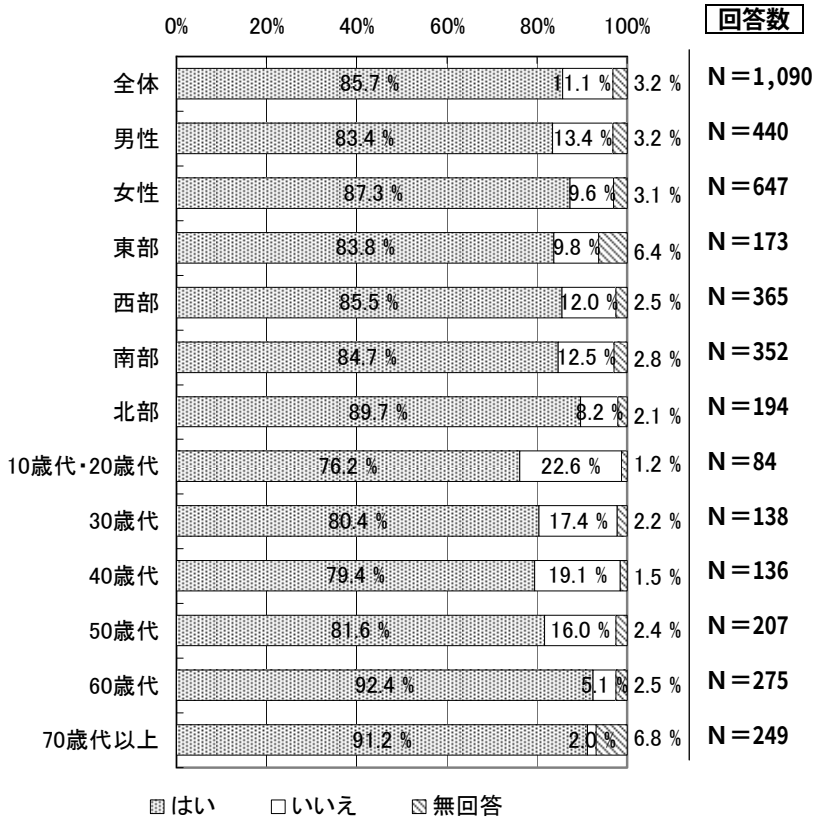
年齢別にみると、40 歳代で参加・見学したことがある方が多く、51.5%となっています。



（7）普段から健康に心がけていますか？

普段から健康に心がけている方は、全体の 85.7%を占めます。

特に、60 歳代以上の高齢者の回答が多く、60 歳代で 92.4%、70 歳代以上で 91.2%となっています。

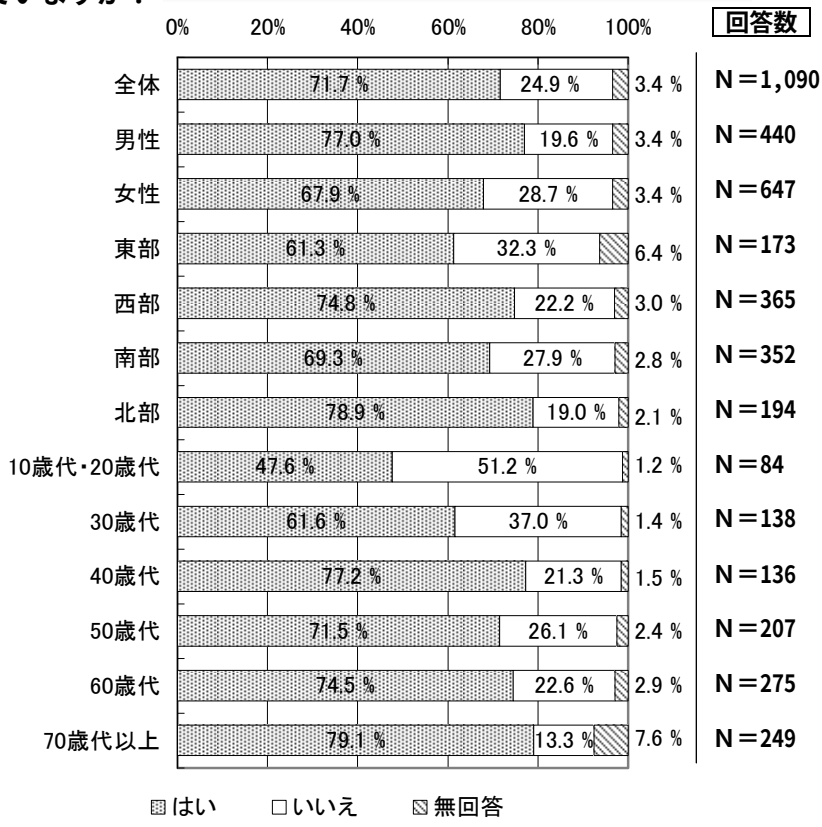


（8）定期的に健康診査を受診していますか？

定期的な健康診査については、71.7%が受診していると回答しています。

特に、男性では、77.0%が受診していると回答しています。

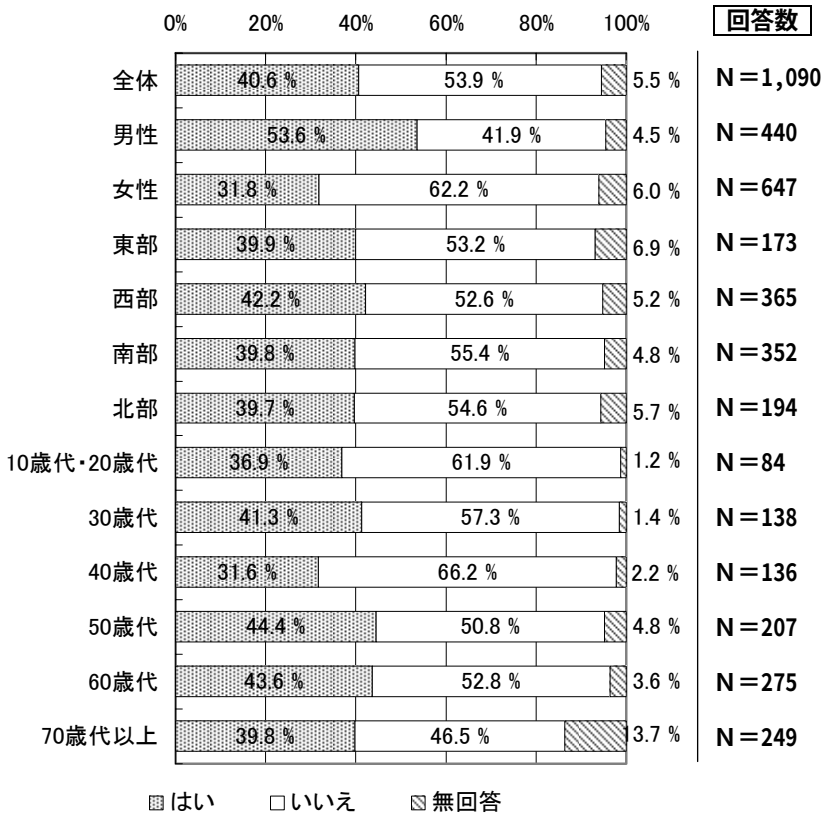
年齢別にみると、受診している方は、10 歳代・20 歳代では 50%以下と低くなっていますが、40 歳代以上では 70%を超えています。



（9）男女が平等だと思いますか？

男女が平等だと思っている方は、全体の 40.6%となっています。

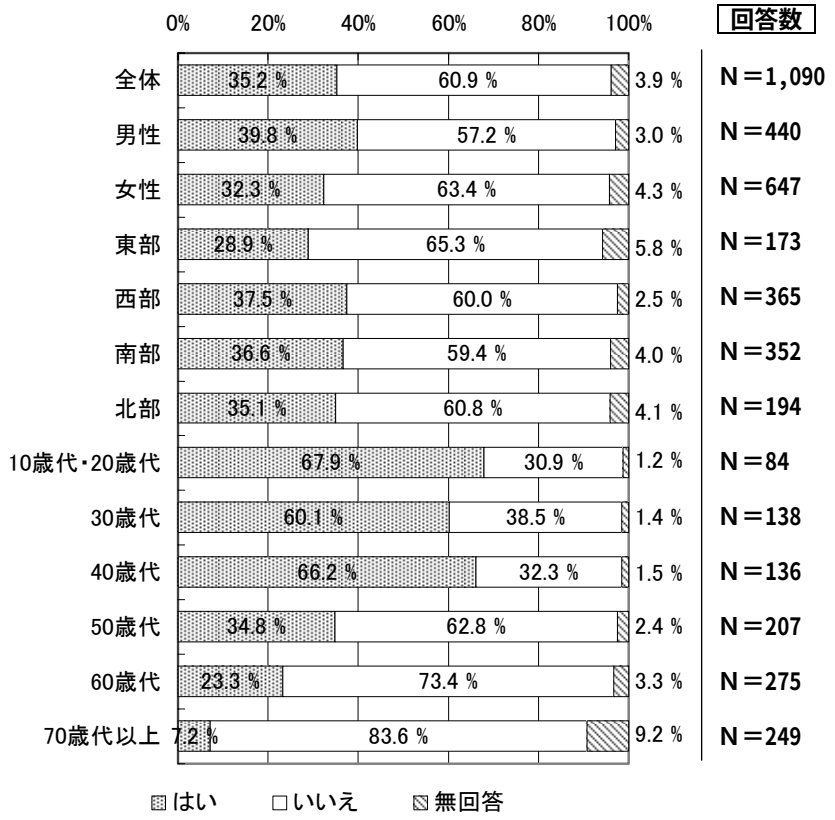
男性では53.6%が平等であると思っているのに対し、女性は31.8%に留まっています。



（10）日常生活のなかでインターネットを活用していますか？

日常生活のなかでインターネットを活用している方は、全体の 35.2%となっています。

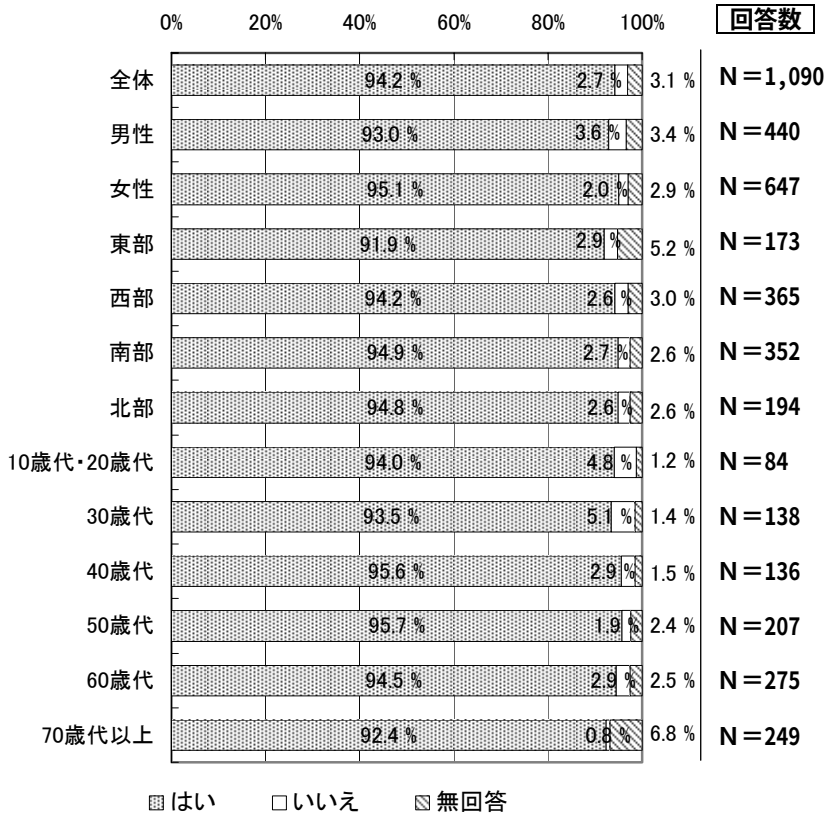
年齢別にみると、10 歳代から 40 歳代でのインターネットの活用が多く、60%を超えています。高齢になるほど、活用している方の割合が低くなっています。



(11) ゴミの分別をきちんと行っていますか？

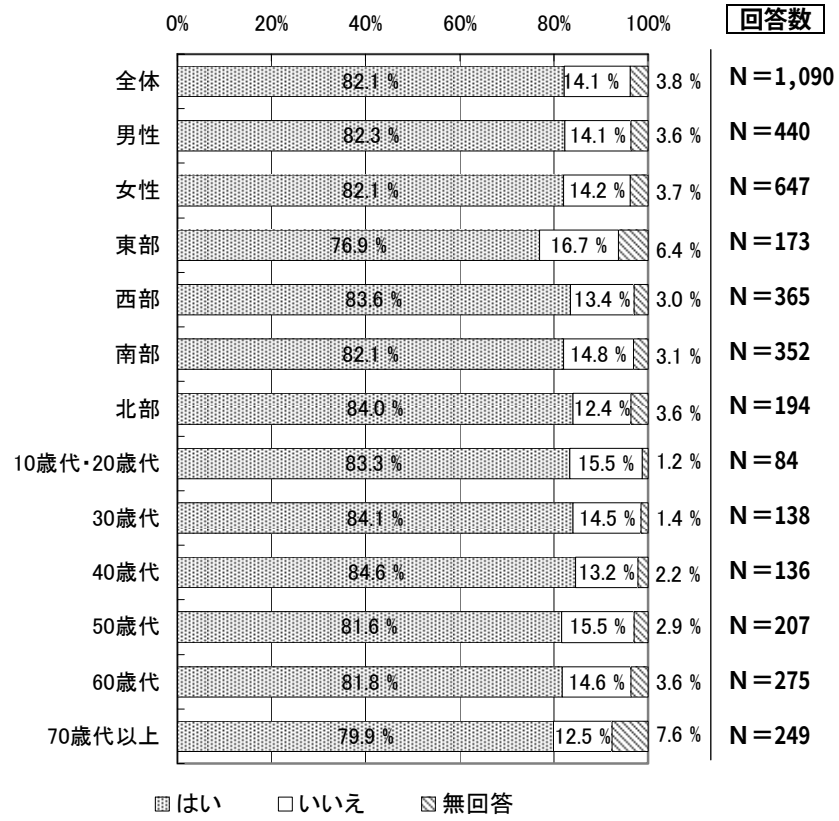
ゴミの分別については、94.2%がきちんと分別を行っていることがわかります。

男女、年齢にかかわらず、ほとんどの方が分別を行っており、意識の高さがうかがえます。



(12) リサイクルできるものはリサイクルしていますか？

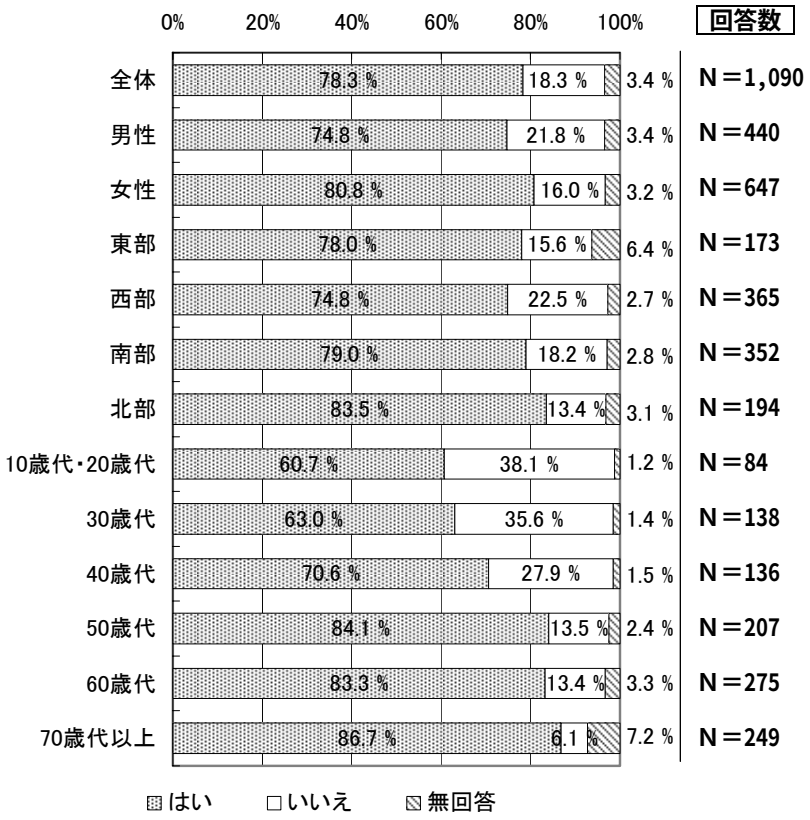
リサイクルについては、全体の82.1%がリサイクルしていると回答しており、環境分野への関心が高いことがうかがえます。



（13）できるだけ地元の野菜や魚などを購入するようにしていますか？

全体の78.3%が地元の野菜や魚などを購入するようにしていることが分かります。

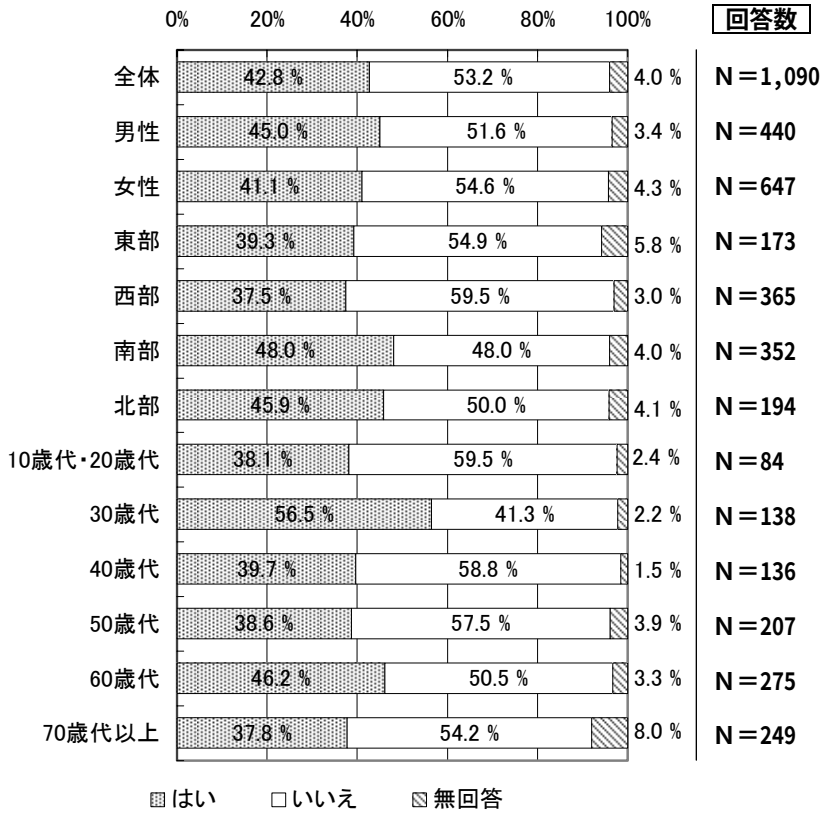
年齢別にみると、地元で購入すると回答した方は、10歳代・20歳代では60.7%に留まっていますが、年代が上がるにつれて増加し、50歳代以上では80%以上となっています。



（14）地域の行事やお祭りには積極的に参加していますか？

地域の行事やお祭りについては、全体の42.8%が積極的に参加しています。

年齢別にみると、30歳代で積極的な参加が多く、56.5%となっています。

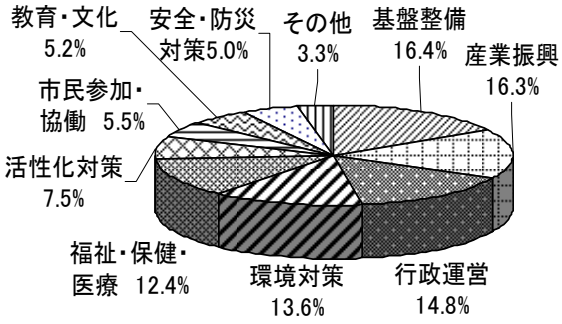


Ⅱ．市民アンケートの結果
（ⅲ）まちづくりについての提言

１．まちづくりについての提言

市民のまちづくりについての提言では、市民アンケート①、②を合わせ、６９０名の方から延べ８２３件に及ぶご意見、ご提言をいただきました。

意見･提言の内容は､｢基盤整備(１３５件)｣、｢産業振興(１３４件)｣､｢行政運営(１２２件)｣、｢環境対策(１１２件)｣､｢福祉･保健･医療(１０２件)｣､｢活性化対策(６２件)｣､｢市民参加･協働(４５件)｣､｢教育･文化(４３件)｣､｢安全･防災対策(４１件)｣､｢その他(２７件)｣と多岐にわたっています。



なお、意見・提言の具体的な内容につきましては、下記のとおりです。

基盤整備(135件)

- 光駅～室積の交通の充実
- 市内循環バスの充実
- 室積地区へも、ぐるりんバスを
- 自動車が無ければ生活しにくい
- 高齢者のための、バス・交通網の整備
- 岩田と浅江を直結するバス路線の開設
- 高齢者タクシー無料配布・割引等の制度導入
- バス運賃の値下げ
- 子どもが屋外で遊べる施設の整備
- 自然豊かな公園の整備
- 冠山総合公園内への遊具の設置
- 水辺の公園の整備
- 高齢者が安心して散歩できる公園・遊歩道の整備
- 海岸松林の遊歩道の整備と子どもが遊べるアスレチックの整備
- 幼児や子育てをする若い世代が気軽に利用できる公園や施設の整備
- 瀬戸風線の早期完成
- 下松方面への新たな幹線道路の整備
- 歩道の整備と段差解消
- 踏切道の改良
- 生活道路の拡張・補修

- 大和地域の道路整備
- 岩田駅の駐車場確保
- 観光施設周辺の駐車場整備
- 公共施設の集中化
- 水道施設の充実
- 下水道整備の促進
- 島田川の遊歩道、憩いの場等の整備、樹木の剪定
- 登山道の整備
- レジャーボート用の港の整備
- 野球場の整備
- 歩けるプールの整備
- 墓園の整備
- 三島橋の整備
- コンサートホールの整備

産業振興（134件）

- 美術館・映画館の建設
- 親子で、家族で楽しめる施設の充実を
- 室積地域への商店（スーパー）の誘致
- 科学館やプラネタリウムの建設
- 水族館の建設
- 島田地区に多種の店舗が出来るようになれば、買物客の市外への流出を防げる
- 若者が集う施設を建設し、それを核として商業地区の発展を
- 車の無い人が近くで買い物できる施設の誘致
- スポーツや憩いの場をまちの中心に
- コンビニエンスストア、本屋の進出（大和地区）
- ショッピングセンターの誘致
- 徒歩や自転車でいけるところへのスーパー、商店の誘致
- 遊ぶところが少ない
- 外食店の誘致
- 島田市の商店街の再開発
- 海水浴場及びキャンプ施設（冠山総合公園）の充実
- 海のレジャーの充実
- 海岸を活かした大リゾート構想
- 観光に付随するレジャー施設の誘致や駅周辺の活性化等により全体的な活性化を
- フィッシングパークから観光船事業
- 各集落ごとに特産品の開発し、見学と買い物が出来るバスツアーの実施
- 自然環境憩いの場所の充実（冠梅園、虹の松原等四季を通じて楽しめるように）
- 虹ヶ浜の開発、スポーツクラブ・レクリエーション設備の設置

・ 休耕田を活用した農業訓練施設を
・ 宿泊施設の充実
・ 風光明媚、史跡もあり活用次第では素晴らしい観光地になる
・ 「光」という市名を生かした観光資源の発掘・整備
・ 虹ヶ浜・室積の海水浴場のＰＲ
・ 茶臼山の整備・利用
・ 四季を通じてのリゾート地の整備
・ 光市観光大使、出身者を任命し、市・県外へのＰＲ
・ コバルトラインを拡幅し、観光ルートの充実
・ 梅のまちとしてのＰＲ（苗木を各家庭に配布、漬物・果実酒・料理などの開発等）
・ 道の駅の整備
・ 光エリアで休養できるスペース、空間づくり
・ 観光スポットの整備・管理
・ ＰＲ活動費を増額してでも、積極的な企業誘致
・ 島田川の水を利用した企業の誘致
・ 若者の働く場の確保
・ シルバーセンターを活用した雇用の促進
・ 新規卒業者の完全雇用
・ 農林漁業、畜産企業誘致に力を入れて欲しい
・ 優良企業の誘致
・ 海産物（ハモ）などもっと活用した産業、まちおこしを

行政運営（１２２件）

・ 予算を効率よく活用したまちづくり
・ 職員給与の改善
・ 税金の無駄づかい
・ 社会保障費への税金の使用
・ 市立病院を統合し、将来的に民間委託する
・ ごみ収集事業の民間委託
・ 不要な公共工事削減
・ 経費削減、人員削減により、小さな市役所の実現
・ 子どもや孫の世代に借金を残さないようにするため、直ちに財政の健全化を
・ 増税への不安
・ 財務体質を改善
・ 教育･福祉サービスに重きを置き、その他は市民のボランティアを活用し財政の健全化を
・ ケーブルテレビを活用し交通情報・災害情報をすばやく流せるように
・ 新しい取り組みなどについての広報内容の充実
・ 職員の窓口対応の改善
・ 図書館の開館時間の延長、ごみ収集等、休日にも業務をして欲しい

・ 公共施設（公民館、体育館等）の休館日を無くして欲しい
・ クリーン光大作戦のように皆で呼びかけあって行うことは大切だと思う
・ 市役所職員との対話の機会が欲しい
・ 年に１度くらい、市長･部長と共に公民館単位での懇談会を
・ このアンケートを十分に活用して欲しい
・ 市民の側から意見を発信できる場の充実
・ 行政改革の推進
・ 支所、出張所機能の充実
・ 相談窓口の充実
・ 市広報への提言用紙をつけて欲しい
・ 情報発信を積極的に
・ 市民の提案、相談等積極的に解決への対応を
・ 既存の政策、設備等について考えることも良いと思う
・ 通勤手当の改善
・ 各部署ごとでなく、市全体を考え、プロジェクト作りを推進
・ 開かれた市役所を軸に、各分野で民間に溶け込むように
・ 美辞麗句を多用した計画は無いほうがいい
・ 公務員の合理化
・ 不用な土地の有効活用
・ 市のみならず、広域・県・国レベルを超えてよりグローバルな視点からの対応
・ 市の業務の民営化
・ 議員定数の削減
・ 議員報酬の削減

環境対策（１１２件）

・ 路上駐車の取り締まり強化
・ ペットのマナー向上
・ ポイ捨て禁止条例のＰＲ、徹底
・ 公園等の植栽の市民管理制度の導入
・ 海岸のゴミの撤去・マナーアップ
・ 多くの市民が行き交う沿線への花壇の設置「メンタル面の憩いの場」
・ 道路の草刈の通年実施
・ 生活道路、街路樹等生活環境の整備
・ 歩きやすい環境の整備
・ 花がいつも咲いているまちづくり
・ クリーン光大作戦の充実
・ 緑を子どもたちのために残してやりたい
・ 海岸松林の保護、育成
・ 自然環境を大切にしたまちづくりの推進

・ 恵まれた自然環境を大切にすること
・ 山は雑木林や竹林となり荒れており、仕事の無い人を雇って少しずつきれいにならないか
・ 他市には無いすばらしい美しい海岸線を生かして欲しい
・ 公共施設を作るたびに自然が失われている気がする
・ 椿の森づくり（営農放棄された農地を活用）
・ 公園、森林、緑地、遊歩道等が一体となった、人が自然にとけ込める空間づくり
・ ゴミの減量化を図るため、不燃物を焼却できる施設の整備
・ ごみ収集日の改善
・ １枚のゴミ袋でも増やさぬようもっと真剣にごみ減量に努めて欲しい
・ ゴミの減量化とリサイクルの推進

福祉・保健・医療（102件）

・ 病後児保育の充実
・ 乳幼児医療費助成制度の見直し（所得制限の撤廃）
・ 保育料の２人目からの無料化
・ 中学生・高校生に対する支援
・ 保育園・医療機関が連携し、子どもが病気でも安心して働ける環境づくり
・ おっぱい都市としての子育て支援
・ 環境だけでなく金銭面の支援を
・ 災害等、緊急時の連絡体制の確保
・ 高齢者が元気で過ごすための場所の提供
・ 独居老人健康確認システムの充実
・ 高就労事業の継続
・ 高齢者のいる中高年家庭への支援
・ 介護保険に頼らない、健康な老人の多いまちづくりを
・ 市で独自のヘルパー養成に力を入れ、市民が互助会を結成し、1 人でも安心して住めるまちへ
・ 団塊世代の退職にあたり、家庭に閉じこもらず、経験を社会に還元する仕組みづくり
・ 有能な医師の確保
・ ２つの市立病院体制の維持
・ 診療内容の充実
・ 病院での待機時間の解消
・ 高齢者医療費の減免
・ 高齢者が安心して老後を過ごせる施設の整備
・ 三島温泉を活用し、健康器具等の使用が出来る施設の整備
・ 老人ホームの不足
・ 療養タイプの特別養護老人ホームの新設

- 休日、夜間も利用でき、いつでも対応してもらえる医療施設
- 高齢者の住環境の充実
- 介護家族の負担軽減
- ホスピス、グループホームの充実
- 介護認定を受けられない高齢者のための施設整備
- 高齢者・障害者等利用できる市民プールの整備

活性化対策（62件）

- 光駅前から「なぎさへの道」を活用し、年数回イベントの開催
- サイクリングレースなど、全国的にもユニークなイベントの開催
- 海などの自慢できるものを活用したイベントの開催
- スポーツイベント（ミニトライアスロン等）の開催
- 旧市町で開催されていたイベントの集約・大規模化
- 若者が積極的にかつ中心的に参加できるような工夫を
- 月１回の光市の祭りの開催
- 交流行事の開催
- 冬時期の目玉イベントの開催
- 虹ヶ浜のライトアップに次ぐイベントの開催を
- 穏やかな自然の豊かなまちづくりに徹しては
- 人づくりが活力あるまちづくりへ、市民から盛り上がるアイディアを
- 花火大会に対する意見
- 地区運動会等、皆が協力して盛り上げを
- 子どもから高齢者まで幅広く交流できるような企画の実施
- 参加者の少ない行事の整理
- 他市にはない自然を使った「静と動が共存しあうまち」へ
- 空き店舗等活用し、アイデアをもつ若い人へ貸し出し、活気あるまちづくりを
- 中心となるところがない
- 光駅前の活性化
- 市民の心の豊かさをアピールする場
- 商業看板等、美観を損なわないような規制
- 美観を損なう、草や立看板を取り除く
- 島田川の景観保存
- 電柱埋設の推進
- 国道（歩道）の草の繁茂

市民参加・協働（45件）

- クリーン光大作戦のように、皆で呼びかけあって協力し合うこと
- ボランティアの育成
- まちを自分たちで作り上げるものとして、常に市政等へ目を向けるべき

- 一人ひとりの力が反映できるようにコミュニティリーダーを育てる
- 河川や道路の維持管理のためのボランティア制度の創設
- 皆が協力し、知恵を出し合うことでの、まちづくりへの参加
- 官民一体となったまちづくり
- 観光絵葉書を市民参加で作ってみては
- 健康な高齢者の知恵と経験を活用した様々な分野での参画
- 行政へのＮＰＯ、ボランティアの参画
- 市民が住みよいと感じる市政を望み、自らも努力したい
- 市民によって美しい環境（人・自然・食）が保たれるように
- 市民一体となり、若者が集まるイベントの実施
- 商業施設と、ＮＰＯや青少年、高齢者活動などの交流センターなどの複合施設の整備
- 多くのボランティアが動きやすい、参加しやすいシステムづくり
- 地域住民の子どもへの声かけ
- 定年退職者のボランティアでの活用、事業アイデアの発掘
- 転居してきた人が参加しやすい自治会活動づくり
- 美しい自然を守るための住民一人ひとりの自覚し守っていくこと
- 目標達成に向け全体活動の段階から市民の参画を求めるべき

教育・文化（43件）

- 高等学校の統合
- あいさつの行き交うまちづくり
- 情報が氾濫する社会の中で大人が見守り、子どもが地域で育つまちへ
- 学校給食の充実
- 野球場の充実
- マリンスポーツの施設整備
- 自然を生かした文化振興
- 展覧会・音楽会の充実
- 文化・伝統の継承
- 子どもたちへの道徳教育、あいさつ運動を
- 学童保育の充実（長期休暇・振替休日等に限ってでも）
- コミュニケーションや心の教育に力を入れる
- 健全な青少年の育成の前に、健全な家庭環境づくり
- すべてのものを大切にする心を育てる
- 学校でも環境問題を
- 個人でも気軽に利用できるスポーツ施設の整備
- 子どものスポーツクラブの充実
- 豊かに生活するための文化の充実
- 光市の歴史・文化に力を

安全・防災対策（41件）

- 駅の跨線橋をスロープ化
- 河川災害の早期対策をスーパーへの車椅子の設置
- 街灯の設置
- 災害時の避難路の整備
- 学校の警備面の強化
- 観光マップの中への避難場所の記載
- 災害時に混乱しないように充実を
- 住宅街の路上駐車による迷惑
- 植樹帯の設置により、歩道の狭隘化
- 大規模な行事の際の信号の対応
- 通学路等子どもたちの安全道路の見直し
- 島田川の堤の整備、浚渫
- 道路側に敷設している電柱の反対側への立替
- 不審人物への対策
- 歩道の拡幅、段差解消

その他（27件）

- 合併により小さいところまで気が回せなくなるのか
- 合併して不便になったという不満の声がある
- 現時点では支所があるが、その後についての不安
- 広域合併の推進（田布施との合併）
- 人と人のつながりを大切にしたまちづくり
- 市内での地域間交流の促進・住みやすい宅地の提供
- 子どもたちが将来光に帰りたいと思うまちに
- 若年層の流出対策を
- インターネットを活用した、市と個人とがやりとりできる仕組みづくり
- 合併時に表明された理念の実現を
- 広く生まれ変わった市の隅々の地域まで市政の目を
- 上関原発問題を上関だけの問題として捉えないように
- 様々な会合への女性の参画を促す

Ⅲ．出身者アンケートの結果

１．回答者の属性 77
２．今後の居住意向について 79
３．情報提供について 86
４．光市のイメージについて 87
５．まちづくりの提言について 91
６．光市民への自由意見 93

Ⅲ. 出身者アンケートの結果

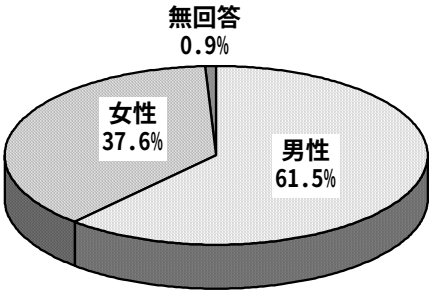
１．回答者の属性

男性が 61.5%、女性が 37.6%の回答となっています。

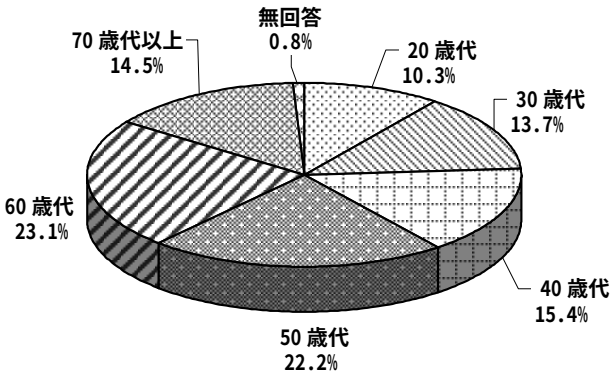
各年代において、10%～20%程度の回答となっています。

光市に住んでいた期間は 5 年以上 20 年未満の方が 70.1%、転出されてからの期間は 20 年以上の方が 70.1%となっています。

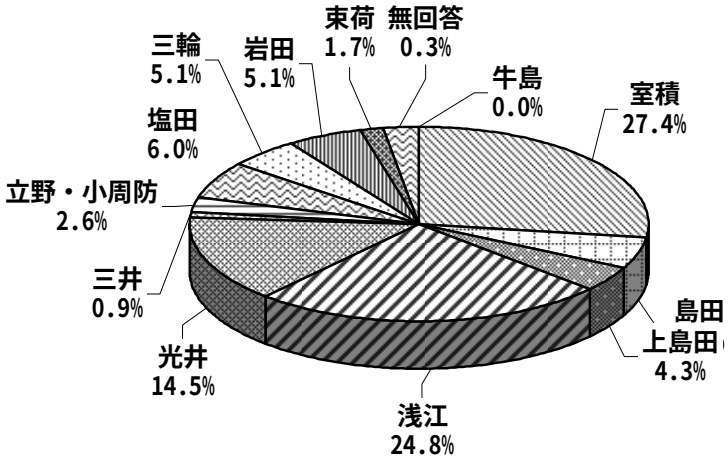
①回答者の性別



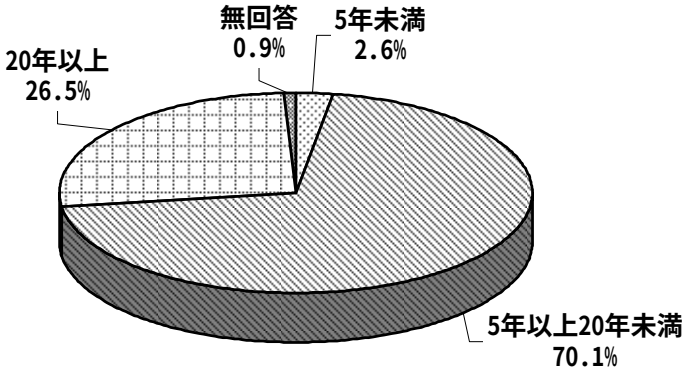
②回答者の年齢



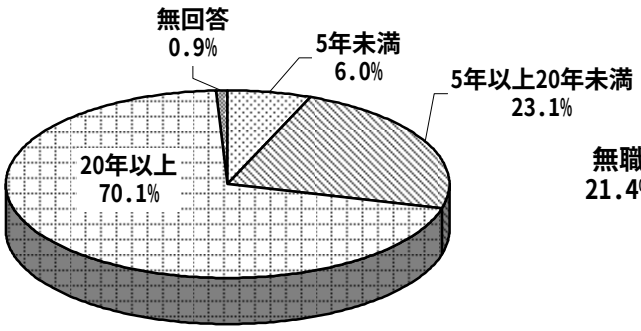
③回答者の出身地区



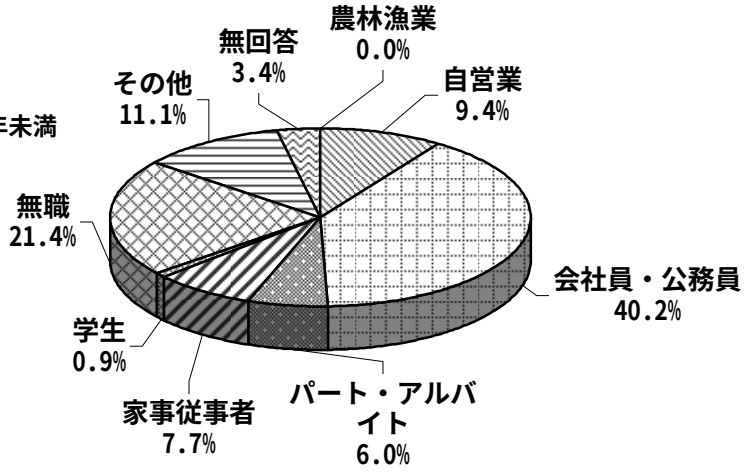
④光市に住んでいた期間



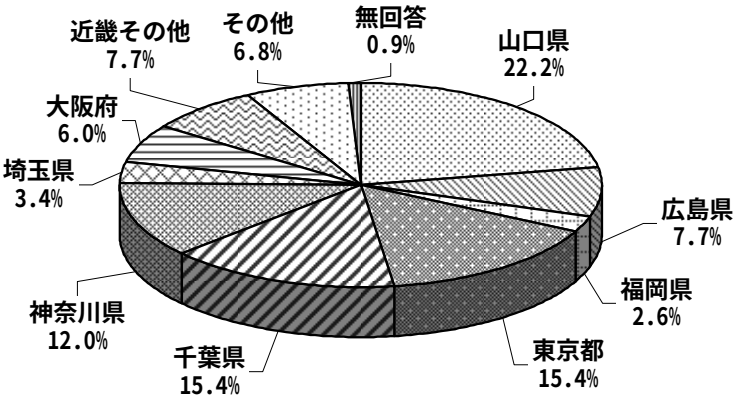
⑤転出されてからの期間



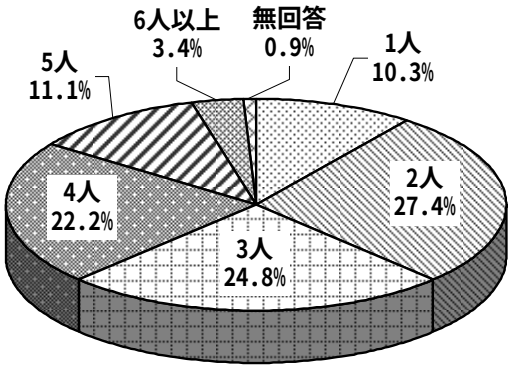
⑥回答者の職業



⑦現在の所在地



⑧世帯人数



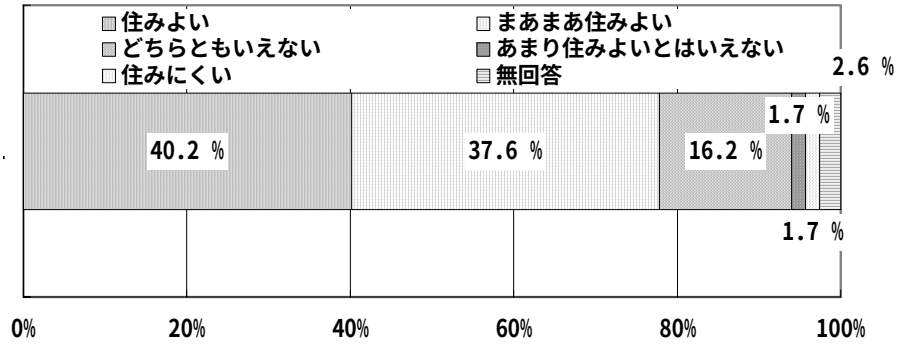
２．今後の居住意向について

（１）光市の住みよさ

光市の住みよさについて、「住みよい」「まあまあ住みよい」の回答が 77.8%となっています。

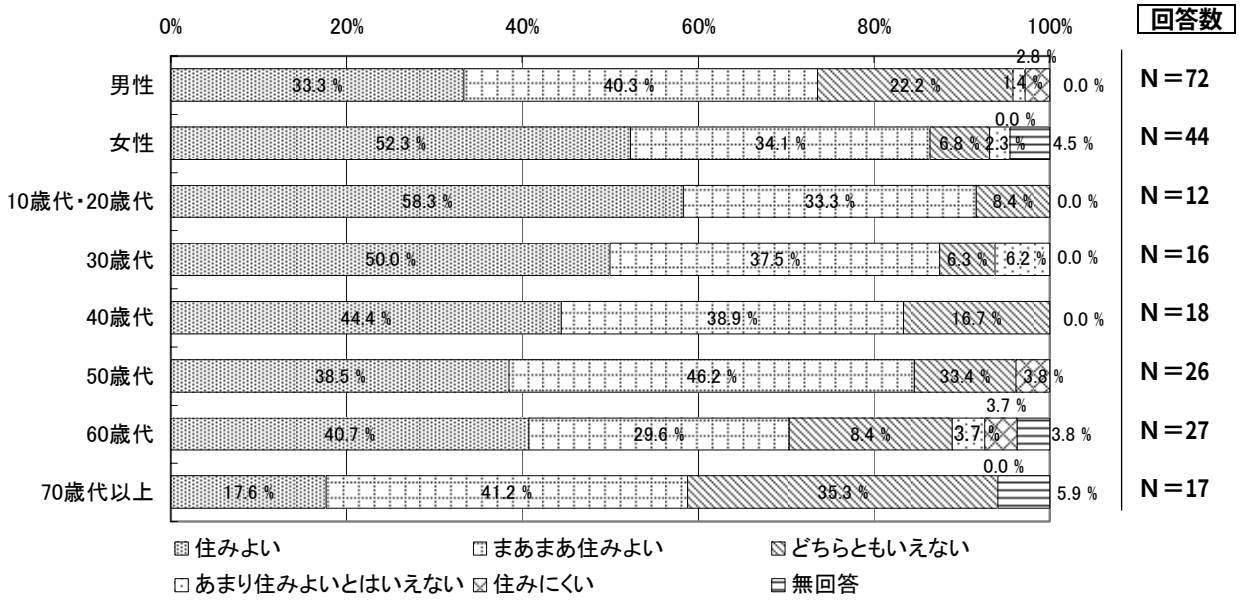
年齢別でみると、特に若年層で住みよいと感じている方が多く、10 歳代・20 歳代で 91.6%、30 歳代で 87.5%が「住みよい」「まあまあ住みよい」の回答となっています。

①全体



合計	住みよい	まあまあ住みよい	どちらともいえない	あまり住みよいとはいえない	住みにくい	無回答
117	47	44	19	2	2	3
100.0 %	40.2 %	37.6 %	16.2 %	1.7 %	1.7 %	2.6 %

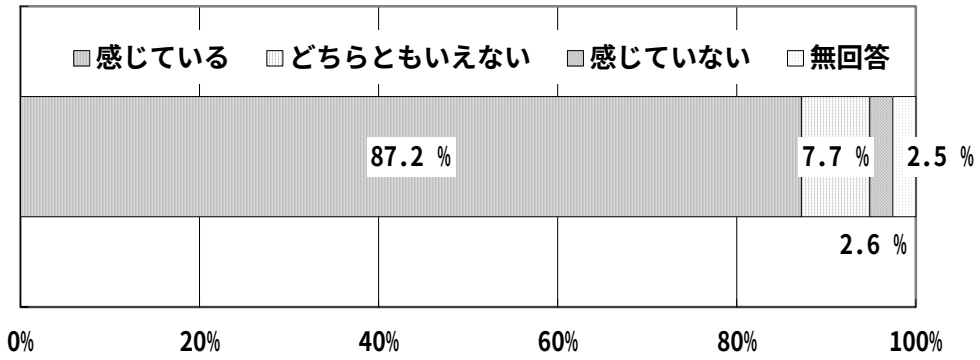
②属性別



（2）「自分のまち」としての愛着感

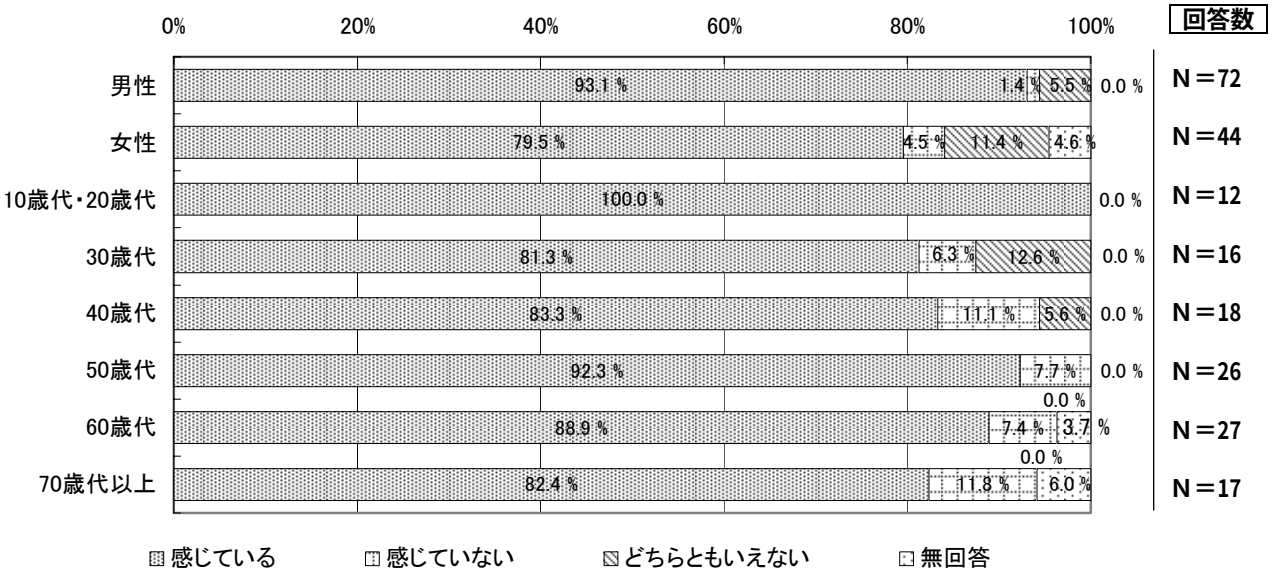
「自分のまちとしての愛着感」は、全体の 87.2%の方が「感じている」と回答しています。
特に、男性や 50 歳代、60 歳代で、愛着感を感じている方が多くなっています。

①全体



合計	感じている	どちらともいえない	感じていない	無回答
117	102	9	3	3
100.0 %	87.2 %	7.7 %	2.6 %	2.5 %

②属性別

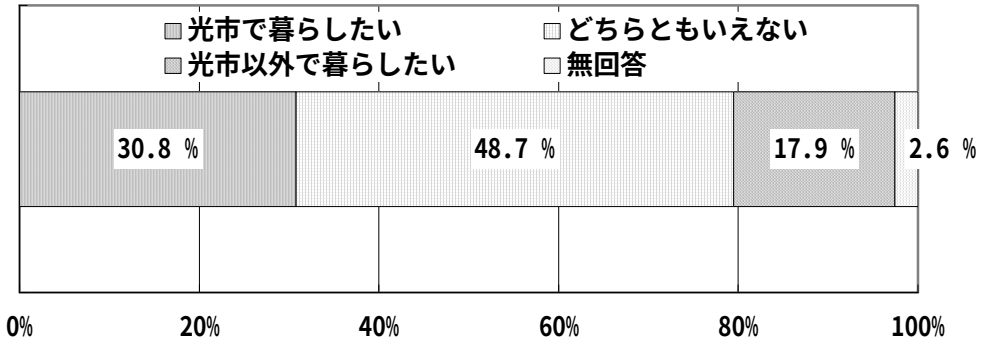


（3）将来の居住意向

将来の居住意向について、「光市で暮らしたい」という回答は全体の 30.8%、「光市以外で暮らしたい」という回答は全体の 17.9%となっています。

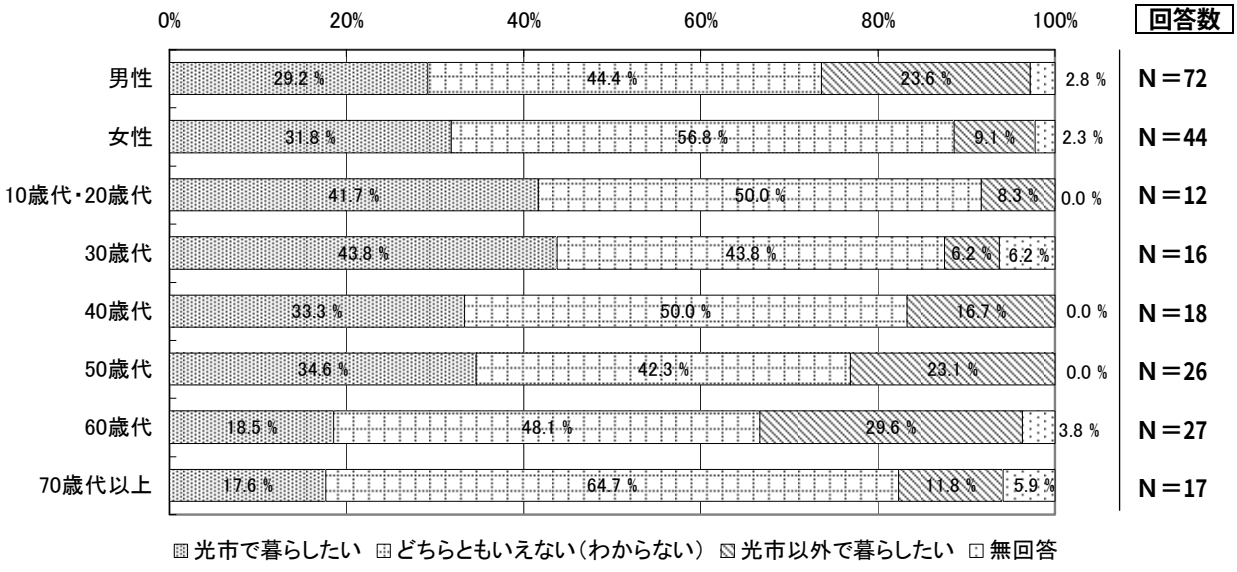
年齢別にみると、若年層において「光市で暮らしたい」という意向が高くなっています。

①全体



合計	光市で暮らしたい	どちらともいえない	光市以外で暮らしたい	無回答
117	36	57	21	3
100.0 %	30.8 %	48.7 %	17.9 %	2.6 %

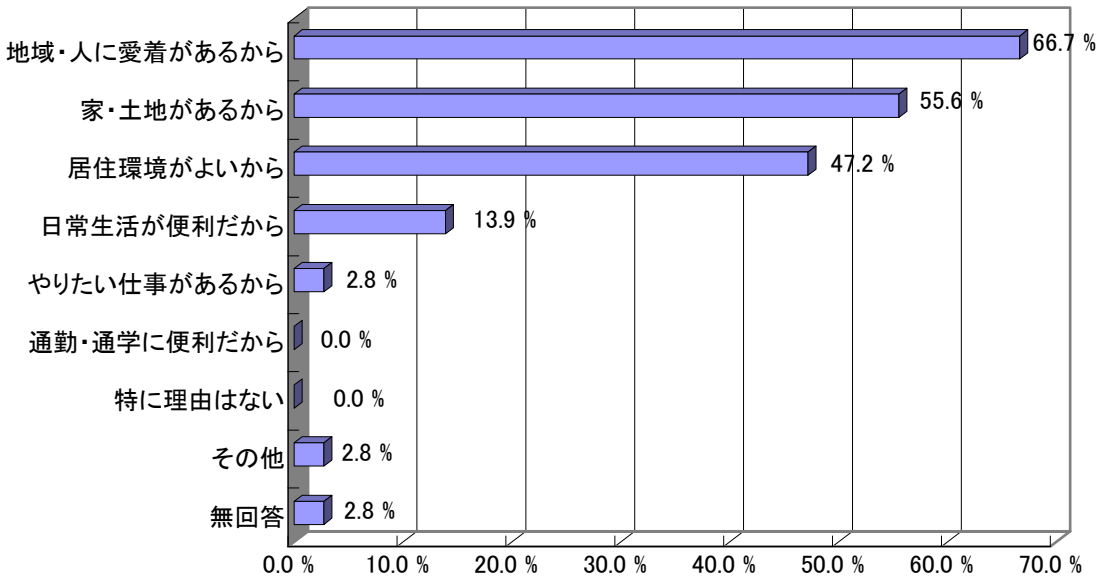
②属性別



（４）光市で暮らしたい理由（※（３）で「光市で暮らしたい」と回答した方のみ回答）

光市で暮らしたい理由としては、「地域・人に愛着があるから（66.7%）」が最も多く、次いで「家・土地があるから（55.6%）」「居住環境がよいから（47.2%）」などとなっています。

①全体



合計	地域・人に愛着があるから	家・土地があるから	居住環境がよいから	日常生活が便利だから
36	24	20	17	5
100.0 %	66.7 %	55.6 %	47.2 %	13.9 %

やりたい仕事があるから	通勤・通学に便利だから	特に理由はない	その他	無回答
1	0	0	1	1
2.8 %	0.0 %	0.0 %	2.8 %	2.8 %

※複数回答

②属性別

	合計	地域・人に愛着があるから	家・土地があるから	居住環境がよいから	日常生活が便利だから
男性	21	13	14	9	2
	100.0 %	61.9 %	66.7 %	42.9 %	9.5 %
女性	14	10	5	8	3
	100.0 %	71.4 %	35.7 %	57.1 %	21.4 %
10歳代 20歳代	5	4	0	2	1
	100.0 %	80.0 %	0.0 %	40.0 %	20.0 %
30歳代	7	5	3	5	2
	100.0 %	71.4 %	42.9 %	71.4 %	28.6 %
40歳代	6	2	5	2	0
	100.0 %	33.3 %	83.3 %	33.3 %	0.0 %
50歳代	9	6	7	5	2
	100.0 %	66.7 %	77.8 %	55.6 %	22.2 %
60歳代	5	5	2	3	0
	100.0 %	100.0 %	40.0 %	60.0 %	0.0 %
70歳代 以上	3	1	2	0	0
	100.0 %	33.3 %	66.7 %	0.0 %	0.0 %

	やりたい仕事があるから	通勤・通学に便利だから	特に理由はない	その他	無回答
男性	1	0	0	1	1
	4.8 %	0.0 %	0.0 %	4.8 %	4.8 %
女性	0	0	0	0	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
10歳代 20歳代	0	0	0	0	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
30歳代	0	0	0	0	1
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	14.3 %
40歳代	0	0	0	0	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
50歳代	1	0	0	1	0
	11.1 %	0.0 %	0.0 %	11.1 %	0.0 %
60歳代	0	0	0	0	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
70歳代 以上	0	0	0	0	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %

※複数回答

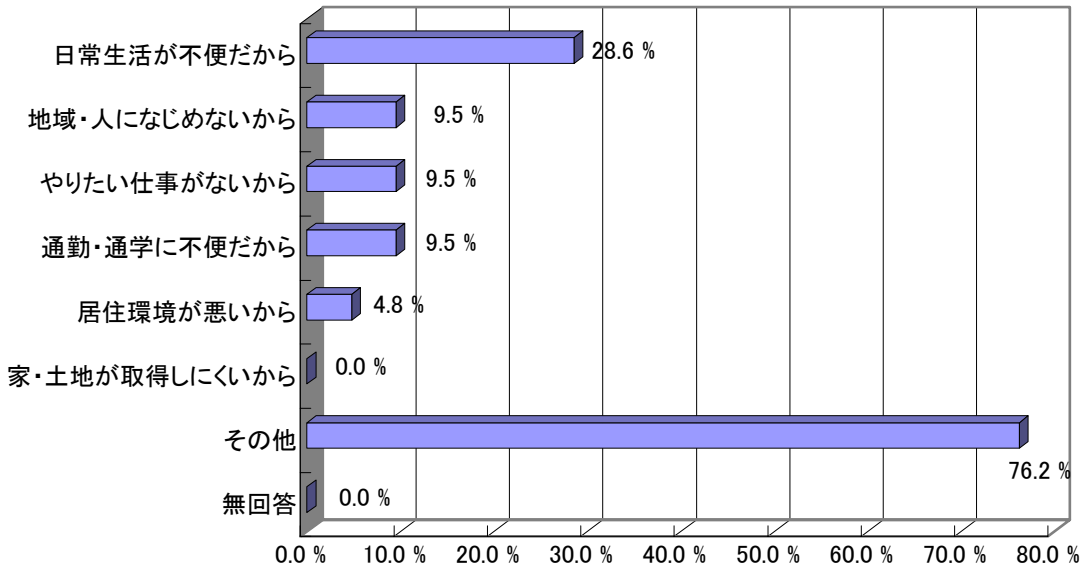
（５）光市以外で暮らしたい理由（※（３）で「光市以外で暮らしたい」と回答した方のみ回答）

光市以外で暮らしたい理由としては、「日常生活が不便だから」という回答が 28.6%と多くなっています。

また、「その他」の回答は 76.2%ですが、この内訳としては、現在の居住地に家・土地があることや、自分の子どもたちの近くに住みたいことなどを理由に、「現在の居住地に住み続けたいから」との回答が 66.7%、それ以外の回答が 9.5%となっています。

、

①全体



合計	日常生活が不便だから	地域・人になじめないから	やりたい仕事がないから	通勤・通学に不便だから
21	6	2	2	2
100.0 %	28.6 %	9.5 %	9.5 %	9.5 %

居住環境が悪いから	家・土地が取得しにくいから	その他	無回答
1	0	16	0
4.8 %	0.0 %	76.2 %	0.0 %

※複数回答

②属性別

	合計	日常生活が不便だから	地域・人になじめないから	やりたい仕事がないから	通勤・通学に不便だから
男性	17	4	2	2	2
	100.0 %	23.5 %	11.8 %	11.8 %	11.8 %
女性	4	2	0	0	0
	100.0 %	50.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
10歳代 20歳代	1	1	0	0	1
	100.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
30歳代	1	1	0	0	0
	100.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
40歳代	3	1	0	0	1
	100.0 %	33.3 %	0.0 %	0.0 %	33.3 %
50歳代	6	1	1	1	0
	100.0 %	16.7 %	16.7 %	16.7 %	0.0 %
60歳代	8	1	0	1	0
	100.0 %	12.5 %	0.0 %	12.5 %	0.0 %
70歳代 以上	2	1	1	0	0
	100.0 %	50.0 %	50.0 %	0.0 %	0.0 %

	居住環境が悪いから	家・土地が取得しにくいから	その他	無回答
男性	1	0	13	0
	5.9 %	0.0 %	76.5 %	0.0 %
女性	0	0	3	0
	0.0 %	0.0 %	75.0 %	0.0 %
10歳代 20歳代	0	0	0	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
30歳代	0	0	0	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
40歳代	0	0	2	0
	0.0 %	0.0 %	66.7 %	0.0 %
50歳代	1	0	5	0
	16.7 %	0.0 %	83.3 %	0.0 %
60歳代	0	0	7	0
	0.0 %	0.0 %	87.5 %	0.0 %
70歳代 以上	0	0	2	0
	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %

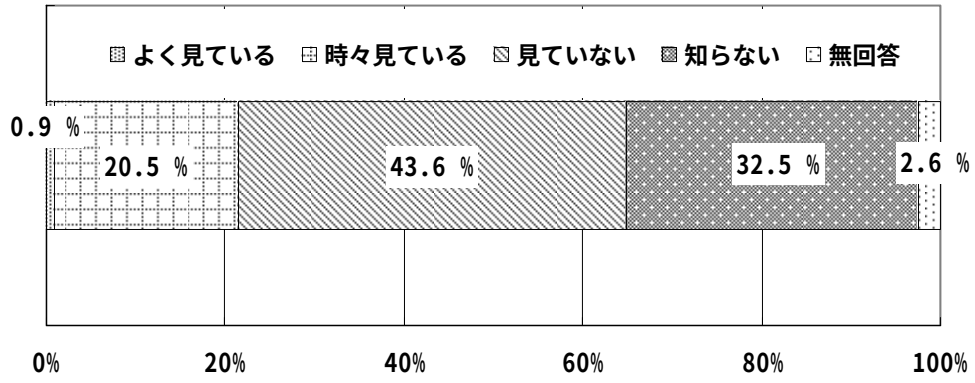
※複数回答

３．情報提供について

（１）光市のホームページについて

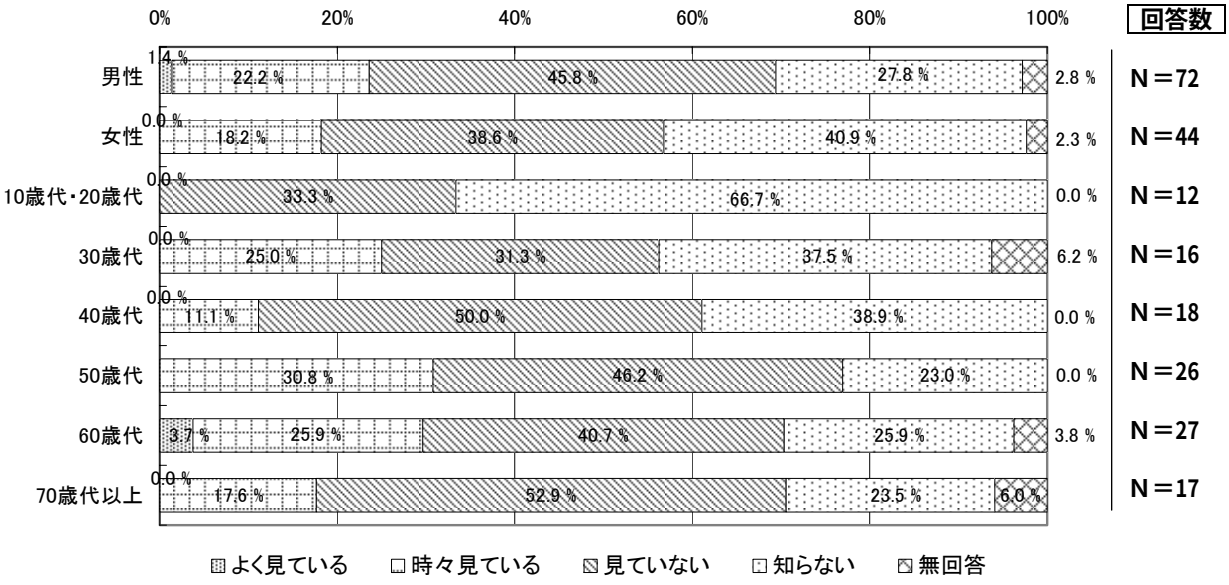
光市のホームページについて、見ている方は 21.4%となっており、「見ていない」「知らない」の回答が全体の 76.1%を占めています。

①全体



合計	よく見ている	時々見ている	見ていない	知らない	無回答
117	1	24	51	38	3
100.0 %	0.9 %	20.5 %	43.6 %	32.5 %	2.5 %

②属性別

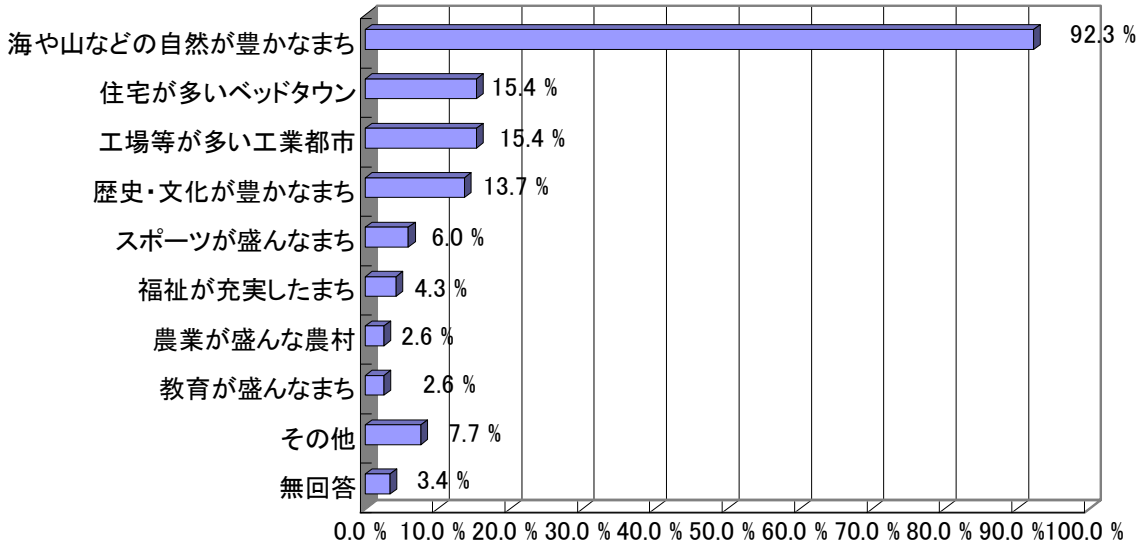


４．光市のイメージについて

（１）光市のイメージ

光市のイメージとして、「海や山などの自然が豊かなまち」という回答が 92.3%と最も多くなっています。

①全体



合計	海や山などの自然が豊かなまち	住宅が多いベッドタウン	工場等が多い工業都市	歴史・文化が豊かなまち	スポーツが盛んなまち
117	108	18	18	16	7
100.0 %	92.3 %	15.4 %	15.4 %	13.7 %	6.0 %

福祉が充実したまち	農業が盛んな農村	教育が盛んなまち	その他	無回答
5	3	3	9	4
4.3 %	2.6 %	2.6 %	7.7 %	3.4 %

※複数回答

②属性別

	合計	海や山などの自然が豊かなまち	住宅が多いベッドタウン	工場等が多い工業都市	歴史・文化が豊かなまち	スポーツが盛んなまち
男性	72	66	15	10	9	4
	100.0 %	91.7 %	20.8 %	13.9 %	12.5 %	5.6 %
女性	44	41	3	8	7	3
	100.0 %	93.2 %	6.8 %	18.2 %	15.9 %	6.8 %
10歳代 20歳代	12	11	0	3	0	1
	100.0 %	91.7 %	0.0 %	25.0 %	0.0 %	8.3 %
30歳代	16	14	4	2	1	0
	100.0 %	87.5 %	25.0 %	12.5 %	6.3 %	0.0 %
40歳代	18	17	4	1	2	0
	100.0 %	94.4 %	22.2 %	5.6 %	11.1 %	0.0 %
50歳代	26	25	8	4	5	1
	100.0 %	96.2 %	30.8 %	15.4 %	19.2 %	3.8 %
60歳代	27	25	0	4	6	3
	100.0 %	92.6 %	0.0 %	14.8 %	22.2 %	11.1 %
70歳代 以上	17	15	2	4	2	2
	100.0 %	88.2 %	11.8 %	23.5 %	11.8 %	11.8 %

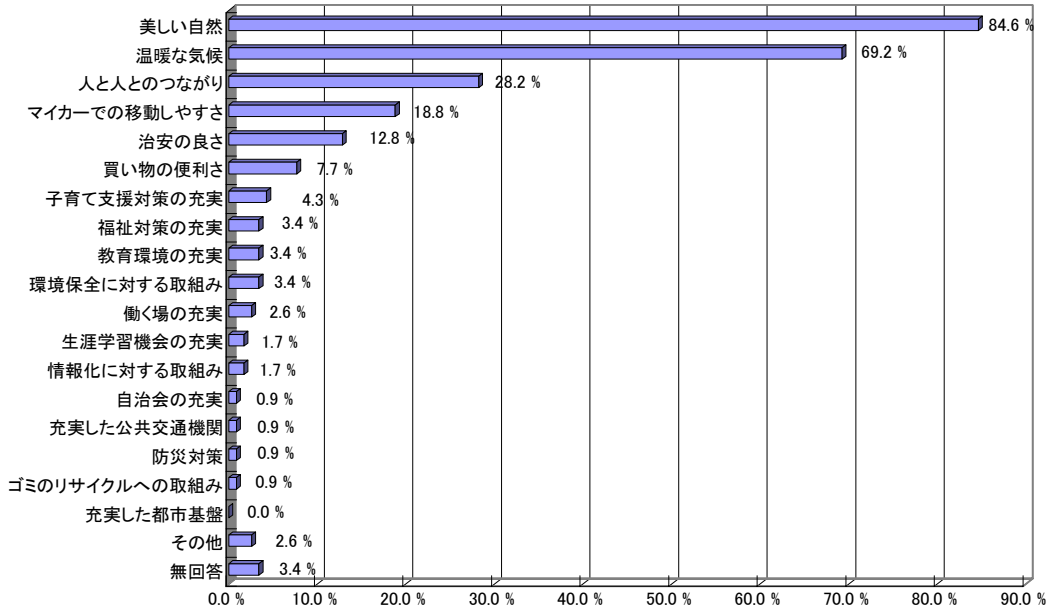
	福祉が充実したまち	農業が盛んな農村	教育が盛んなまち	その他	無回答
男性	2	3	1	2	3
	2.8 %	4.2 %	1.4 %	2.8 %	4.2 %
女性	3	0	2	7	1
	6.8 %	0.0 %	4.5 %	15.9 %	2.3 %
10歳代 20歳代	2	1	0	2	0
	16.7 %	8.3 %	0.0 %	16.7 %	0.0 %
30歳代	1	1	0	2	1
	6.3 %	6.3 %	0.0 %	12.5 %	6.3 %
40歳代	0	1	1	3	0
	0.0 %	5.6 %	5.6 %	16.7 %	0.0 %
50歳代	0	0	0	1	1
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	3.8 %	3.8 %
60歳代	2	0	1	1	1
	7.4 %	0.0 %	3.7 %	3.7 %	3.7 %
70歳代 以上	0	0	1	0	1
	0.0 %	0.0 %	5.9 %	0.0 %	5.9 %

※複数回答

（2）光市が自慢できるもの

光市が自慢できるものとして、「美しい自然（84.6%）」「温暖な気候（69.2%）」が多くなっています。次いで「人と人とのつながり（28.2%）」となっています。

①全体



合計	美しい自然	温暖な気候	人と人とのつながり	マイカーでの移動しやすさ	治安の良さ
117	99	81	33	22	15
100.0 %	84.6 %	69.2 %	28.2 %	18.8 %	12.8 %

買い物の便利さ	子育て支援対策の充実	福祉対策の充実	教育環境の充実	環境保全に対する取組み
9	5	4	4	4
7.7 %	4.3 %	3.4 %	3.4 %	3.4 %

働く場の充実	生涯学習機会の充実	情報化に対する取組み	自治会等の充実	充実した公共交通機関
3	2	2	1	1
2.6 %	1.7 %	1.7 %	0.9 %	0.9 %

防災対策	ゴミのリサイクルへの取組み	充実した都市基盤	その他	無回答
1	1	0	3	4
0.9 %	0.9 %	0.0 %	2.6 %	3.4 %

※複数回答

②属性別

	合計	温暖な気候	美しい自然	人と人とのつながり	マイカーでの移動しやすさ	治安の良さ	買い物の便利さ	子育て支援対策の充実	福祉対策の充実	教育環境の充実	環境保全に対する取組み
男性	72	56	63	20	15	5	3	0	3	1	2
	100.0 %	77.8 %	87.5 %	27.8 %	20.8 %	6.9 %	4.2 %	0.0 %	4.2 %	1.4 %	2.8 %
女性	44	25	35	13	7	10	6	5	1	3	2
	100.0 %	56.8 %	79.5 %	29.5 %	15.9 %	22.7 %	13.6 %	11.4 %	2.3 %	6.8 %	4.5 %
10歳代 20歳代	12	5	10	5	3	5	3	1	0	0	1
	100.0 %	41.7 %	83.3 %	41.7 %	25.0 %	41.7 %	25.0 %	8.3 %	0.0 %	0.0 %	8.3 %
30歳代	16	6	12	2	5	2	3	2	0	1	0
	100.0 %	37.5 %	75.0 %	12.5 %	31.3 %	12.5 %	18.8 %	12.5 %	0.0 %	6.3 %	0.0 %
40歳代	18	13	13	4	6	1	1	0	0	1	1
	100.0 %	72.2 %	72.2 %	22.2 %	33.3 %	5.6 %	5.6 %	0.0 %	0.0 %	5.6 %	5.6 %
50歳代	26	24	25	7	4	4	2	1	1	0	1
	100.0 %	92.3 %	96.2 %	26.9 %	15.4 %	15.4 %	7.7 %	3.8 %	3.8 %	0.0 %	3.8 %
60歳代	27	19	23	8	2	3	0	1	2	1	1
	100.0 %	70.4 %	85.2 %	29.6 %	7.4 %	11.1 %	0.0 %	3.7 %	7.4 %	3.7 %	3.7 %
70歳代 以上	17	14	15	7	2	0	0	0	1	1	0
	100.0 %	82.4 %	88.2 %	41.2 %	11.8 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	5.9 %	5.9 %	0.0 %

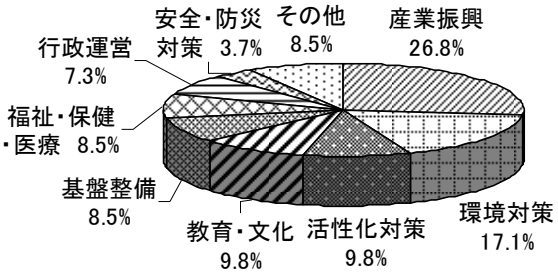
	働く場の充実	生涯学習機会の充実	情報化に対する取組み	自治会の充実	充実した公共交通機関	防災対策	ゴミのリサイクルへの取組み	充実した都市基盤	その他	無回答
男性	2	1	2	0	1	0	0	0	2	2
	2.8 %	1.4 %	2.8 %	0.0 %	1.4 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	2.8 %	2.8 %
女性	1	1	0	1	0	1	1	0	1	2
	2.3 %	2.3 %	0.0 %	2.3 %	0.0 %	2.3 %	2.3 %	0.0 %	2.3 %	4.5 %
10歳代 20歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	8.3 %	0.0 %
30歳代	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1
	6.3 %	0.0 %	6.3 %	6.3 %	6.3 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	6.3 %
40歳代	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	5.6 %	5.6 %	0.0 %	5.6 %	0.0 %
50歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
60歳代	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2
	0.0 %	7.4 %	3.7 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	7.4 %
70歳代 以上	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	11.8 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	5.9 %	5.9 %

※複数回答

５．まちづくりについての提言

光市出身者からのまちづくりについての提言では、７０名の方から延べ８２件に及ぶご意見、ご提言をいただきました。

意見・提言の内容は、「基盤整備（２２件）」、「環境対策（１４件）」、「活性化対策（８件）」、「教育・文化（８件）」、「基盤整備（７件）」、「福祉・保健・医療（７件）」、「行政運営（６件）」、「安全・防災対策（３件）」、「その他（７件）」と多岐にわたっています。



なお、意見・提言の具体的な内容は、次のとおりです。

産業振興（２２件）

- ショッピング街の整備
- 外食レストランの誘致
- 海岸周辺をキャンプ村として整備
- 「市名」と「駅から歩ける海水浴場」をＰＲ
- 海岸を活かした大リゾート構想
- 海をテーマに特化したまちづくり
- 伊藤公記念公園、冠山総合公園、コバルトライン等連結させ、大観光パノラマコースの設定
- 道の駅の整備
- 税制上大胆な優遇策を検討し、企業の誘致
- 地産地消の取り組みの充実
- 特産品を育成しそれを活用したＰＲ

環境対策（１４件）

- 道路沿いの雑草の維持管理
- 自然を残しつつ、きれいなまちづくりの推進
- 国道の両側に常緑樹を植え、樹木の中を通る道をつくること
- 乱開発防止の条例の制定
- 自然環境を大切にしたまちづくりの推進

活性化対策（８件）

- 大きな「祭り」の企画
- まちおこしに力を入れ、全国的にＰＲを
- 海を活用した都市計画

・ 人間の素晴らしい可能性を引き出し、それを原動力としたまちづくり

教育・文化（8件）

・ 中高一貫学校の創設
・ まちづくりだけでなく、人づくりに力を入れるべき
・ マリンスポーツを育てる
・ 人生の質が問われる時代であり、自然環境・文化環境の充実
・ 生きがいとなる文化・趣味なことがあれば

基盤整備（7件）

・ 高齢者のための、バス・交通網の整備
・ 周回バスの運行
・ 医療と商業を中心とした交通網の整備
・ 社会基盤（特に下水道）の充実
・ 三井橋、三島橋の架け替え

福祉・保健・医療（7件）

・ 子育てしやすい環境づくり
・ おっぱい都市など、独自の方向性をもっとアピールすべき
・ 高齢者の働ける場（シルバーセンターなど）の充実
・ 都会からリタイア後にUターンしやすい環境整備
・ 長期滞在型宿舎（ケアハウス）の整備

行政運営（6件）

・ コンピュータカレッジを市民に広く活用させる
・ 図書館の充実（図書冊数、開館時間等）
・ ムダをなくして生産性をあげていく

安全・防災対策（3件）

・ 草刈やガードレールの補修等、安全なまちづくりを
・ ハード・ソフト両面から積極的な防災対策の実施

その他（7件）

・ 放置された社宅・空家等の管理、再生計画
・ 空き家となった昔ながらの家を活用し、若い人が住むように出来れば
・ 元気の出る光市を大切に
・ 将来のまちづくりを、スローガン的に掲げては

６．光市民への自由意見

まちづくりについての提言のほか、併せて「光市民へのメッセージ」として、４４名の方より４８件のメッセージをいただきました。

〈メッセージ〉

- 虹ヶ浜、室積海岸のゴミを取り除き、きれいな海を
- 光市のよさを大事にし、自慢にして欲しい
- これからも楽しいイベント（虹ヶ浜のライトアップ等）を
- 犯罪予防を工夫し、皆さんの積極的な参加を
- 大きな祭り、イベントのあるまちに
- まちをさらに良くしようとするなら、行政に頼ってばかりでなく、様々なアクションを一人ひとりが起こすべき
- 帰ってきたいと思えるようなまち、人であってほしい
- 暑い夏でも木陰を散策できるようなまちづくり
- 自然豊かなまちが自慢できる市だと思う
- 今のままで静かで緑の美しいまちを維持して欲しい
- 幸せなまちであってほしい
- 地域に住んでいる人が、合併してよかったと内外にメッセージを発信することが大事
- 公害のない美しい自然を維持し、定年退職者が帰ってきやすい環境づくりを
- 時間消費型：ゆったりと時間が過ごせる滞在型施設の整備
- これからは「教育」こそが目玉だと思える
- 総花的な市政ではなく、農工業の重点育成や文化活動の活発化、教育水準の向上につとめ、素晴らしい地方都市へ
- 郷土をいつまでも良いまちであるように維持して欲しい
- 陶芸の里の、後継者育成
- ミュージカルなど、様々な活動をしている市民への期待
- 原発建設には反対
- 活力あるまちづくりへの期待
- 歩く場所（遊歩道等）を大切にし、市民の歩けるまちとしての光を残して欲しい
- 今時分に何が出来るかを問い、自己啓発し、市民総和のパワーでより良い光市の構築を
- 年に１度光の海を見ることが楽しみ
- ナイター海水浴を盆すぎもやってほしい
- 自然を大切にして共生してほしい
- 何かを作ることをしながら、福祉を大切にしていくことがこれからのまちづくりであり、福祉だけではまちも、国もだめになっていく
- 産業の活性化と環境保全は対立から調和、融合へ変化しつつあり、このテーマの先端を走るまちであってほしい

〈ふるさとへの想い〉

- 光市の本当の良さは光市を離れてからわかってきます。
- 海と山が美しいまち〈光〉の印象が強い
- 市広報を楽しく見させてもらっています
- 「光」という言葉の響きは、住民の誰もが愛着、誇りを抱いていると思う
- 遠方より光市の発展をお祈りします
- 美しい自然、きれいな海を大切にし、やさしい市民として生活してください
- 市の発展を願っています
- 東京に出て、光市の恵まれた自然を理解した。自然まみれの少年時代を
- 特に若い人は、不要なしきたりは切り捨てて新しい世界に出て活躍を
- 元気の良い国会議員が誕生してくれると希望が沸くと思う
- 自然、歴史、文化の融合したまちは、自然と人の心が豊かになり、その環境で生活できるすばらしさを感じてほしい

Ⅳ．アンケート調査票

１．市民アンケート①調査票 95
２．市民アンケート②調査票 103
３．出身者アンケート調査票 113

＜光市総合計画の策定に向けた市民アンケート＞

あなたの声をお聞かせください

調査のお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年 10 月 4 日、光市と大和町の合併により、新「光市」が誕生し、新しいまちづくりの指針となる「光市総合計画」を策定することになりました。

この調査は、市民の皆様が日ごろ感じておられることをお聞きし、新しい計画づくりに役立てるために行うものです。18 歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出した方を対象に、無記名回答方式で実施します。集計結果は公表させていただく予定ですが、個人に関わる情報が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

平成１７年８月

光 市

ご記入にあたってのお願い

- この調査に、**封筒の宛名の方が答えられない場合、ご家族の方がお答え下さい。**
- ご回答は設問ごとの指示に従い、番号に○印をつけてください。設問によって○印をつける数が異なりますので、間違えないようにご注意ください。
- この調査票は、同封しました返信用の封筒に入れ、**８月２３日（火）まで**にご投函ください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

＜連絡先＞

政策企画部企画調整課　担当　邊見(へんみ)、秋山(あきやま)
TEL：０８３３-７２-１４００(代表)　FAX：０８３３-７２-１４３６

1　総合計画ってなに？

総合計画は、市町村が総合的かつ計画的な行政運営のために、地方自治法に基づいて作成するもので、それぞれの市町村における様々な計画の最上位の計画になります。

新しい光市総合計画は、合併協議の中で多くの議論をいただいて策定した新市建設計画を継承しつつ、社会経済情勢の変化や市政の課題、市民ニーズに的確に対応しつつ、今後のまちづくりの目標や、その実現のための施策の基本的な方向などを明らかにするもので、これからのまちづくりや都市経営を進めるための指針となるものです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　ここからが設問です　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2　あなた(回答者)ご自身について

設問１　あなたの性別は？

1．男性　　2．女性

設問２　あなたの年齢は？

1．１０代　　2．２０代　　3．３０代　　4．４０代
5．５０代　　6．６０代　　7．７０代以上

設問３　あなたがお住まいの地区はどこですか？

1．牛島　　2．室積　　3．島田　　4．上島田
5．浅江　　6．光井　　7．三井　　8．立野・小周防
9．塩田　　10．三輪　　11．岩田　　12．束荷

設問４　あなたは光市(旧２市町含む)に住んで、通算何年になりますか？

1．５年未満　　2．５年以上 20 年未満　　3．20 年以上

設問５ あなたの職業は？ **＜１つだけに○印＞** **※兼業の方は収入の多い方に○印**

1．農林漁業　2．自営業　3．会社員・公務員
4．パート・アルバイト　5．家事従事者　6．学生
7．無職　8．その他（　　）

設問６ あなたの通勤・通学先はどこですか？ **＜１つだけに○印＞**

1．光市内（自宅含む）　2．下松市　3．周南市
4．柳井市　5．田布施町　6．平生町
7．その他（　　）　8．通勤・通学していない

設問７ 日常的な買い物の行き先はどこですか？ **＜２つまでに○印＞**

1．光市内　2．下松市　3．周南市
4．柳井市　5．田布施町　6．平生町
7．その他（　　）

設問８ 世帯人数(あなたを含めて一緒に生活している人数)は何人ですか？

１人　２人　３人　４人　５人　６人以上

設問９ 現在の住居(あなたの住まいは次のどれにあたりますか？

1．自家(家族の持ち家含む)　2．借家(アパート含む)　3．間借
4．公営住宅(市営・県営など)　5．社宅・寮　6．その他（　　）

設問10 市外で暮らしたことがありますか？

1．ある　2．ない

└→ 市外での居住年数を合計すると何年間くらいになりますか

1．３年未満
2．５年以上～20 年未満
3．20 年以上

3　共創・協働のまちづくりについて

■　地域での活動やボランティア、ＮＰＯに参加する市民がだんだんと増えてきています。これからのまちづくりには市民参加が重要だと言われており、こうした市民一人ひとりの取組みが、まちを変えていく大きな力にもなります。市民参加についてのあなたのお考えをお答えください。

《活動分野》

①防災活動	**②防犯活動など犯罪のないまちづくり**	**③子育て支援**
④高齢者の支援	**⑤障害児や障害者の支援**	**⑥健康づくり活動**
⑦ごみの減量化・リサイクル	**⑨自然保護や環境の保全**	**⑧まちの美化・緑化に関する分野**
⑩青少年健全育成	**⑪スポーツ活動への支援**	**⑫文化や芸術への支援**
⑬国際交流・外国人との交流	**⑭レクリエーションへの支援**	**⑮消費生活への支援**
⑯歴史の保存・継承	**⑰その他**	

設問 11　あなたは現在、これらの活動のどれかに参加していますか？

1．参加している　　2．参加していない　　3．参加することができない

★次の設問 12は、**設問１１で「１」と回答した方のみ**お答えください。

設問 12　あなたは現在どのような活動分野に参加していますか。主なものを**５つまで**番号でお答えください。※「①防災活動」の場合は「①」とご記入ください。

					「⑰その他」の場合は活動分野を具体的にご記入ください

設問 13　あなたはこれから、これらの活動分野のどれかに参加したいと思いますか？

1．思う　　2．思わない　　3．参加することができない

★次の設問 14 は、**設問１３で「１」と回答した方のみ**お答えください。

設問 14　あなたはこれからどのような分野の活動に参加したいと思っていますか。主なものを**５つまで**番号でお答えください。※「①防災活動」の場合は「①」とご記入ください。

					「⑰その他」の場合は活動分野を具体的にご記入ください

設問 15 あなたが市民活動に取り組みやすくなるために必要なことは何ですか。

＜３つまでに○印＞

1. 参加する時間の確保
2. ＮＰＯやボランティアの情報
3. 機材や活動資金の確保
4. 活動を一時的に体験できる場や参加する機会の確保
5. 専門家の助言
6. 市民活動の社会的な信用
7. 活動を必要とする人や施設の情報
8. 活動のための事務所や会合の場所の確保
9. 技術、知識、資格を習得するための研修
10. 活動中の事故の補償制度
11. いっしょに活動する仲間の確保
12. 市民活動への職場等の理解
13. その他（具体的に　　）

■ **次にあなたの住む地域での活動についておたずねします。**

設問 16 あなたは、地域の自治会や公民館活動に参加していますか？ **＜１つだけに○印＞**

1. いつも参加している　　2. 時々参加している　　3. 参加していない

★次の設問 17 は、**設問１６で「3」と回答した方のみ**お答えください。

設問 17 地域活動への参加について、日頃どのように感じていますか

＜３つまでに○印＞

1. 忙しく、参加する時間がない
2. 参加したいと思う活動がない
3. 人間関係がわずらわしい
4. 地域や活動の雰囲気になじめない
5. 参加の方法がわからない
6. 活動内容がわからない
7. 興味がない
9. その他（具体的に　　）

4 市政への市民参加について

設問 18 あなたは、市政に関心がありますか？ **＜１つだけに○印＞**

1. たいへん関心がある
2. まあまあ関心がある
3. あまり関心がない
4. まったく関心がない
5. わからない

設問 19 市民の意見がまちづくりに反映されていると思いますか？ **＜１つだけに○印＞**

1. よく反映されている
2. まあまあ反映されている
3. どちらともいえない
4. あまり反映されていない
5. まったく反映されていない
6. わからない

設問 20 あなたが市政に意見を言う機会や手段、方法に満足していますか？**＜１つだけに○印＞**

1. 非常に満足
2. どちらかと言えば満足
3. どちらともいえない
4. どちらかと言えば不満
5. 非常に不満
6. わからない

5 個別の課題・計画について

設問 21 光市の産業振興･雇用拡大のための施策として今後１０年間に特に力を入れるべき分野は何だと思いますか？ **＜２つまでに○印＞**

1. 特産品の開発・販売や振興基盤の整備などによる農林業の振興
2. 先端技術産業など新しい産業の誘致・振興
3. 優れた自然環境や歴史、文化などを活かした観光振興
4. 大型店の誘致や商店街の活性化による商業振興
5. 高速交通網の整備を活かした物流産業の振興
6. 福祉・医療・環境など新しい需要に対応した生活関連産業の振興
7. その他（具体的に　　）

設問 22 あなたのご家族や日常生活のなかでお付き合いのある方などに、高齢者や子どもさんがおられますか**＜あてはまるもの全部に○印＞**

1. 高齢者　　2. 子ども　　３　いずれもいない

設問 23 光市の今後の高齢者福祉施策に関して特に重要だと思うことは何だと思いますか？ **＜２つまでに○印＞**

1. 高齢者の健康管理対策の充実
2. 高齢者の生きがい対策の充実
3. 福祉サービスのメニューの充実
4. 現在介護を行っている家族の負担軽減対策の充実
5. 介護に関する講習会の開催
6. 在宅で安心して生活できる地域のしくみづくり
7. 段差の解消、手すりの設置など、誰もが利用しやすい道路や建物の整備の促進
8. 高齢者のための就労対策の充実
9. 高齢者のための住宅対策の充実
10. ボランティアの育成・活用
11. 相談窓口の充実
12. その他（具体的に　　）

設問 24 現在の光市の子育て支援施策に加えて、さらに子育てのしやすいまちにしていくためには、次のどれが大切だと思いますか。**＜2つまでに○印＞**

1. 地域での子育て支援のしくみの充実
2. 子どもが参加できる行事やイベントの充実
3. ボランティアの育成・活用
4. 子どもがスポーツや芸術に親しむことのできるクラブ組織の充実
5. 子育てに関する相談体制の充実
6. 子どもの社会性を育てる体験活動の推進（施設見学・地域交流体験など）
7. わからない
8. その他（具体的に　　）

設問 25 光市の今後の環境施策に関して特に重要だと思うことは何ですか？

＜2つまでに○印＞

1. 森林や河川、生き物などの自然環境の保全
2. 身近な水辺や緑地の確保
3. 省エネルギー、自然エネルギーの利用促進
4. 大気汚染や水質汚濁などの指導体制の強化
5. リサイクルやごみ分別体制の維持強化
6. 不法投棄防止体制の強化
7. 工場や商店などの環境に配慮した取り組みの促進
8. 環境教育･学習の推進
9. 環境保護団体等の育成
10. 環境に関する情報提供や広報活動の充実
11. その他（具体的に　　）

設問 26 光市の快適な住環境を形成するため、今後どのような施策が重要だと思いますか？

＜2つまでに○印＞

1. 施設や歩道のバリアフリー化を図り、高齢者･障害者にやさしいまちづくりを推進する
2. 幹線道路や地域間道路の整備を図り、広域利便性の充実を図る
3. 生活道路や身近な公園の整備など快適な住環境づくりを推進する
4. 既存バス路線の維持拡充（運行本数・運行時間帯の充実）を図る
5. 住宅まわりの緑化や美しい街並みづくりを推進する
6. 住環境づくりに関する各種の情報提供・相談窓口を充実する
7. その他（具体的に　　）

設問 27 安心・安全のまちづくりについて、今後、どのような施策が重要だと思いますか？

＜2つまでに○印＞

1. 防災対策の充実
2. 救急救命体制の充実
3. 防犯対策の充実
4. 交通安全対策の充実
5. その他（具体的に　　）

6 光市のまちづくりについての 100 字提言

設問 28 光市のまちの発展や市民のみなさんの暮らしを豊かにするために、何か意見や提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、100 字程度で提言してください。

長時間にわたり、お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

締め切りの**８月２３日（火）**までに、ポストにご投函くださるようお願い申し上げます。

市民アンケート②調査票

＜光市総合計画の策定に向けた市民アンケート＞

あなたの声をお聞かせください

調査のお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年 10 月 4 日、光市と大和町の合併により、新「光市」が誕生し、新しいまちづくりの指針となる「光市総合計画」を策定することになりました。

この調査は、市民の皆様が日ごろ感じておられることをお聞きし、新しい計画づくりに役立てるために行うものです。18 歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出した方を対象に、無記名回答方式で実施します。集計結果は公表させていただく予定ですが、個人に関する情報が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

平成１７年８月

光 市

ご記入にあたってのお願い

- この調査に、**封筒の宛名の方が答えられない場合、ご家族の方がお答え下さい。**
- ご回答は設問ごとの指示に従い、番号に○印をつけてください。設問によって○印をつける数が異なりますので、間違えないようにご注意ください。
- この調査票は、同封しました返信用の封筒に入れ、**８月２３日（火）まで**にご投函ください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

＜連絡先＞

政策企画部企画調整課　担当　邊見(へんみ)、秋山(あきやま)
TEL：０８３３-７２-１４００(代表)　FAX：０８３３-７２-１４３６

1　総合計画ってなに？

総合計画は、市町村が総合的かつ計画的な行政運営のために、地方自治法に基づいて作成するもので、それぞれの市町村における様々な計画の最上位の計画になります。

新しい光市総合計画は、合併協議の中で多くの議論をいただいて策定した新市建設計画を継承しつつ、社会経済情勢の変化や市政の課題、市民ニーズに的確に対応しつつ、今後のまちづくりの目標や、その実現のための施策の基本的な方向などを明らかにするもので、これからのまちづくりや都市経営を進めるための指針となるものです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　ここからが設問です　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2　あなた(回答者)ご自身について

設問１　あなたの性別は？

1．男性　　2．女性

設問２　あなたの年齢は？

1．１０代　　2．２０代　　3．３０代　　4．４０代
5．５０代　　6．６０代　　7．７０代以上

設問３　あなたがお住まいの地区はどこですか？

1．牛島　　2．室積　　3．島田　　4．上島田
5．浅江　　6．光井　　7．三井　　8．立野・小周防
9．塩田　　10．三輪　　11．岩田　　12．束荷

設問４　あなたは光市(旧２市町含む)に住んで、通算何年になりますか？

1．５年未満　　2．５年以上 20 年未満　　3．20 年以上

設問５ あなたの職業は？ **＜１つだけに○印＞** **※兼業の方は収入の多い方に○印**

1．農林漁業　2．自営業　3．会社員・公務員
4．パート・アルバイト　5．家事従事者　6．学生
7．無職　8．その他（具体的に　　）

設問６ あなたの通勤・通学先はどこですか？ **＜１つだけに○印＞**

1．光市内（自宅含む）　2．下松市　3．周南市
4．柳井市　5．田布施町　6．平生町
7．その他（　　）　8．通勤・通学していない

設問７ 日常的な買い物の行き先はどこですか？ **＜２つまでに○印＞**

1．光市内　2．下松市　3．周南市
4．柳井市　5．田布施町　6．平生町
7．その他（　　）

設問８ 世帯人数(あなたを含めて一緒に生活している人数)は何人ですか？

１人　２人　３人　４人　５人　６人以上

設問９ 現在の住居(あなたの住まいは次のどれにあたりますか？

1．自家(家族の持ち家含む)　2．借家(アパート含む)　3．間借
4．公営住宅(市営・県営など)　5．社宅・寮　6．その他（　　）

設問 10 市外で暮らしたことがありますか？

1．ある　2．ない

└→ 市外での居住年数を合計すると何年間くらいになりますか

1．５年未満
2．５年以上～20 年未満
3．20 年以上

3　市政に対する評価と今後への期待

設問 11　以下の３９項目について、満足度と重要度をお答えください。
回答例にならって、これまですすめてきたまちづくりについての「満足度」と、これからの取り組みを進めていく上での「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を**１つずつ選んで○印**をつけてください。

		満足度			重要度				ご意見欄
		満足	どちらともいえない	不満	重要（他の分野より優先する）	どちらともいえない	重要でない（事業を縮小する）	わからない	お気づきの点やご意見があればご自由にお書きください。
回答例　○○の整備		①	2	3	1	2	③	4	今ある施設で十分。新しい施設は不要。
基盤整備	1 幹線道路の整備（国道･県道など）	1	2	3	1	2	3	4	
	2 地域の生活道路の維持・補修	1	2	3	1	2	3	4	
	3 歩道の拡幅・段差の解消	1	2	3	1	2	3	4	
	4 上下水道の整備	1	2	3	1	2	3	4	
	5 都市公園の整備	1	2	3	1	2	3	4	
	6 まち並み・景観の整備	1	2	3	1	2	3	4	
	7 バス交通網の整備	1	2	3	1	2	3	4	
安全・防災対策	8 消防・防災体制の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	9 防犯対策の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	10 交通安全対策の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	11 地震・台風などの災害対策の充実	1	2	3	1	2	3	4	
福祉・保健・医療	12 地域医療対策の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	13 基本健康診査の実施など健康づくりの推進	1	2	3	1	2	3	4	
	14 子育て支援対策の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	15 高齢者福祉対策の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	16 障害者福祉対策の充実	1	2	3	1	2	3	4	

		満足度			重要度				ご意見欄
		満足	どちらともいえない	不満	重要（他の分野より優先する）	どちらともいえない	重要でない（縮小しても良い）	わからない	お気づきの点やご意見があればご自由にお書きください。
環境対策	17 ごみの収集・処理対策の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	18 資源のリサイクル対策の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	19 川や山などの自然環境の保全	1	2	3	1	2	3	4	
教育・文化	20 学校教育の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	21 生涯学習の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	22 スポーツの振興	1	2	3	1	2	3	4	
	23 文化財の保存・活用	1	2	3	1	2	3	4	
	24 文化・芸術活動の振興	1	2	3	1	2	3	4	
産業振興	25 地元中小企業の支援	1	2	3	1	2	3	4	
	26 地場産業の振興	1	2	3	1	2	3	4	
	27 農林水産業の振興	1	2	3	1	2	3	4	
	28 観光の振興	1	2	3	1	2	3	4	
	29 企業誘致、雇用の確保	1	2	3	1	2	3	4	
行政運営	30 市政に関する情報提供や情報公開	1	2	3	1	2	3	4	
	31 市政への市民参加の推進	1	2	3	1	2	3	4	
	32 生活に関する相談窓口の充実	1	2	3	1	2	3	4	
	33 健全な財政運営や行政改革※1の推進	1	2	3	1	2	3	4	
	34 広域行政※2・広域連携の推進	1	2	3	1	2	3	4	
その他の活動	35 地域情報化※3（ＩＴ化）の推進	1	2	3	1	2	3	4	
	36 男女共同参画の推進	1	2	3	1	2	3	4	
	37 在住外国人との交流や国際交流の推進	1	2	3	1	2	3	4	
	38 市民団体やＮＰＯ※4などの育成	1	2	3	1	2	3	4	
	39 地域のコミュニティ活動に対する支援	1	2	3	1	2	3	4	

※1～※4 の用語については次のページに説明があります。

【設問 11 の用語の説明】

※1　行政改革　　行政を社会経済情勢に適応したものに変えること
※2　広域行政　　１つの市町村を越えた広い区域を単位とする行政のこと
※3　地域情報化　情報基盤や各種情報提供システムなどを整備し、市民生活や行政サービス、学校教育などに役立てること（「ＩＴ」とは「情報技術」のこと）
※4　ＮＰＯ　　民間の非営利組織

設問 12　設問 11（p4～5）のそれぞれの項目の中から、あなたが、特に優先すべき（重要度や必要性が高い）と思う分野を、重要だと思われるものから順番に**３つまで**番号でお答えください。

設問 13　設問 11（p4～5）のそれぞれの項目の中から、あなたが、特に縮小すべき（重要度や必要性が低い）と思う分野を**３つまで**番号でお答えください。

設問 14　設問 11（p4～5）のそれぞれの項目の中から、満足度も高く、重要度も高い（今後も優先すべき）分野のうち、現時点の達成水準が、十分に高いレベルに達していると思う分野を**３つまで**番号でお答えください。

4　今後の居住意向について

設問 15　総合的に見て、光市は住みよいまちですか？　**＜１つだけに○印＞**

1. 住みよい
2. まあまあ住みよい
3. どちらともいえない
4. あまり住みよいとはいえない
5. 住みにくい

設問 16　あなたは、光市を「自分のまち」として愛着を感じますか？　**＜１つだけに○印＞**

1. 感じている
2. 感じていない
3. どちらともいえない

設問 17　あなたは今後も光市で暮らしたいですか？　**＜１つだけに○印＞**

1. ずっと光市で暮らしたい（いったん市外に出ても光市に戻ってきたい場合を含む）
2. 市外で暮らしたい
3. どちらともいえない（わからない）

★次の設問 18 は、**設問 17 で「1」と回答した方のみ**お答えください。

設問 18 光市で暮らしたい理由は何ですか？ **<あてはまるものすべてに○印>**

1. 家・土地があるから
2. 地域・人に愛着があるから
3. 日常生活が便利だから
4. 居住環境がよいから
5. やりたい仕事があるから
6. 通勤・通学に便利だから
7. その他（具体的に　　）
8. 特に理由はない

★次の設問 19 は、**設問 17 で「2」と回答した方のみ**お答えください。

設問 19 市外で暮らしたい理由は何ですか？ **<あてはまるものすべてに○印>**

1. 家・土地が取得しにくいから
2. 地域・人になじめないから
3. 日常生活が不便だから
4. 居住環境が悪いから
5. やりたい仕事がないから
6. 通勤・通学に不便だから
7. その他（具体的に　　）

設問 20 あなたは将来に対して、どのようなことに不安を感じていますか？
<3つまでに○印>

1. 自分の健康や介護のこと
2. 国の社会保障制度
3. 家計の収入のこと
4. 子どもの将来のこと
5. 仕事や雇用のこと
6. 生き方や生きがいのこと
7. 何となく不安
8. 自然災害
9. 環境問題
10. 人口の減少
11. 高齢・少子化
12. 治安の悪化
13. 税負担の増加
14. その他（　　）
15. 全く不安は感じない

設問 21 光市が自慢できるものは何だと思いますか？ ＜3つまでに○印＞

1. 温暖な気候
2. 美しい自然
3. 人と人とのつながり
4. 自治会等の充実
5. 治安の良さ
6. マイカーでの移動しやすさ
7. 買い物の便利さ
8. 充実した公共交通機関
9. 充実した都市基盤
10. 防災対策
11. 子育て支援対策の充実
12. 福祉対策の充実
13. 教育環境の充実
14. 生涯学習機会の充実
15. 環境保全に対する取組み
16. ゴミのリサイクルへの取組み
17. 働く場の充実
18. 情報化に対する取組み
19. その他（ ）

設問 22 光市内にあなたが自慢したい場所や、観光客など市民以外の方にぜひ訪れて欲しい場所がありますか？具体的にご記入ください。

具体的に

5 情報提供について

設問 23 市からのお知らせなどの情報を主に何によって知ることが多いですか？
＜2つまでに○印＞

1. インターネット
2. 広報ひかり
3. 新聞
4. テレビ
5. ラジオ
6. パンフレットやチラシ
7. その他（ ）

設問 24 市からどのような種類の情報を提供してほしいですか？ **＜3つまでに○印＞**

1. 市のサービスの内容・利用のしかた
2. 防災や救急など非常時の情報
3. ごみの減量化などの情報
4. 健康づくりや各種検診に関する情報
5. 市の政策や事業などに関する情報
6. 周辺市町村に関する情報
7. 観光やイベントの情報
8. 議会の活動に関する情報
9. 市や地区の行事などの情報
10. 公共施設やその利用方法の情報
11. 生涯学習・スポーツなどの情報
12. 教育・青少年健全育成に関する情報
13. 各種ボランティアに関する情報
14. 地域の自然や歴史的名所などの情報
15. その他（　　）

6 日常生活におけるあなたの意識

設問 25 以下の設問について、お答えください。
回答例にならって、どちらかの番号に○印をつけてください。

※「1」～「14」のすべての項目について、『はい』の場合は『１』に、『いいえ』の場合は『2』に○印をつけてください。	はい	いいえ
回答例　○○○だと思いますか？	①	2
1.　市街地に緑が多いと感じますか？	1	2
2.　この 10 年間で治安がよくなったと思いますか？	1	2
3.　この 10 年間で治安が悪くなったと思いますか？	1	2
4.　日常生活のなかで近所の方との関わりがありますか？	1	2
5.　普段から災害に備えていますか？	1	2
6.　消防・防災訓練に参加したり、見学したことがありますか？	1	2
7.　普段から健康に心がけていますか？	1	2
8.　定期的に健康診査を受診していますか？	1	2
9.　男女が平等だと思いますか？	1	2
10.　日常生活のなかでインターネットを活用していますか？	1	2
11.　ゴミの分別をきちんと行っていますか？	1	2
12.　リサイクルできるものはリサイクルしていますか？	1	2
13.　できるだけ地元の野菜や魚などを購入するようにしていますか	1	2
14.　地域の行事やお祭りには積極的に参加していますか	1	2

7　光市のまちづくりについての 100 字提言

設問 26　光市のまちの発展や市民のみなさんの暮らしを豊かにするために、何か意見や提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、100 字程度で提言してください。

長時間にわたり、お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

締め切りの８月２３日（火）までに、ポストにご投函くださるようお願い申し上げます。

出身者アンケート調査票

＜光市総合計画の策定に向けたアンケート＞

光 市 出 身 者 の 皆 様 へ

あなたの声をお聞かせください

調査のお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年 10 月 4 日、光市と大和町の合併により、新「光市」が誕生し、新しいまちづくりの指針となる「光市総合計画」を策定することになりました。

そこで、光市ご出身の皆さんからもご意見をうかがい、あわせて計画策定の基礎資料としたいと考えております。光市へのあなたの想いを、率直にお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

平成 17 年 8 月　山口県光市

ご記入にあたってのお願い

- この調査票は、出来るだけ**封筒の宛名の方がお答え下さい。**
- ご回答は設問ごとの指示に従い、番号に○印をつけてください。設問によって○印をつける数が異なりますので、間違えないようにご注意ください。
- この調査票は、同封しました返信用の封筒に入れ、**８月３０日（火）まで**にご投函ください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

＜連絡先＞

光市役所　政策企画部　企画調整課　　担当　邊見(へんみ)、秋山(あきやま)
TEL：０８３３-７２-１４００(代表)　FAX：０８３３-７２-１４３６

1　総合計画ってなに？

総合計画は、市町村が総合的かつ計画的な行政運営のために、地方自治法に基づいて作成するもので、それぞれの市町村における様々な計画の最上位の計画になります。

新しい光市総合計画は、合併協議の中で多くの議論をいただいて策定した新市建設計画を継承しつつ、社会経済情勢の変化や市政の課題、市民ニーズに的確に対応しつつ、今後のまちづくりの目標や、その実現のための施策の基本的な方向などを明らかにするもので、これからのまちづくりや都市経営を進めるための指針となるものです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　ここからが設問です　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2　あなた(回答者)のご自身について

設問１　あなたの性別は？

1．男性　　2．女性

設問２　あなたの年齢は？

1．１０代　　2．２０代　　3．３０代　　4．４０代
5．５０代　　6．６０代　　7．７０代以上

設問３　あなたのご出身の地区はどちらですか？

1．牛島　　2．室積　　3．島田　　4．上島田
5．浅江　　6．光井　　7．三井　　8．立野・小周防
9．塩田　　10．三輪　　11．岩田　　12．束荷

設問４　あなたが光市(旧２市町含む)に住んでいた期間は、通算何年になりますか？

1．５年未満　　2．５年以上 20 年未満　　3．20 年以上

設問５　あなたは光市(旧２市町含む)から転出されてから、どれ位たっていますか？

1．５年未満　　2．５年以上 20 年未満　　3．20 年以上

設問６ あなたの現在の職業は？ **＜１つだけに○印＞** **※兼業の方は収入の多い方に○印**

1. 農林漁業　2. 自営業　3. 会社員・公務員
4. パート・アルバイト　5. 家事従事者　6. 学生
7. 無職　8. その他（具体的に　　）

設問７ あなたの現在の所在地はどこですか？

都道府県	市町村

設問８ 世帯人数(あなたを含めて一緒に生活している人数)は何人ですか？

１人　２人　３人　４人　５人　６人以上

3 今後の居住意向について

設問９ 光市は住みよいまちだと思いますか？ **＜１つだけに○印＞**

1. 住みよい　2. まあまあ住みよい
3. どちらともいえない　4. あまり住みよいとはいえない
5. 住みにくい

設問 10 あなたは、現在でも光市を「自分のまち」として愛着を感じていますか？

＜１つだけに○印＞

1. 感じている　2. 感じていない　3. どちらともいえない

設問 11 あなたは、将来、光市で暮らしたいと思いますか？ **＜１つだけに○印＞**

1. 光市で暮らしたい
2. 光市以外で暮らしたい
3. どちらともいえない（わからない）

★次の設問 12 は、**設問 11 で「1」と回答した方のみ**お答えください。

設問 12 光市で暮らしたい理由は何ですか？ **＜あてはまるものすべてに○印＞**

1. 家・土地があるから
2. 地域・人に愛着があるから
3. 日常生活が便利だから
4. 居住環境がよいから
5. やりたい仕事があるから
6. 通勤・通学に便利だから
7. その他（具体的に　　）
8. 特に理由はない

★次の設問 12 は、**設問 11 で「2」と回答した方のみ**お答えください。

設問 13 光市以外で暮らしたい理由は何ですか？ **＜あてはまるものすべてに○印＞**

1. 家・土地が取得しにくいから
2. 地域・人になじめないから
3. 日常生活が不便だから
4. 居住環境が悪いから
5. やりたい仕事がないから
6. 通勤・通学に不便だから
7. その他（具体的に　　）

4 情報提供について

設問 14 あなたは、光市のホームページを見ていますか？ **＜１つだけに○印＞**

1. よく見ている
2. 時々見ている
3. 見ていない
4. 知らない

設問 15 光市のホームページに対するご意見等があれば、具体的にご記入ください。

（具体的に　　）

5 光市のイメージについて

設問 16 光市にどんなイメージを持っていますか？ **＜2つに○印＞**

1. 海や山などの自然が豊かなまち
2. 福祉が充実したまち
3. 住宅が多いベッドタウン
4. 歴史・文化が豊かなまち
5. 工場等が多い工業都市
6. 農業が盛んな農村
7. 教育が盛んなまち
8. スポーツが盛んなまち
9. その他（ ）

設問 17 光市が自慢できるものは何だと思いますか。 **＜3つまでに○印＞**

1. 温暖な気候
2. 美しい自然
3. 人と人とのつながり
4. 自治会の充実
5. 治安の良さ
6. マイカーでの移動しやすさ
7. 買い物の便利さ
8. 充実した公共交通機関
9. 充実した都市基盤
10. 防災対策
11. 子育て支援対策の充実
12. 福祉対策の充実
13. 教育環境の充実
14. 生涯学習機会の充実
15. 環境保全に対する取組み
16. ゴミのリサイクルへの取組み
17. 働く場の充実
18. 情報化に対する取組み
19. その他（ ）

設問 18 光市内にあなたが自慢したい場所や、観光客などにぜひ訪れて欲しい場所がありますか？具体的にご記入ください。

具体的に

高
重要度
低

光市のまちづくりについて

設問 19 光市への意見や提案（アイデア）、期待をお持ちでしたら、100 字程度でお書きください。

設問 20 光市民の皆さんへのメッセージがありましたら、ご自由にお書きください。

長時間にわたり、お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。
締め切りの８月３０日（火）までに、ポストにご投函くださるようお願い申し上げます。